

令和6年度

病院年報

2024 Annual Report

Vol.7



社会福祉法人
恩賜財團 済生会守山市民病院
Saiseikai Moriyama Municipal Hospital



理念

私たちは、救療済生の精神のもと、最適最良の医療を提供し、地域の医療に貢献します。

基本方針

- (1) 患者さんとともに歩む心で診療し、良質な医療サービスを提供する
- (2) 医療の質と安全の向上に取り組み、患者さん中心の医療サービスを提供する
- (3) 地域の医療、福祉と連携し、救急から療養まで患者さんに必要な医療サービスを提供する
- (4) 地域の回復期・慢性期医療の拠点として充実した診療機能を提供する
- (5) 無料低額診療事業および生活困窮者への支援事業を推進する

目次

ごあいさつ	3
沿革	4
病院概要	5
令和6年度 済生会守山市民病院組織図	7
令和6年度のできごと	8
ふれあい健康フェスタ開催	10

事業報告

事業活動概要	14
入院患者数	14
病床稼働率	15
外来患者数	16
診療科別 年間延べ患者数	17
病棟別 入院延べ患者数・病床稼働率	18
年齢別患者数	19
地域別患者数	20
救急患者数	22
無料・低額診療事業	22
地域医療機関紹介件数	23
病棟別施設基準届出実績（2病棟）	24
病棟別施設基準届出実績（3病棟）	26
回復期リハビリテーション病棟実績	28
開放型病床の利用状況	29
健診実績	30
人工透析実績	30
患者満足度調査結果（入院）	31
患者満足度調査結果（外来）	33

各部門の活動状況

診療部	
総合内科	36
呼吸器内科	36
循環器内科	37
消化器内科	37
糖尿病内科	38
腎臓内科	39
小児科	40
外科	41
整形外科	41
皮膚科	42
泌尿器科	42
脳神経外科	42
眼科	42
リハビリテーション科	43
人工透析センター	44
看護部	45
2病棟	52
3病棟	53
4病棟	54
5病棟	55
外来	56
中材手術室	57
人工透析室	58
地域医療支援部	
社会福祉事業室	59
地域医療連携室	60
在宅療養支援室	61
診療技術部	
放射線技術科	62
臨床検査科	63
薬剤科	64

栄養科	65
臨床工学科	66
事務部	
総務課	67
経営企画課	68
医事課	69
リハビリテーションセンター	
リハビリテーション技術科	70
健診センター	71
危機管理センター	
医療安全管理室	72
感染予防対策室	74

各委員会の活動状況

褥瘡対策委員会	78
感染対策委員会	78
医療安全管理委員会	79
診療録管理委員会	79
輸血療法委員会	80
衛生委員会	81
臨床検査委員会	81
医療ガス安全管理委員会	82
薬事委員会	82
透析機器安全管理委員会	83
業務改善委員会	83
給食委員会	84
NST委員会	84
CS委員会	85
リスクマネジメント委員会	86
クリティカルパス委員会	86
部門連絡協議会	87
経営管理会議	87
学術・広報委員会	88
救急・災害対策委員会	89
IT委員会	90
用度・図書委員会	91
倫理委員会	91
地域医療推進委員会	92
開放型病床運営委員会	92
透析センター運用委員会	93
医療機器安全管理委員会	93
医事委員会	94
健診運営委員会	94
無料低額診療事業推進会議	95
個人情報保護委員会	95
医療放射線安全管理委員会	96
回復期リハビリテーション病棟機能強化委員会	96
摂食嚥下・口腔ケアチーム	97
糖尿病ケアチーム	97
ICT・ASTチーム	98
透析予防診療チーム	98
電子カルテシステム運用協議会	99
認知症ケアチーム	99
排尿ケアチーム	100
看護師特定行為業務管理委員会	100
感染リンクスタッフチーム	101
臨床倫理コンサルテーションチーム	101
二次性骨折予防継続管理チーム	102

学術実績等

学会発表	104
講演会・講座等	106

令和6年度の年報発行にあたり

済生会守山市民病院

院長 野々村 和男



平素より済生会守山市民病院へご支援ご指導をいただきありがとうございます。ここに令和6年度の病院年報を発行いたします。ご高覧いただければ幸いです。

令和6年10月に旧病棟解体後の敷地を主とした院内駐車場の整備を完了しました。隣接する広い公園と一体化するような景観となり、車で来院される患者さんの利便性はさらに改善しました。新病棟建築をはじめ、2018年の済生会への経営移行後におけるハード面での大きな病院整備は、市のご支援のもとに遂行してまいりました。院内機器整備については、6月には職員の1年以上の周到な準備作業のもとで電子カルテの更新事業を完了、11月には多くの患者さんから希望がありました病棟や透析センターのWi-Fi環境を整備しました。12月には人工透析センターの全透析機器の入れ替えを実施して、診療の効率化や安全・安心な診療体制づくりを進めました。学術研究については、病院全体の診療能力の向上を目的に、7月に院内学術研究発表会、令和7年2月には看護研究発表会を行い、優秀な内容・発表については表彰してさらに専門分野の学会などで発表する予定です。また、診療の主軸として回復期リハビリテーション診療を提供する病院として、11月30日に済生会組織のリハビリテーション研究会を草津にて開催し、全国から多くのご参加を得て初めての主催学会を盛会に終えることができました。そして令和7年1月には、日本医療機能評価機構による病院機能評価の審査を受け、「機能種別版評価項目3rdG: Ver.3.0 (主たる機能: リハビリテーション病院)」の基準を満たす病院と

して認定されました。

診療以外のサービスの一環として当院の入院、通院患者さんと職員も楽しいひと時を共有できるように、地元のボランティアの方々にご協力いただき、七夕にはヨシ笛コンサート、クリスマスにはハンドベルコンサートを開催して、観客は感動の渦に包まれました。また10月には「ふれあい健康フェスタ」を開催し、職員の協力が実を結んで地域のみなさんに多数ご来場いただき好評を得ることができ、次回はさらに充実して楽しい企画となるようにと院内で機運が高まっています。

振り返れば、本当に取り組む事業や企画が多く詰まった令和6年度であり、全職員の努力と関係するみなさんの御支援で多くの成果を得て、また大きな問題が生じることなく乗り越えられたことに心より感謝しております。

当院はこれまで、近隣の病院や地域の診療所などの連携を深めてきました。これからも多くの医療機関との関係をより密にし、また行政との協力体制などを引き続き強化して、この地域の皆さんの健康に少しでもお役に立てるよう、職員一同努力してまいります。何卒宜しくお願いいたします。

沿革

昭和57年 4月	● 守山市民病院開設 (1982)
	開設者 守山市長 高田 信昭 院長 松原 恒雄(初代)
昭和62年 4月	● 人工透析室増床 (10床⇒20床) (1987)
平成元年 4月	● 院長 佐竹 喜三雄(2代目) (1989)
平成6年 4月	● 長期療養型病床群開設 (41床) (1994)
平成7年 2月	● 開設者 守山市長 甲斐 道清 (1995)
平成8年 4月	● 院長 南 亮(3代目) (1996)
平成9年 2月	● 人工透析室増床 (20床⇒26床) (1997)
平成10年 3月	● 病院新築移転 病床数164床 (1998) 人工透析室増床 (26床⇒40床)
平成11年 6月	● 療養型病棟新築移転(別館4階) (1999) 病床数204床
平成12年 4月	● 医療介護併設型療養病棟開設 (2000)
平成13年 4月	● 院長 塩 榮夫(4代目) (2001)
平成15年 2月	● 開設者 守山市長 山田 亘宏 (2003)
平成16年 3月	● 臨床研修病院指定 (2004) 4月 ● 院長 西村 直卓(5代目)
平成18年10月	● 人工透析室増床 (40床⇒60床) (2006) 別館改修
平成19年 4月	● 院長 辻 雅衛(6代目) (2007)
平成21年 1月	● オーダリングシステム第Ⅰ期稼働 (2009) 3月 ● オーダリングシステム第Ⅱ期稼働
平成22年 4月	● 病床数変更 204床 ⇒ 199床 (2010)
平成23年 2月	● 開設者 守山市長 宮本 和宏 (2011)
平成25年 4月	● 地方公営企業法全部適用 (2013) 院長兼守山市病院事業管理者 辻 雅衛
	9月 ● 敷地内全面禁煙開始
平成26年 3月	● 本館に「人工透析センター」を設置 (2014) 4月 ● 守山市病院事業管理者 辻 雅衛 院長 野々村 和男(7代目)
平成27年 5月	● 電子カルテシステム導入 (2015)
平成29年10月	● 基本協定書に調印 (2017)

平成30年 4月	● 指定管理者制度(公設民営)開設 (2018)
	社会福祉法人 恩賜財團 済生会守山市民病院 院長 野々村 和男
令和2年 2月	● 透析患者送迎サービス開始 (2020) 4月 ● 病院新館オープン 新館に「リハビリテーションセンター」 および「健診センター」を開設
令和3年 1月	● 新型コロナウイルス感染症患者受入 (2021) 重点医療機関に指定(10床)
7月	● 「済生会守山市民病院と滋賀県立総合病院の連携と協力に係る基本協定書」締結
令和5年 2月	● 開設者 守山市長 森中 高史 (2023)
令和6年 3月	● 別館解体 (2024) 6月 ● 電子カルテシステムリプレイス
10月	● 第1駐車場整備完了

病院概要

- I. 開設** 平成30年4月1日
- II. 名称** 社会福祉法人 恩賜財團 済生会守山市民病院
- III. 所在地等**
〒524-0022
滋賀県守山市守山四丁目14番1号
TEL: 077-582-5151 (代表)
FAX: 077-582-1461 (総務課) 077-582-1480 (医事課)
077-582-5618 (地域医療連携室)
URL: <https://www.saiseikai-moriyama.jp>
- IV. 開設者等**
開設者 森中 高史 (守山市長)
院長 (管理者) 野々村 和男
副院長 若城 茂太朗
副院長 木村 真奈美
診療部長 菊地 克久
事務長 野村 善彦
看護部長 吉村 薫
- V. 標榜科目**
内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
[専門外来]
人工透析、小児アレルギー、小児発達、小児神経、小児心臓、乳腺、リウマチ、糖尿病看護、えんげ相談
- VI. 診療時間**
受付時間: 午前8時30分～午前11時30分
診療時間: 午前9時～午後5時15分
休診日: 土・日・祝日・年末年始 (12月29日～1月3日)
- VII. 病棟 診療室等**
病床数 199床
2病棟: 回復期リハビリテーション病棟 (47床)
3病棟: 回復期リハビリテーション病棟 (53床)
4病棟: 一般病棟 (51床)
5病棟: 療養病棟 (48床)
外来 (救急室を含む)、中材手術室、人工透析センター、健診センター、リハビリテーションセンター
- VIII. 職員数** 393名 (常勤職員 274名、非常勤職員 43名、パート職員 76名)
(出向者を含む・令和7年3月31日現在)
- IX. 組織図 (7頁)**
- X. 指定施設・認定施設**
健康保険指定医療機関
労災保険指定病院
指定自立支援医療機関 (更生医療・精神通院医療)
生活保護法指定医療機関
滋賀県救急告示病院
病院群救急輪番制参加病院
滋賀県重症難病患者医療協力指定病院
滋賀県肝疾患専門医療機関
厚生労働省臨床研修指定病院
滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
済生会滋賀県病院臨床実習協力病院
日本消化器内視鏡学会指導連携施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本透析医学会教育関連施設
日本アレルギー学会認定アレルギー専門医教育研修施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本リウマチ学会教育施設
日本リハビリテーション医学会研修施設

XI. 承認基準（令和7年3月31日現在）

1) 基本診療料の施設基準等

機能強化加算
一般病棟入院基本料（急性期一般入院料5）
療養病棟入院基本料（療養病棟入院料1）
救急医療管理加算
診療録管理体制加算2
医師事務作業補助体制加算（75対1）
急性期看護補助体制加算（25対1）
療養環境加算
重症者等療養環境特別加算
療養病棟療養環境加算1
医療安全対策加算2（医療安全対策地域連携加算2）
感染対策向上加算2（連携強化加算、サーベイランス強化加算）
後発医薬品使用体制加算1

データ提出加算
入退院支援加算1（入院時支援加算、総合機能評価加算）
認知症ケア加算2

せん妄ハイリスク患者ケア加算

精神疾患診療体制加算

排尿自立支援加算

小児入院医療管理料4

回復期リハビリテーション病棟入院料1

短期滞在手術等基本料1

糖尿病合併症管理料

がん性疼痛緩和指導管理料

糖尿病透析予防指導管理料（高度腎機能障害患者指導加算）

二次性骨折予防継続管理料1

二次性骨折予防継続管理料2

二次性骨折予防継続管理料3

慢性腎臓病透析予防指導管理料

院内トリアージ実施料

開放型病院共同指導料

がん治療連携指導料

薬剤管理指導料

検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

医療機器安全管理料1

別添1の「第14の2」の1の（2）に規定する在宅療養支援病院

在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料

持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定

検体検査管理加算（II）

時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト

小児食物アレルギー負荷検査

CT撮影及びMRI撮影

外来化学療法加算2

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料（I）

運動器リハビリテーション料（I）

呼吸器リハビリテーション料（I）

摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2

人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）

導入期加算1

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算

下肢末梢動脈疾患指導管理加算

医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

輸血管理料II

胃瘻造設時嚥下機能評価加算

看護職員処遇改善評価料

外来・在宅ベースアップ評価料（I）

入院ベースアップ評価料

入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）

2) 特掲診療料の施設基準等

がん性疼痛緩和指導管理料

糖尿病透析予防指導管理料1

二次性骨折予防継続管理料2

二次性骨折予防継続管理料3

慢性腎臓病透析予防指導管理料

院内トリアージ実施料

開放型病院共同指導料

がん治療連携指導料

薬剤管理指導料

検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

医療機器安全管理料1

別添1の「第14の2」の1の（2）に規定する在宅療養支援病院

在宅時医学総合管理料又は施設入居時等医学総合管理料

持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定

検体検査管理加算（II）

時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト

小児食物アレルギー負荷検査

CT撮影及びMRI撮影

外来化学療法加算2

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料（I）

運動器リハビリテーション料（I）

呼吸器リハビリテーション料（I）

摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2

人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）

導入期加算1

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算

下肢末梢動脈疾患指導管理加算

医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術

輸血管理料II

胃瘻造設時嚥下機能評価加算

看護職員処遇改善評価料

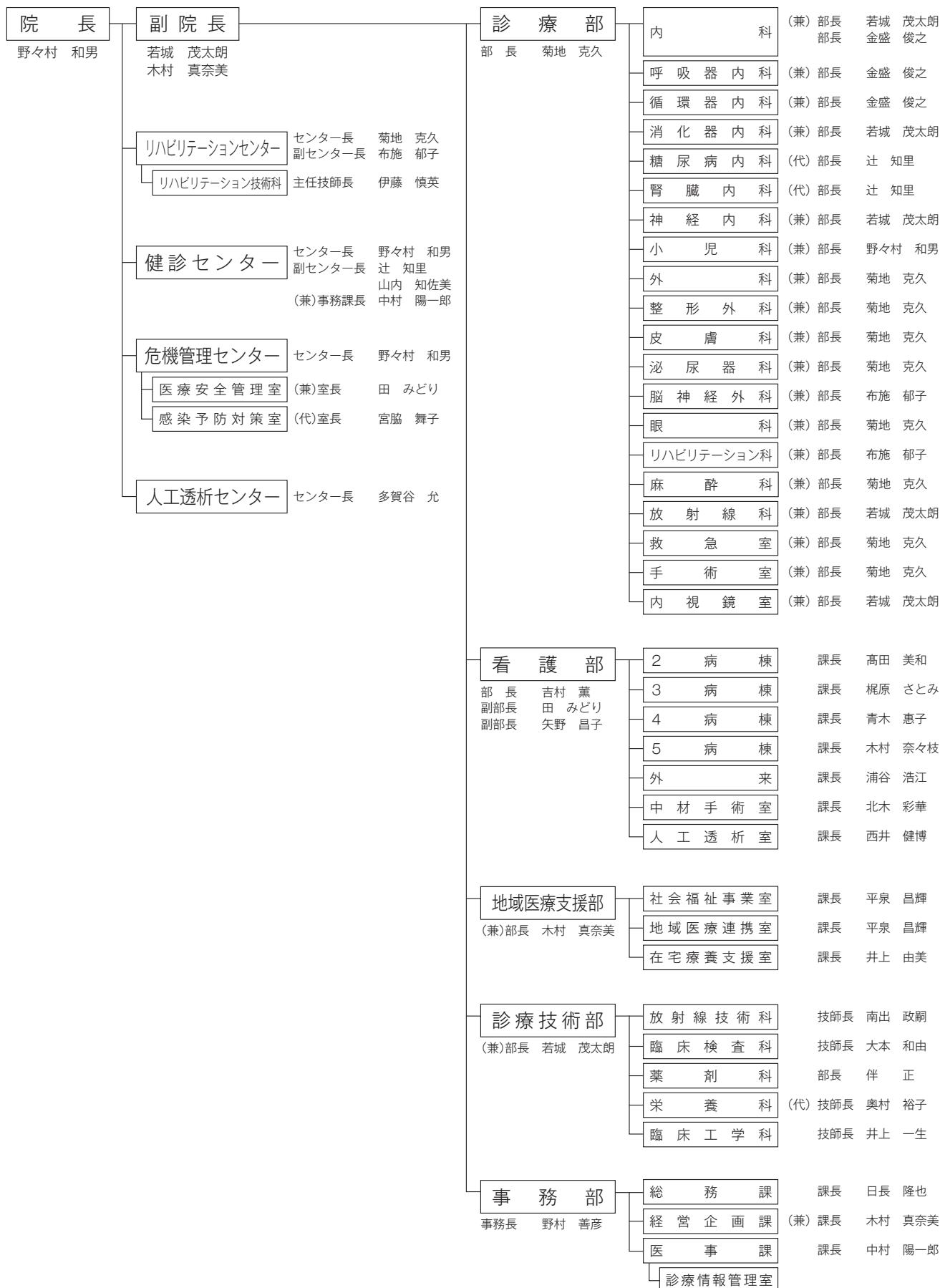
外来・在宅ベースアップ評価料（I）

入院ベースアップ評価料

入院時食事療養（I）・入院時生活療養（I）

3) 入院時食事療養の基準等

令和6年度 済生会守山市民病院組織図



令和6年度のできごと

4月	5月	6月
<p>1日 新入職員入職式</p>  <p>1日 年度初め式</p> 	<p>11日 看護の日イベント</p>  	<p>17日 電子カルテシステム リプレイス</p>  <p>17日 自動精算機導入</p> 
10月	11月	12月
<p>6日 ふれあい健康フェスタ</p>  <p>15日 第1駐車場整備完了</p> 	<p>30日 済生会リハビリテーション 研究会開催</p> 	<p>7~8日 人工透析大型装置 透析用監視装置53台更新</p>  <p>9日 市民公開講座（摂食嚥下）</p>  <p>25日 クリスマスコンサート</p> 

7月	8月	9月
<p>5日 七夕コンサート</p>  <p>20日 院内学術研究発表会</p>  <p>30日 福祉車両寄付 拝受</p> 	<p>5日 高校生看護体験</p> 	<p>22日 一般撮影装置一部更新</p>
1月	2月	3月
<p>13日 透析送迎車1台増便 (車いす対応)</p> <p>14~15日 病院機能評価受審</p> <p>28日 病棟ベッド(43床)入替</p> 	<p>22日 看護研究発表会</p> 	<p>1日 職員ユニホーム更新</p>  <p>31日 人工透析通信システム導入</p>

ふれあい健康フェスタ開催





事業報告



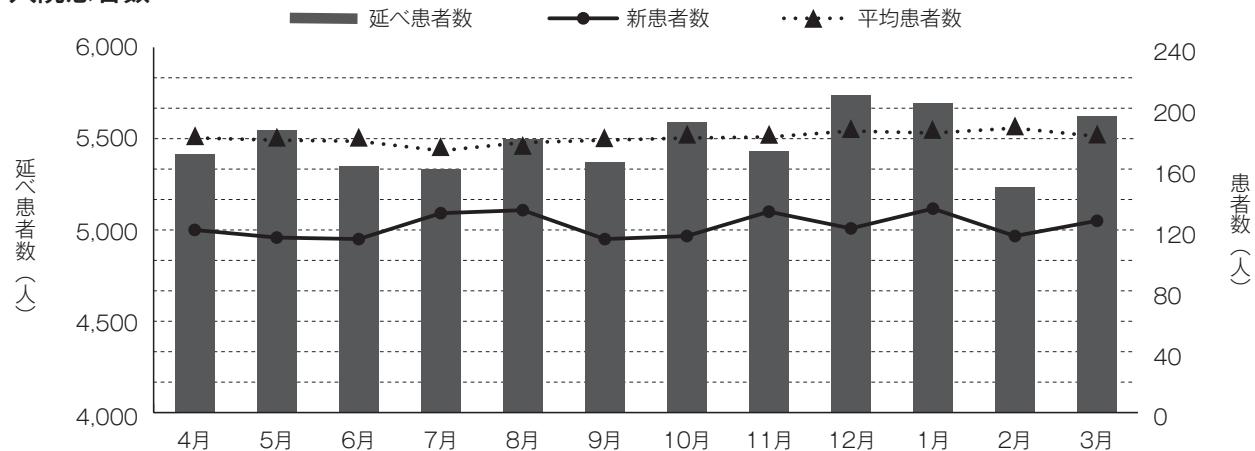
事業活動概要

項目		令和6年度	令和5年度	前年度 比較	
入院	入院患者延数	65,831 人	65,493 人	338 人	0.5%
	1日平均入院患者	180.4 人	178.9 人	1.4 人	0.8%
	1日診療単価	36,227 円	35,822 円	405 円	1.1%
	(一般／回復期病床)	40,339 円	39,897 円	442 円	1.1%
	(療養病床)	24,162 円	24,185 円	▲23 円	▲0.1%
	病床稼働率	90.6 %	89.9 %	0.7 %	0.8%
	(一般／回復期病床)	89.1 %	87.8 %	1.3 %	1.5%
	(療養病床)	95.5 %	96.7 %	▲1.2 %	▲1.2%
外来	外来患者延数	63,593 人	61,464 人	2,129 人	3.5%
	1日平均外来患者	261.7 人	252.9 人	8.8 人	3.5%
	1日診療単価	14,300 円	14,556 円	▲256.1 円	▲1.8%

入院患者数

月	項目	新患者数(人)	延べ患者数(人)	平均患者数(人)	平均在院日数(日)
4月		120	5,415	180.5	43.2
5月		115	5,549	179.0	46.8
6月		114	5,350	178.3	46.1
7月		131	5,334	172.1	39.7
8月		133	5,499	177.4	41.7
9月		114	5,370	179.0	44.5
10月		116	5,593	180.4	47.0
11月		132	5,432	181.1	42.0
12月		121	5,736	185.0	44.1
1月		134	5,694	183.7	44.6
2月		116	5,234	186.9	42.2
3月		126	5,625	181.5	43.5
年間		1,472	65,831	180.4	43.7

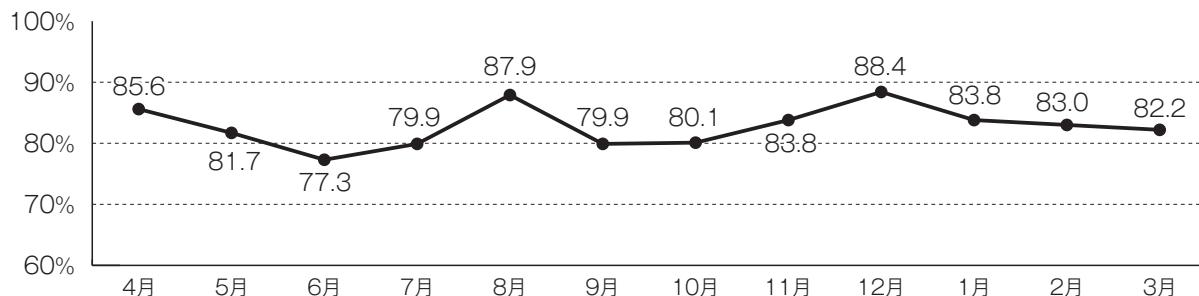
入院患者数



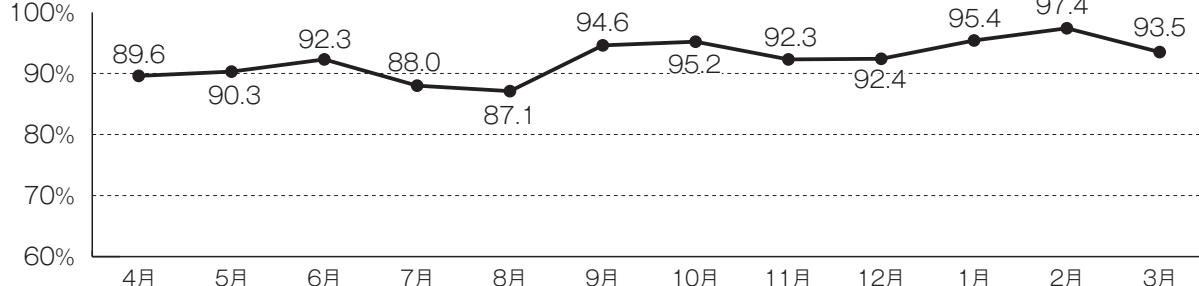
病床稼働率

月	項目	急性期(%)	回復期(%)	療養(%)	全体(%)
4月		85.6	89.6	98.8	90.7
5月		81.7	90.3	98.0	89.9
6月		77.3	92.3	97.1	89.6
7月		79.9	88.0	90.3	86.5
8月		87.9	87.1	94.8	89.1
9月		79.9	94.6	91.0	89.9
10月		80.1	95.2	92.4	90.7
11月		83.8	92.3	95.8	91.0
12月		88.4	92.4	99.1	93.0
1月		83.8	95.4	95.0	92.3
2月		83.0	97.4	98.3	93.9
3月		82.2	93.5	95.8	91.2
合計		82.8	92.3	95.5	90.6

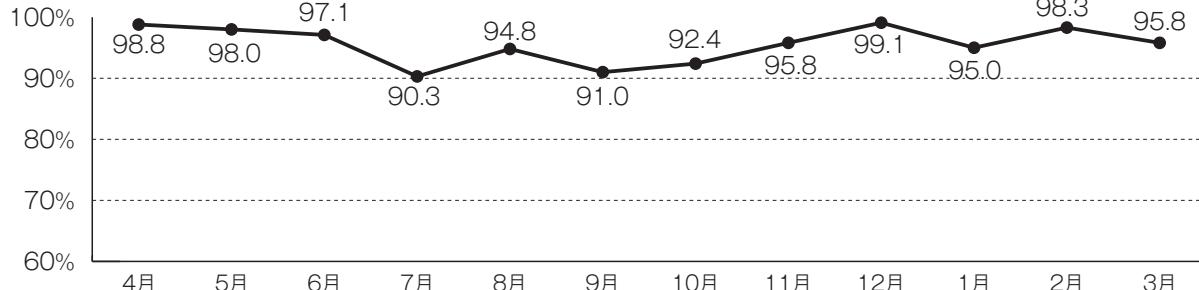
■ 急性期病棟



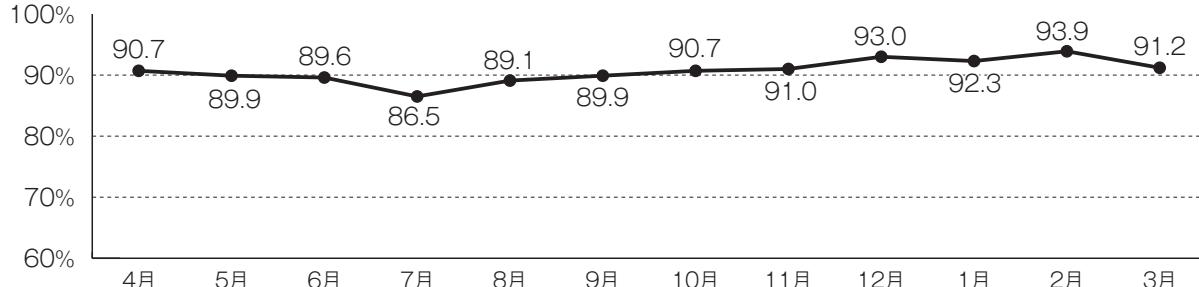
■ 回復期病棟



■ 療養病棟



■ 全体病棟

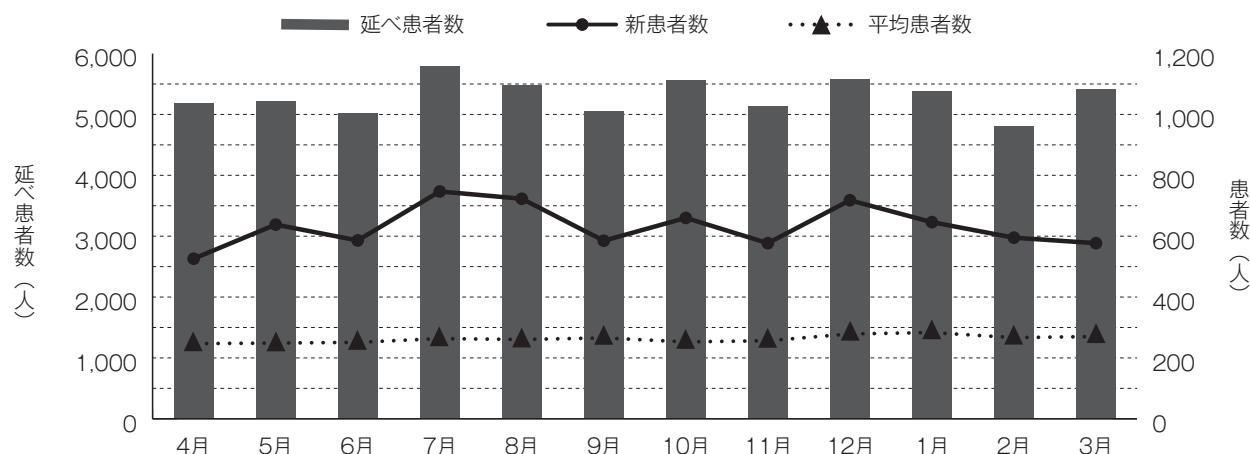


外来患者数

単位：人

月	項目	新患者数	延べ患者数	平均患者数
4月		526	5,185	246.9
5月		638	5,224	248.8
6月		586	5,021	251.1
7月		747	5,796	263.5
8月		723	5,471	260.5
9月		585	5,047	265.6
10月		660	5,559	252.7
11月		577	5,127	256.4
12月		718	5,576	278.8
1月		646	5,383	283.3
2月		595	4,798	266.6
3月		577	5,406	270.3
年間		7,578	63,593	261.7

■ 外来患者数

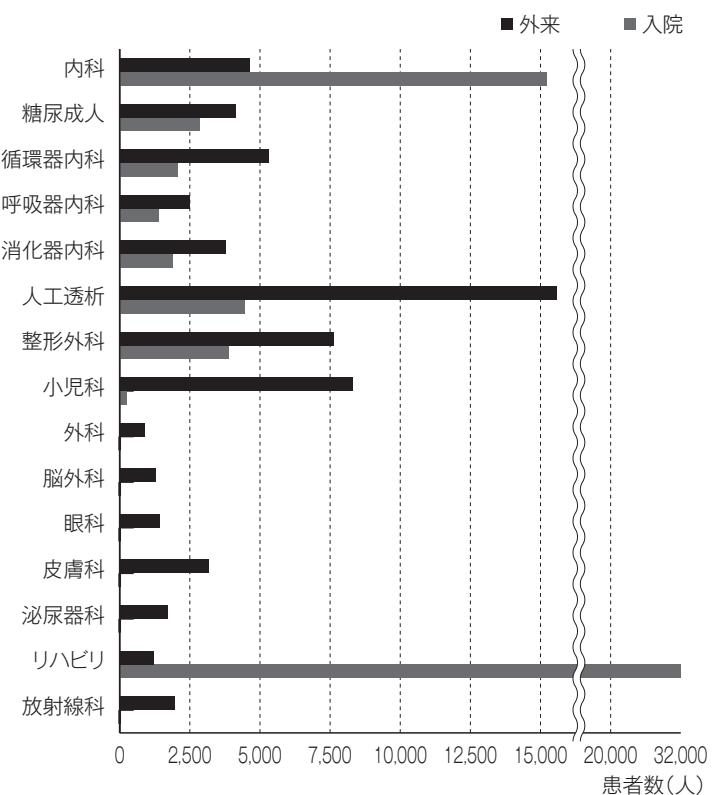


診療科別 年間延べ患者数

[入院]

診療科	項目	新患者数(人)	延べ患者数(人)	平均患者数(人)	平均在院日数(日)
内科	新患者数(人)	275	15,237	41.7	50.6
糖尿成人	新患者数(人)	79	2,871	7.9	50.1
循環器内科	新患者数(人)	32	2,064	5.6	76.5
呼吸器内科	新患者数(人)	39	1,394	3.8	41.7
消化器内科	新患者数(人)	142	1,881	5.1	14.1
人工透析	新患者数(人)	44	4,467	12.2	111.5
整形外科	新患者数(人)	252	3,907	10.7	16.6
小児科	新患者数(人)	190	259	0.7	0.7
外科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
脳外科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
眼科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
皮膚科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
泌尿器科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
リハビリ	新患者数(人)	419	33,751	92.5	79.5
放射線科	新患者数(人)	0	0	0.0	0.0
年間	新患者数(人)	1,472	65,831	180.4	43.7

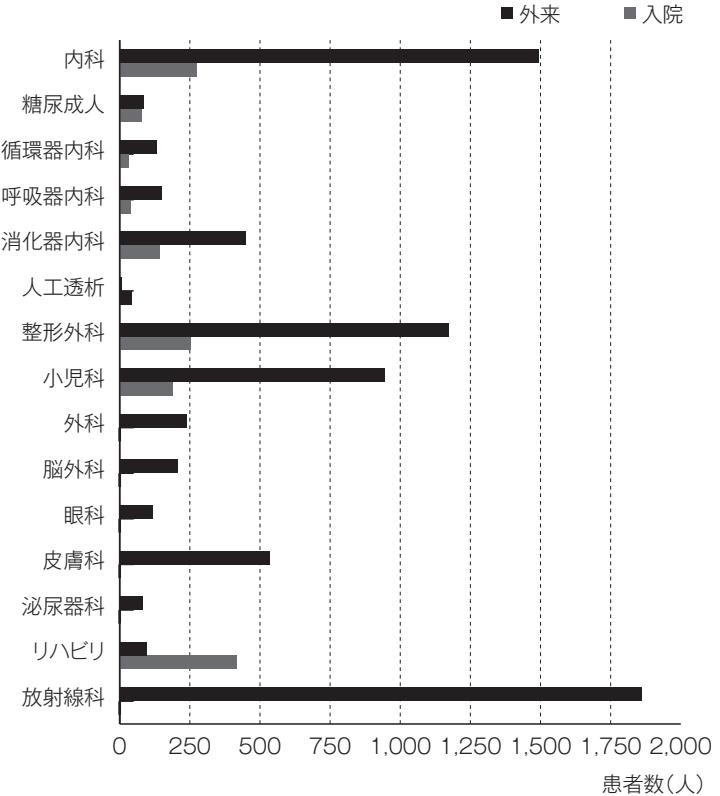
■ 延べ患者数



[外来]

診療科	項目	新患者数(人)	延べ患者数(人)	平均患者数(人)
内科	新患者数(人)	1,495	4,621	19.1
糖尿成人	新患者数(人)	86	4,150	19.8
循環器内科	新患者数(人)	132	5,321	21.9
呼吸器内科	新患者数(人)	149	2,504	17.9
消化器内科	新患者数(人)	450	3,771	20.7
人工透析	新患者数(人)	7	15,579	64.5
整形外科	新患者数(人)	1,172	7,640	31.4
小児科	新患者数(人)	946	8,301	34.2
外科	新患者数(人)	240	897	6.6
脳外科	新患者数(人)	208	1,303	13.7
眼科	新患者数(人)	117	1,424	14.9
皮膚科	新患者数(人)	534	3,170	24.3
泌尿器科	新患者数(人)	82	1,710	17.3
リハビリ	新患者数(人)	98	1,232	5.1
放射線科	新患者数(人)	1,862	1,970	8.1
年間	新患者数(人)	7,578	63,593	261.7

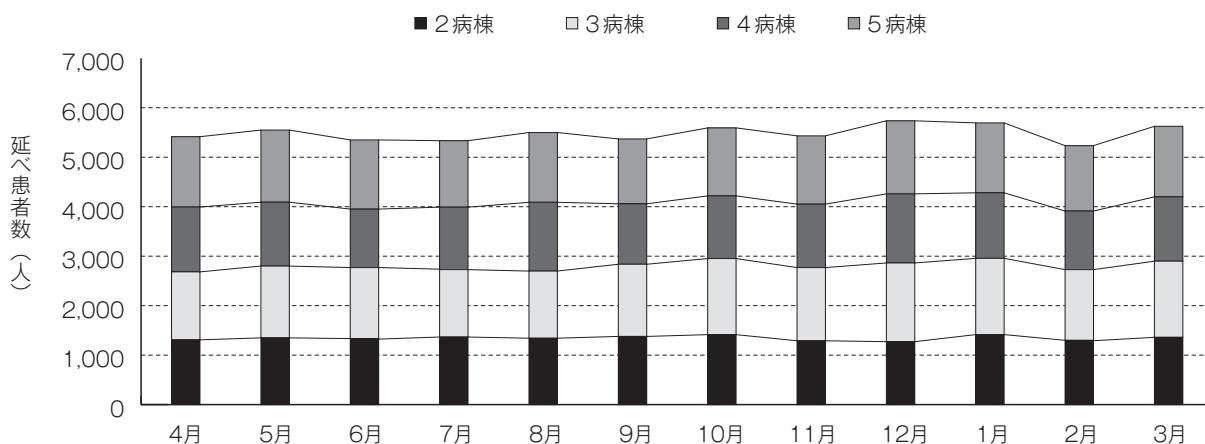
■ 新患者数



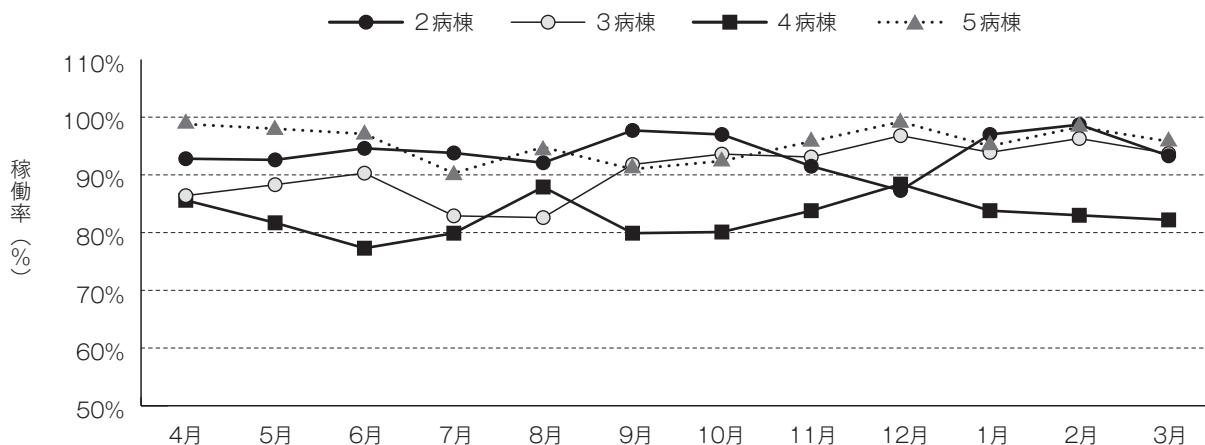
病棟別 入院延べ患者数・病床稼働率

項目 月	2病棟 (回復期リハ病棟)		3病棟 (回復期リハ病棟)		4病棟 (一般病棟)		5病棟 (療養病棟)		入院 延べ 患者数	稼働率		
	延べ患者数	稼働率	延べ患者数	稼働率	延べ患者数	稼働率	延べ患者数	稼働率		一般	療養	全体
4月	1,309	92.8%	1,374	86.4%	1,310	85.6%	1,422	98.8%	5,415	88.1%	98.8%	90.7%
5月	1,349	92.6%	1,451	88.3%	1,291	81.7%	1,458	98.0%	5,549	87.4%	98.0%	89.9%
6月	1,334	94.6%	1,436	90.3%	1,182	77.3%	1,398	97.1%	5,350	87.2%	97.1%	89.6%
7月	1,366	93.8%	1,362	82.9%	1,263	79.9%	1,343	90.3%	5,334	85.3%	90.3%	86.5%
8月	1,342	92.1%	1,357	82.6%	1,390	87.9%	1,410	94.8%	5,499	87.4%	94.8%	89.1%
9月	1,378	97.7%	1,459	91.8%	1,222	79.9%	1,311	91.0%	5,370	89.6%	91.0%	89.9%
10月	1,414	97.0%	1,538	93.6%	1,266	80.1%	1,375	92.4%	5,593	90.1%	92.4%	90.7%
11月	1,290	91.5%	1,480	93.1%	1,282	83.8%	1,380	95.8%	5,432	89.4%	95.8%	91.0%
12月	1,272	87.3%	1,591	96.8%	1,397	88.4%	1,476	99.2%	5,736	91.0%	99.2%	93.0%
1月	1,413	97.0%	1,543	93.9%	1,325	83.8%	1,413	95.0%	5,694	91.5%	95.0%	92.3%
2月	1,299	98.7%	1,429	96.3%	1,185	83.0%	1,321	98.3%	5,234	92.5%	98.3%	93.9%
3月	1,360	93.3%	1,539	93.7%	1,300	82.2%	1,426	95.8%	5,625	89.7%	95.8%	91.2%
年間	16,126	94.0%	17,559	90.8%	15,413	82.8%	16,733	95.5%	65,831	89.1%	95.5%	90.6%

■ 患者数



■ 稼働率



年齢別患者数

[入院]

単位：人

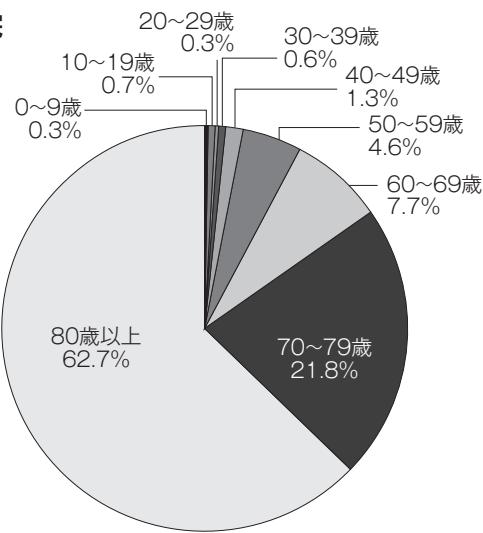
項目 月	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	合計
4月	20	65	4	94	160	190	396	1,204	3,283	5,415
5月	13	41	0	72	145	203	303	1,255	3,518	5,549
6月	7	41	0	69	70	196	365	1,115	3,487	5,350
7月	35	65	6	45	28	191	458	1,072	3,435	5,334
8月	20	40	45	13	41	212	526	1,087	3,515	5,499
9月	13	19	32	15	49	221	525	1,087	3,409	5,370
10月	20	15	8	20	19	305	517	1,279	3,410	5,593
11月	19	14	8	19	18	296	502	1,242	3,312	5,432
12月	22	60	27	2	57	256	352	1,144	3,817	5,736
1月	7	36	11	20	45	262	335	1,274	3,704	5,694
2月	12	45	44	28	52	318	353	1,205	3,178	5,234
3月	16	37	40	2	142	375	411	1,416	3,186	5,625
合計	204	477	224	398	826	3,026	5,044	14,379	41,255	65,831

[外来]

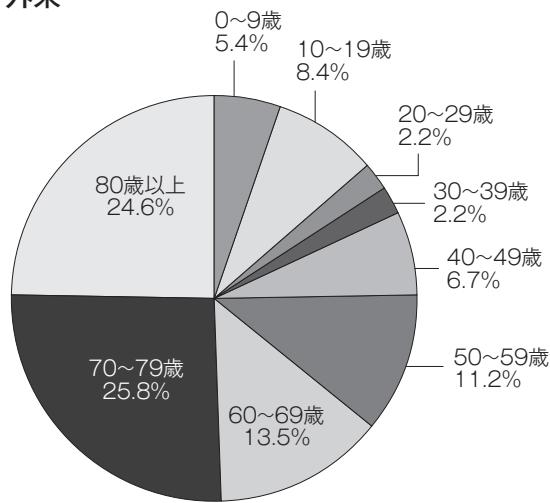
単位：人

項目 月	0~9歳	10~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	合計
4月	299	431	103	97	314	560	695	1,366	1,320	5,185
5月	296	431	114	143	363	560	706	1,331	1,281	5,224
6月	300	382	118	108	352	518	703	1,313	1,228	5,021
7月	328	528	136	165	412	647	768	1,379	1,433	5,796
8月	286	493	127	130	372	632	739	1,391	1,302	5,471
9月	250	408	100	116	341	513	686	1,400	1,232	5,047
10月	269	487	133	100	330	633	739	1,439	1,429	5,559
11月	300	440	112	90	375	562	662	1,301	1,285	5,127
12月	309	440	124	142	376	659	754	1,465	1,307	5,576
1月	243	419	129	112	369	648	728	1,404	1,331	5,383
2月	283	430	101	77	294	555	653	1,211	1,193	4,798
3月	301	483	102	95	330	615	749	1,424	1,307	5,406
合計	3,465	5,373	1,399	1,374	4,227	7,101	8,583	16,425	15,647	63,593

■ 入院



■ 外来



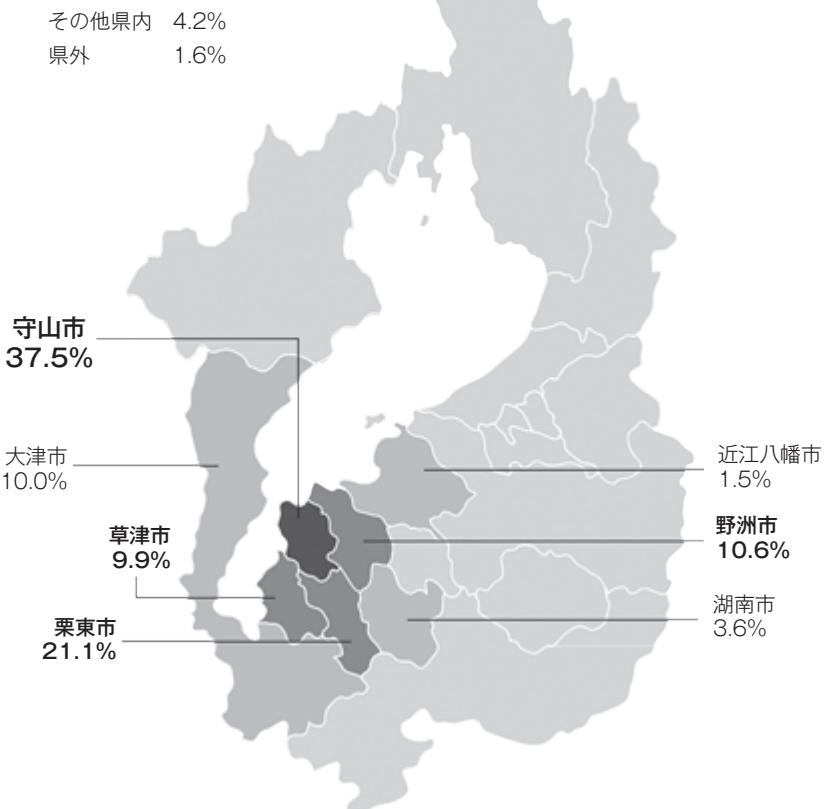
地域別患者数

[入院]

単位：人

月	項目	守山市	草津市	栗東市	野洲市	湖南市	大津市	近江八幡市	その他県内	県外	合計
4月		1,917	605	1,191	625	108	483	123	241	121	5,415
5月		2,178	561	913	806	90	509	85	288	118	5,549
6月		2,180	607	863	653	128	440	60	329	90	5,350
7月		1,900	708	894	687	208	450	111	276	100	5,334
8月		2,101	544	1,018	590	281	501	122	234	108	5,499
9月		2,063	454	1,179	500	319	505	67	220	64	5,370
10月		2,165	451	1,408	495	232	538	52	184	69	5,593
11月		2,056	505	1,315	513	158	595	37	173	81	5,432
12月		2,233	468	1,273	674	204	525	66	172	122	5,736
1月		2,217	432	1,278	578	210	586	92	231	70	5,694
2月		1,811	509	1,295	462	172	623	83	223	56	5,234
3月		1,878	680	1,246	385	250	820	84	215	67	5,625
年間		24,699	6,523	13,874	6,967	2,361	6,576	980	2,787	1,064	65,831

■ 入院

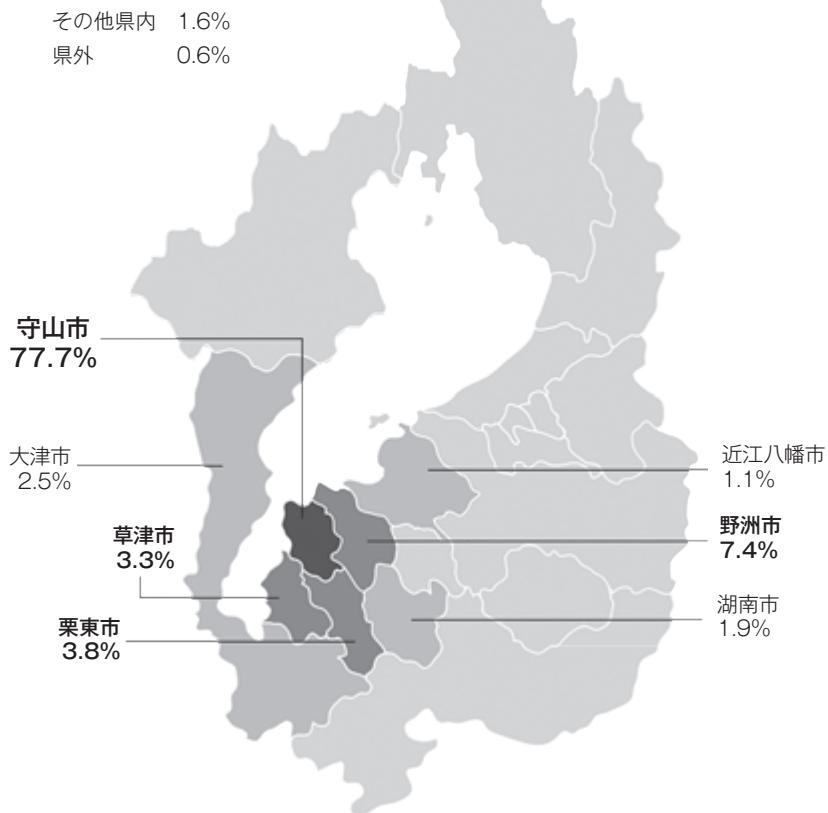


[外来]

単位：人

月	項目	守山市	草津市	栗東市	野洲市	湖南市	大津市	近江八幡市	その他県内	県外	合計
4月		4,042	186	194	363	99	133	50	79	38	5,185
5月		4,121	154	229	360	82	128	61	67	22	5,224
6月		3,917	154	178	378	82	142	64	77	29	5,021
7月		4,484	177	208	418	125	168	61	113	42	5,796
8月		4,241	182	232	408	101	127	63	85	33	5,471
9月		3,855	166	189	412	105	133	69	86	32	5,047
10月		4,383	177	208	361	101	129	62	106	33	5,559
11月		3,957	180	184	408	106	120	60	83	28	5,127
12月		4,391	194	181	394	99	131	59	92	36	5,576
1月		4,151	187	220	398	112	140	58	85	31	5,383
2月		3,707	163	201	370	99	106	57	70	25	4,798
3月		4,167	198	201	413	116	114	66	103	28	5,406
年間		49,416	2,117	2,426	4,684	1,227	1,572	728	1,044	379	63,593

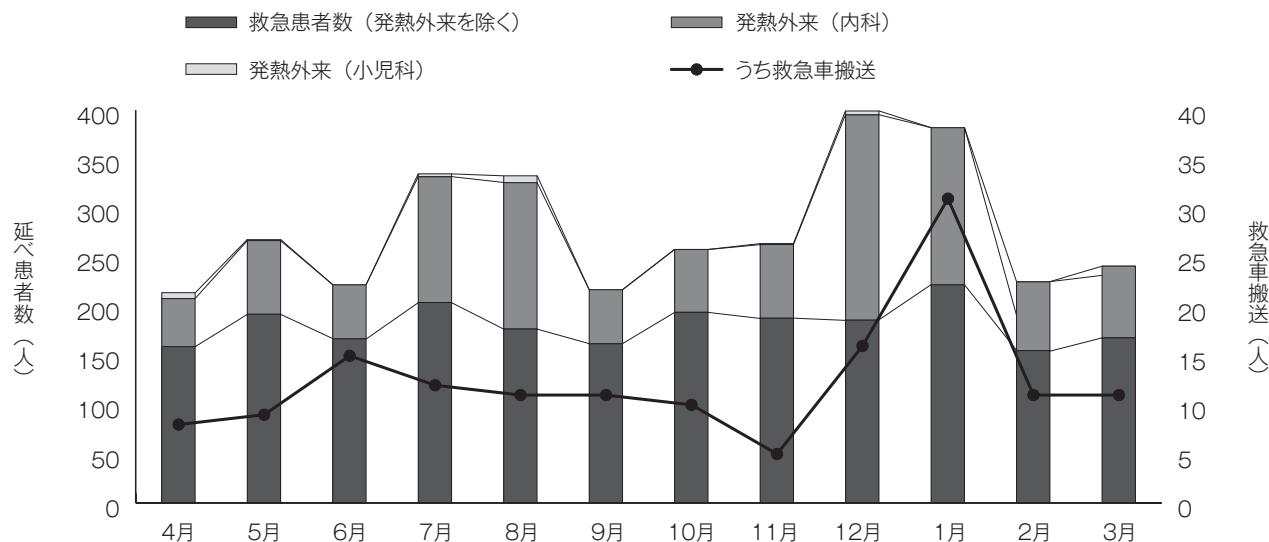
■ 外来



救急患者数

単位：人

項目 月	救急患者数 (発熱外来を除く)		発熱外来患者数			合計
	患者数	うち救急車搬送	内科	小児科	小計	
4月	159	8	49	6	55	214
5月	192	9	75	1	76	268
6月	167	15	55	0	55	222
7月	204	12	128	3	131	335
8月	177	11	149	7	156	333
9月	162	11	55	0	55	217
10月	194	10	64	0	64	258
11月	188	5	75	1	76	264
12月	186	16	209	4	213	399
1月	222	31	160	0	160	382
2月	155	11	70	0	70	225
3月	168	11	73	0	73	241
年間	2,174	150	1,162	22	1,184	3,358



無料・低額診療事業

単位：人

延べ患者数(A)	外来	入院	合計	
	63,593	65,831	129,424	
無料・低額診療 延べ患者数	生活保護	585	1,980	2,565
	無料診療	20	261	281
	低額診療	0	0	0
	県等承認	0	20,851	20,851
計(B)	605	23,092	23,697	

実施率 (B ÷ A)
18.3%

地域医療機関紹介件数

単位：件

紹介業務	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減	
診察	内科	33	23	22	25	36	21	21	35	23	28	18	18	303	319	▲ 16
	糖尿病	12	13	11	18	9	8	12	14	11	13	11	9	141	125	16
	呼吸器内科	9	3	11	14	10	7	7	9	7	8	6	8	99	91	8
	循環器内科	6	7	11	15	7	10	8	7	10	6	8	8	103	91	12
	消化器内科	11	10	14	16	7	3	15	6	8	8	8	5	111	66	45
	消化器内科(内視鏡目的)	1	6	3	2	3	3	5	4	0	1	0	7	35	57	▲ 22
	小児科	16	15	19	18	12	24	21	19	8	9	11	8	180	149	31
	外科	0	0	1	1	3	5	2	0	3	2	1	1	19	24	▲ 5
	整形外科	21	23	20	27	24	25	23	23	20	23	22	22	273	301	▲ 28
	脳外科	8	4	6	6	4	2	4	5	5	6	4	9	63	54	9
	皮膚科	2	2	1	3	8	2	9	3	3	4	16	5	58	30	28
	泌尿器科	2	1	1	2	0	0	2	4	1	3	0	0	16	20	▲ 4
	眼科	3	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	10	20	▲ 10
	人工透析	1	5	5	3	3	1	1	3	2	1	1	1	27	54	▲ 27
	リハビリ科	33	37	28	37	38	34	36	39	36	34	30	39	421	389	32
	小計	158	150	153	188	164	146	166	172	137	147	136	142	1,859	1,790	69
画像診断	X-P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
	CT	51	44	55	55	42	61	50	32	37	35	52	55	569	615	▲ 46
	MR	125	127	137	138	113	127	146	130	113	120	115	152	1,543	1,563	▲ 20
	骨塩定量	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	17	▲ 15
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	▲ 1
	小計	176	171	193	193	156	188	196	162	150	155	167	208	2,115	2,197	▲ 82
検査	胃カメラ	3	3	2	3	3	3	4	2	2	1	3	2	31	39	▲ 8
	腹部エコー	0	1	0	0	0	2	1	0	1	0	1	1	7	10	▲ 3
	心エコー	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	▲ 4
	頸部エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	▲ 1
	ABI	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4	2	2
	その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	▲ 1
	小計	4	4	3	3	4	7	6	2	3	1	2	3	42	59	▲ 17
	合計	338	325	349	384	324	341	368	336	290	303	305	353	4,016	4,046	▲ 30

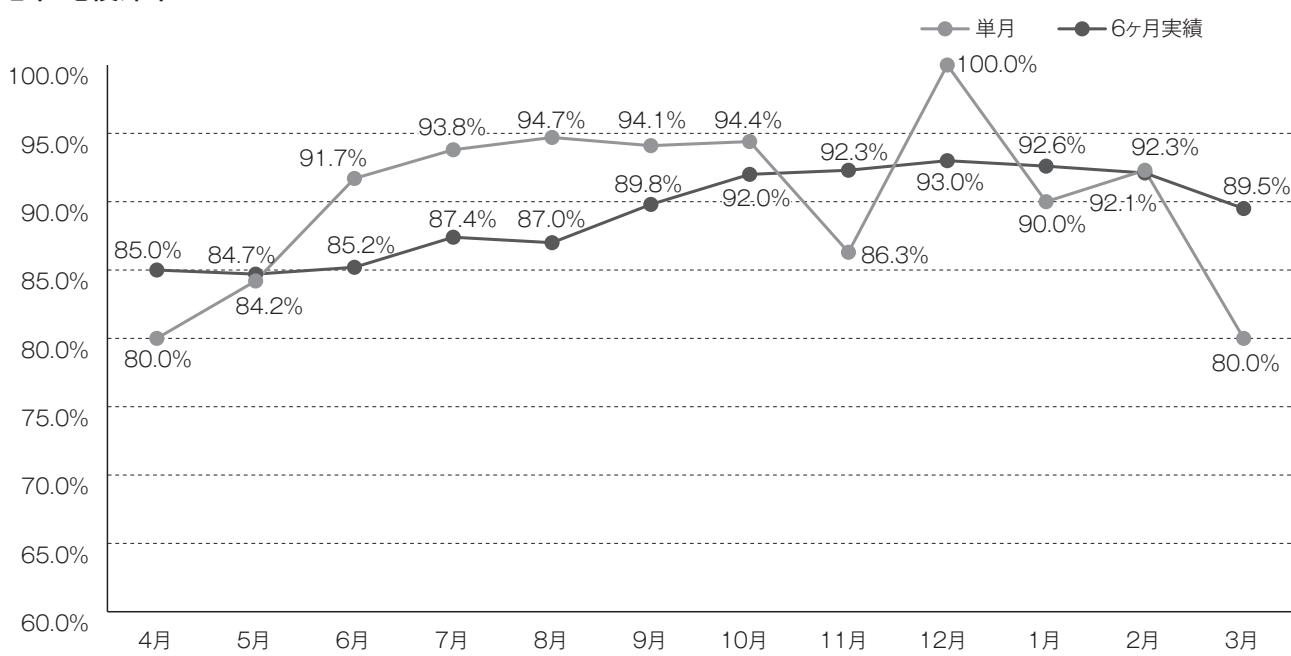
単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	増減
開放型手術	12	12	12	20	18	12	9	9	13	11	13	9	150	152	▲ 2

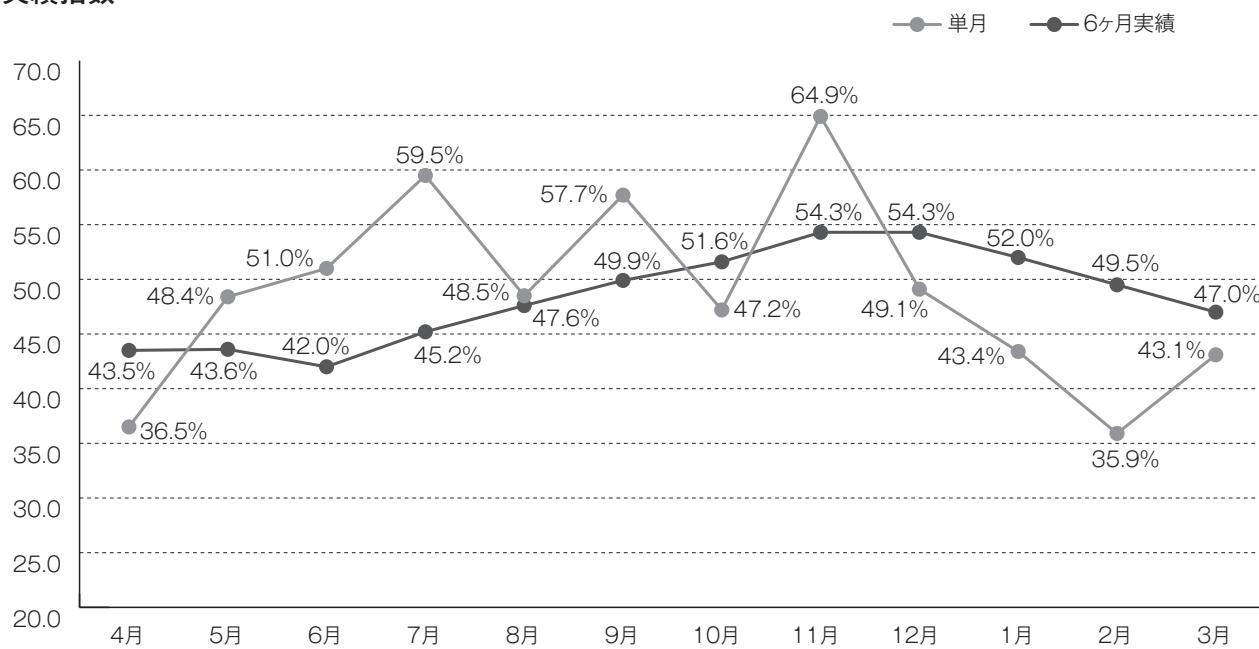
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
初診患者数(人)	532	602	577	729	698	580	634	544	613	549	506	554	7,118		
紹介初診患者数(人)	270	263	273	315	274	291	293	269	220	230	256	288	3,242		
逆紹介患者数(人)	425	391	464	432	410	448	471	429	415	424	454	473	5,236		
紹介患者率(%)	50.8	43.7	47.3	43.2	39.3	50.2	46.2	49.4	35.9	41.9	50.6	52.0	45.5		
逆紹介患者率(%)	79.9	65.0	80.4	59.3	58.7	77.2	74.3	78.9	67.7	77.2	89.7	85.4	73.6		

病棟別施設基準届出実績（2病棟）

■ 在宅復帰率

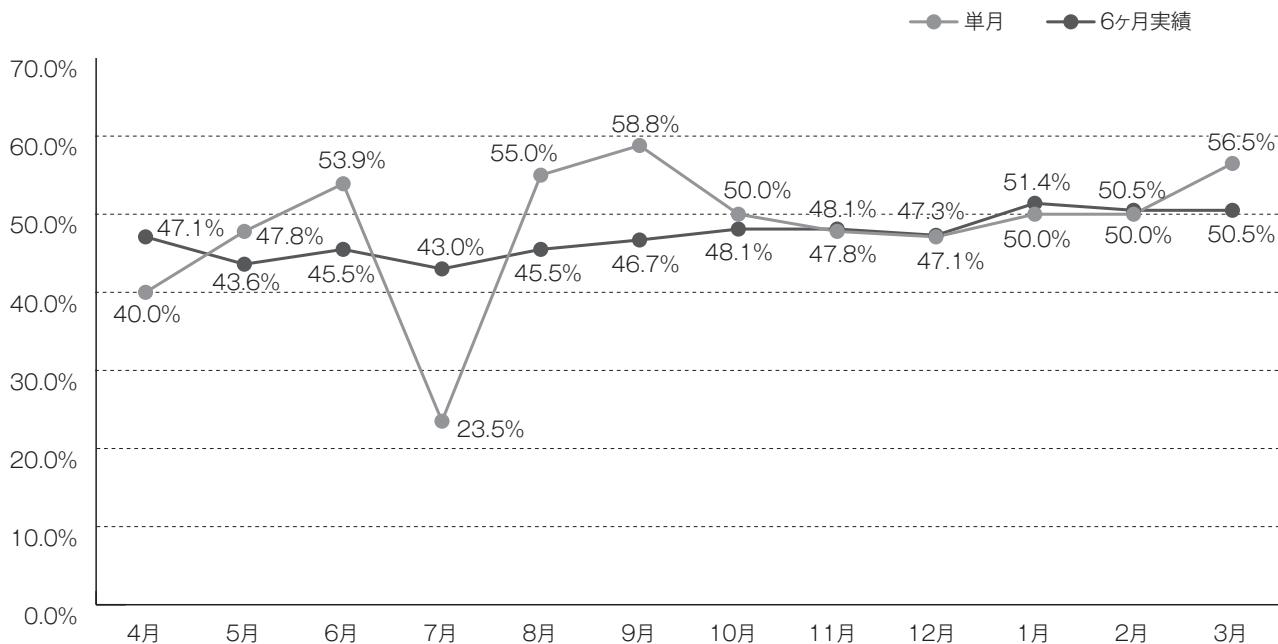


■ 実績指數



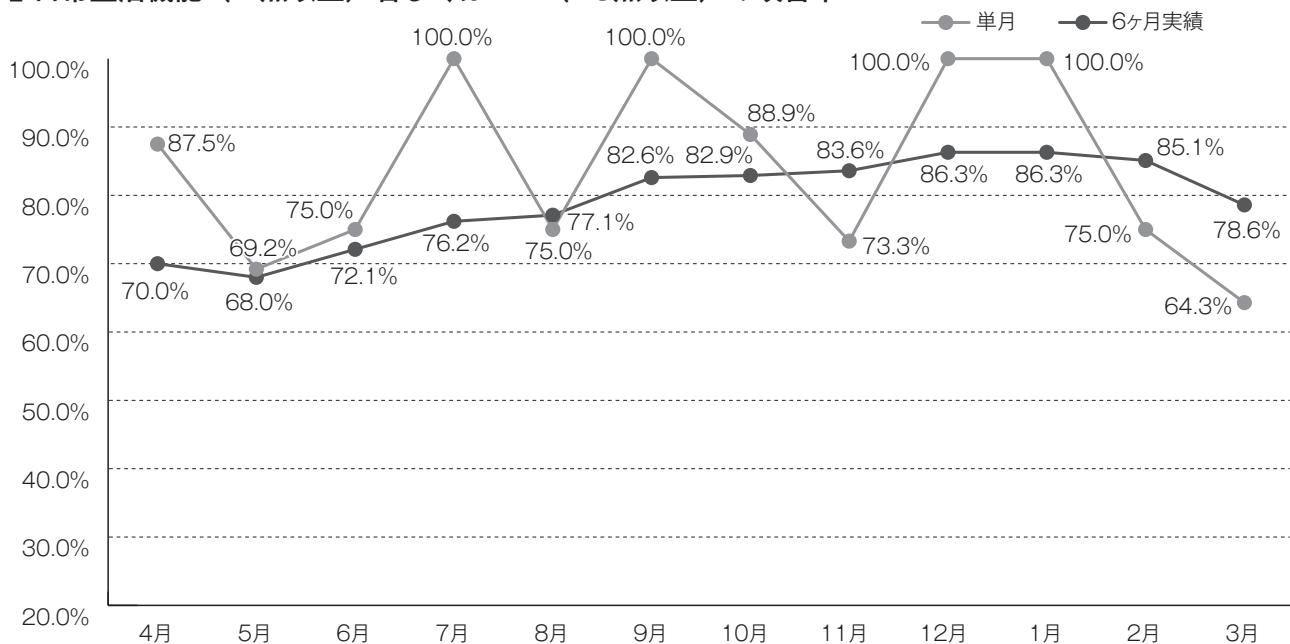
月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月実績	36.5	48.4	51.0	59.5	48.5	57.7	47.2	64.9	49.1	43.4	35.9	43.1
6ヶ月実績	43.5	43.6	42.0	45.2	47.6	49.9	51.6	54.3	54.3	52.0	49.5	47.0

■ 重症患者割合



月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月実績	40.0%	47.8%	53.9%	23.5%	55.0%	58.8%	50.0%	47.8%	47.1%	50.0%	50.0%	56.5%
6ヶ月実績	47.1%	43.6%	45.5%	43.0%	45.5%	46.7%	48.1%	48.1%	47.3%	51.4%	50.5%	50.5%

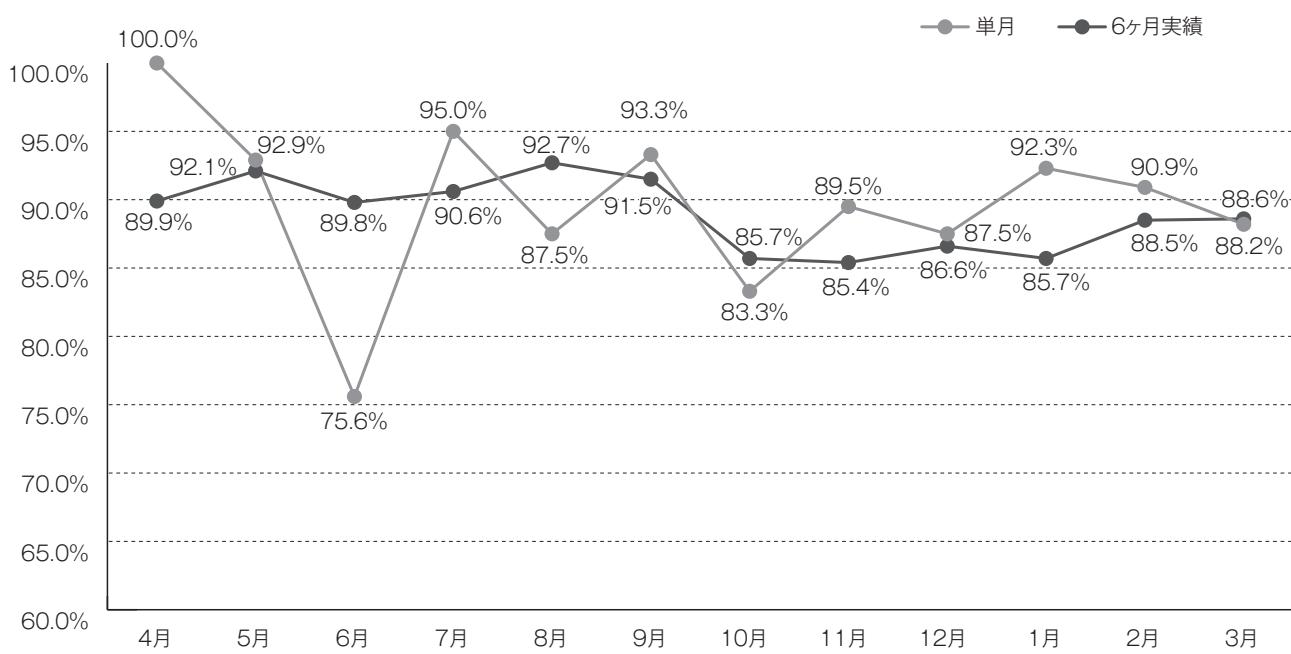
■ 日常生活機能（4点以上）若しくはFIM（16点以上）の改善率



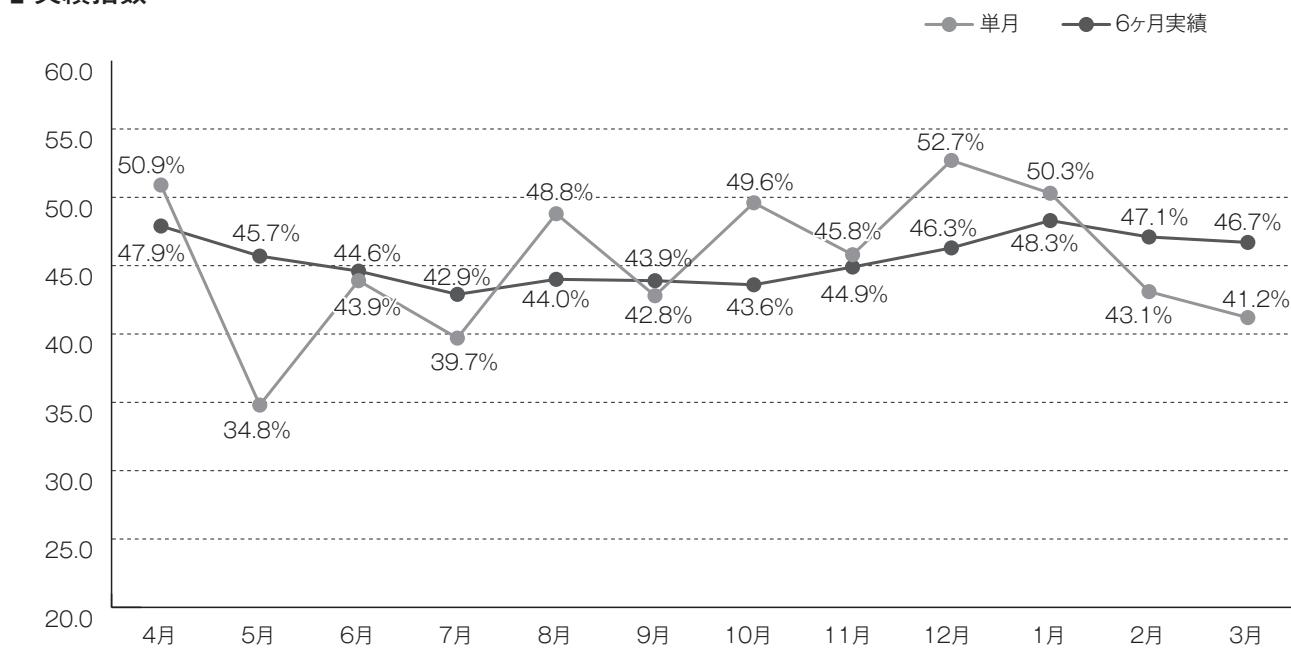
月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月実績	87.5%	69.2%	75.0%	100.0%	75.0%	100.0%	88.9%	73.3%	100.0%	100.0%	85.1%	64.3%
6ヶ月実績	70.0%	68.0%	72.1%	76.2%	77.1%	82.6%	82.9%	83.6%	86.3%	86.3%	75.0%	78.6%

病棟別施設基準届出実績（3病棟）

■ 在宅復帰率

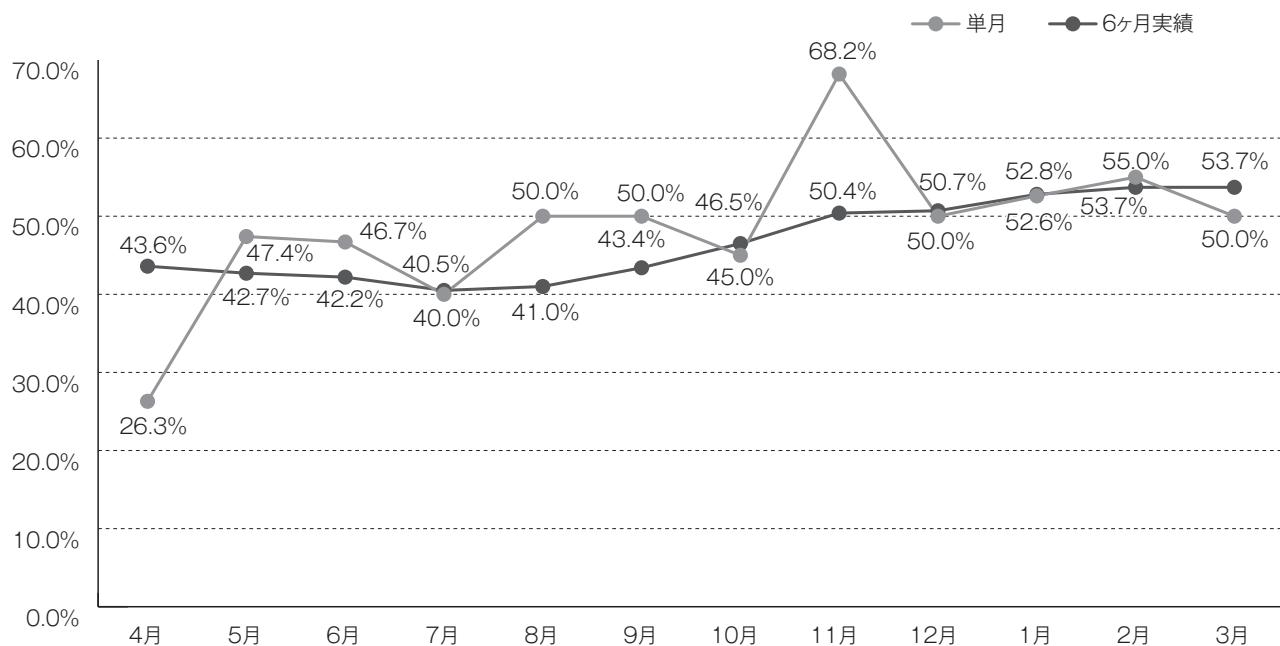


■ 実績指數

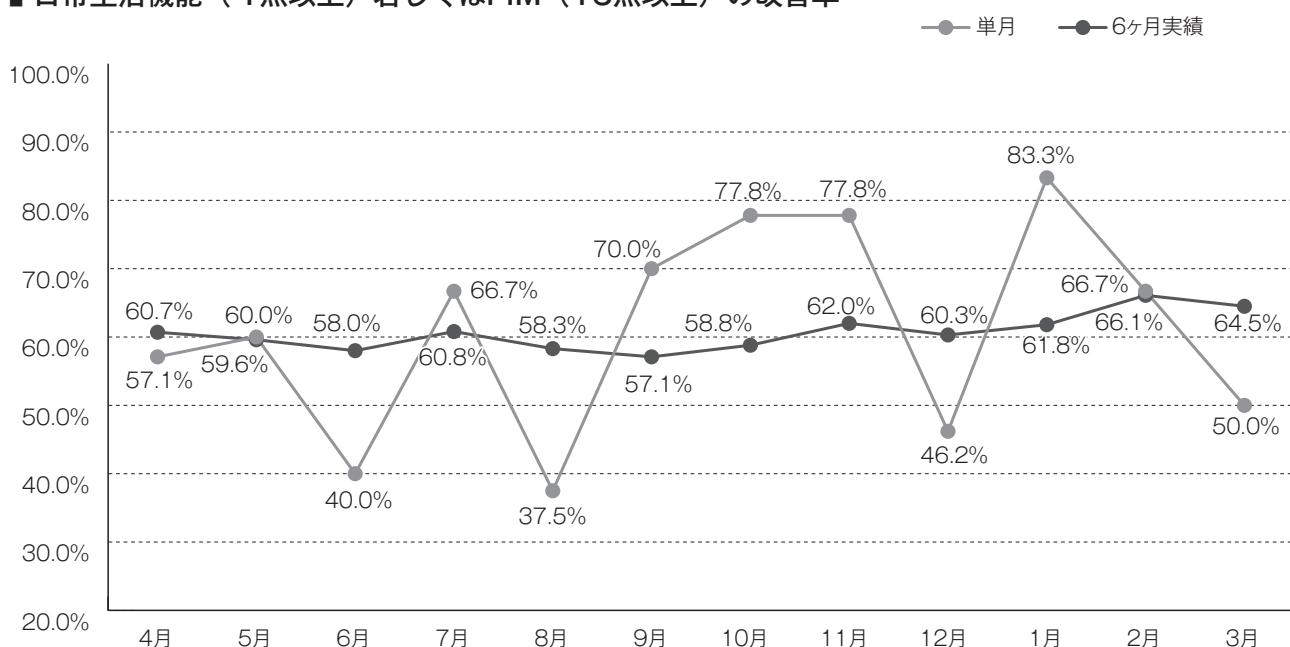


月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月実績	50.9	34.8	43.9	39.7	48.8	42.8	49.6	45.8	52.7	50.3	43.1	41.2
6ヶ月実績	47.9	45.7	44.6	42.9	44.0	43.9	43.6	44.9	46.3	48.3	47.1	46.7

■ 重症患者割合



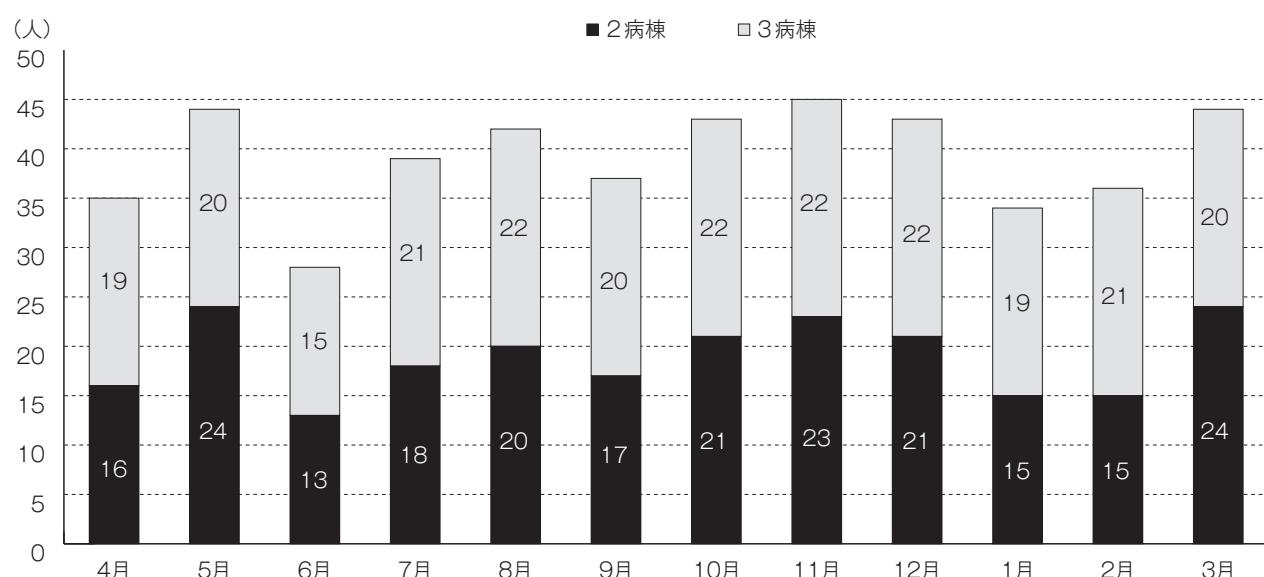
■ 日常生活機能（4点以上）若しくはFIM（16点以上）の改善率



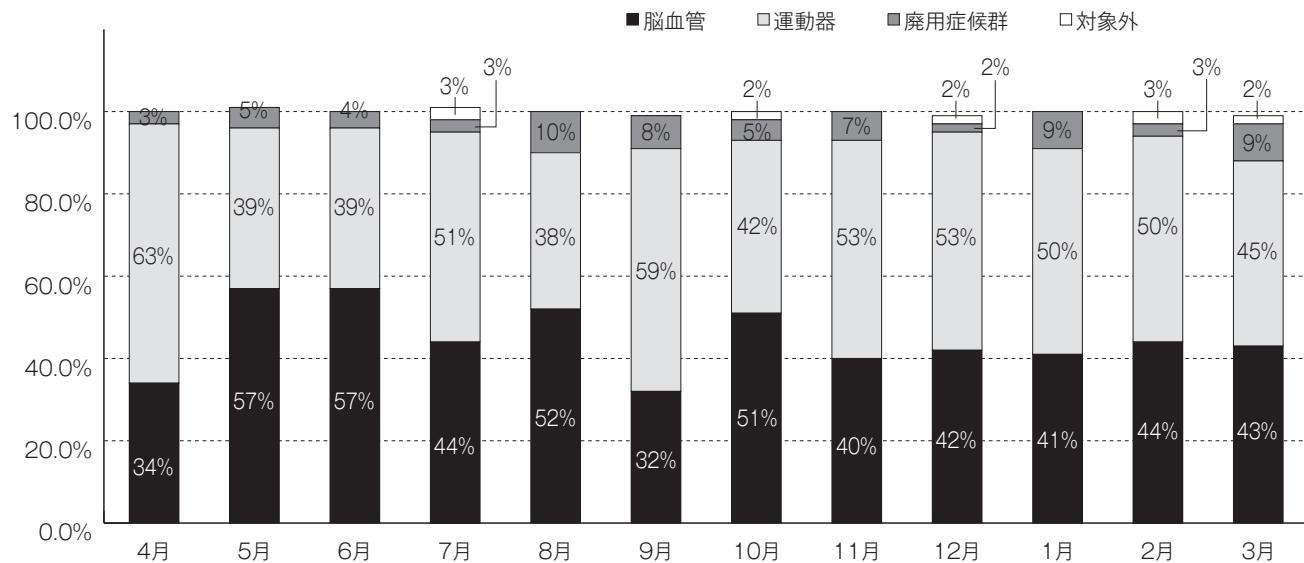
月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単月実績	57.1%	60.0%	40.0%	66.7%	37.5%	70.0%	77.8%	77.8%	46.2%	83.3%	66.7%	50.0%
6ヶ月実績	60.7%	59.6%	58.0%	60.8%	66.7%	58.3%	57.1%	58.8%	62.0%	60.3%	61.8%	64.5%

回復期リハビリテーション病棟実績

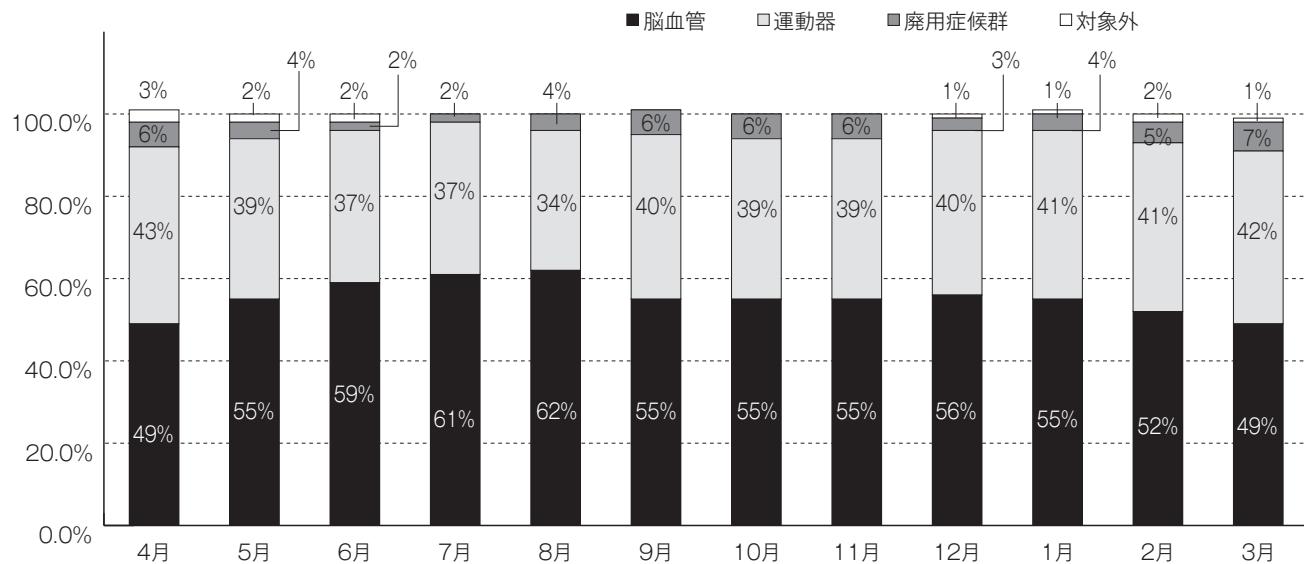
■ 入院患者数 病棟別



■ 入院患者数 リハビリテーション別割合

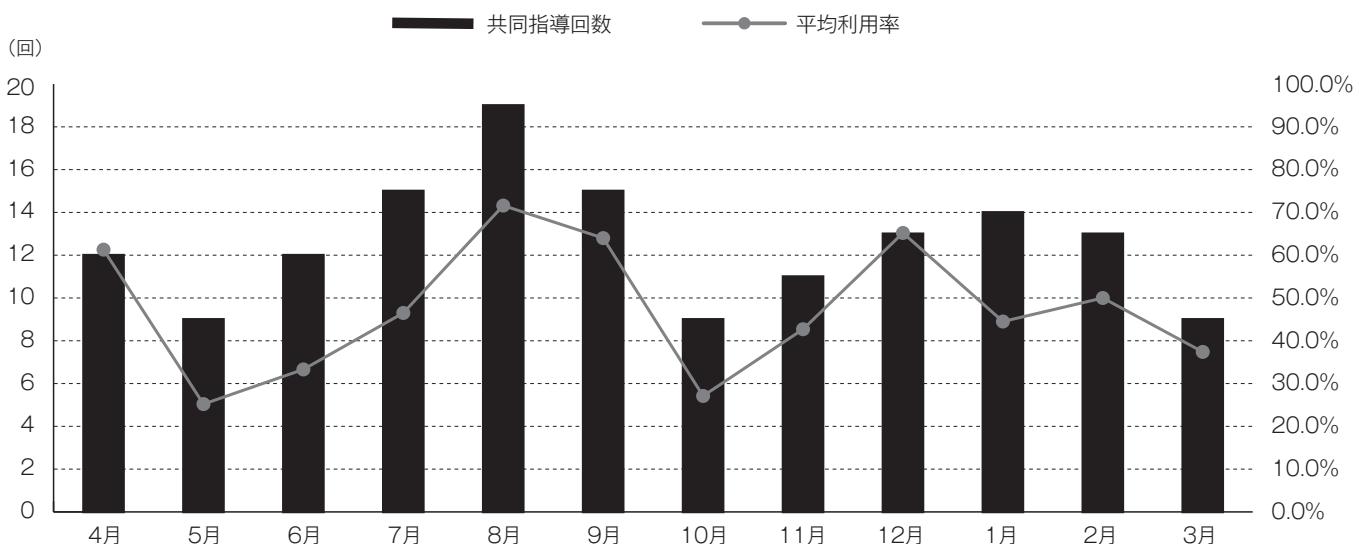


■ 入院延べ日数 リハビリテーション別割合



開放型病床の利用状況

月度	入院患者数(人)	入院延利用日数(日)	平均患者数(人)	利用登録医師数(人)	共同指導回数(回)	平均利用率
4月	12	92	3.1	2	12	61.3%
5月	9	39	1.3	2	9	25.2%
6月	12	50	1.7	2	12	33.3%
7月	15	72	2.3	2	15	46.5%
8月	19	111	3.6	2	19	71.6%
9月	15	96	3.2	2	15	64.0%
10月	9	42	1.4	2	9	27.1%
11月	11	64	2.1	2	11	42.7%
12月	13	101	3.3	2	13	65.2%
1月	14	69	2.2	2	14	44.5%
2月	13	70	2.4	2	13	50.0%
3月	9	58	1.9	2	9	37.4%
合計	151	864	—	—	151	—
平均	12.6	72.0	2.4	2.0	12.6	47.4%



健診実績

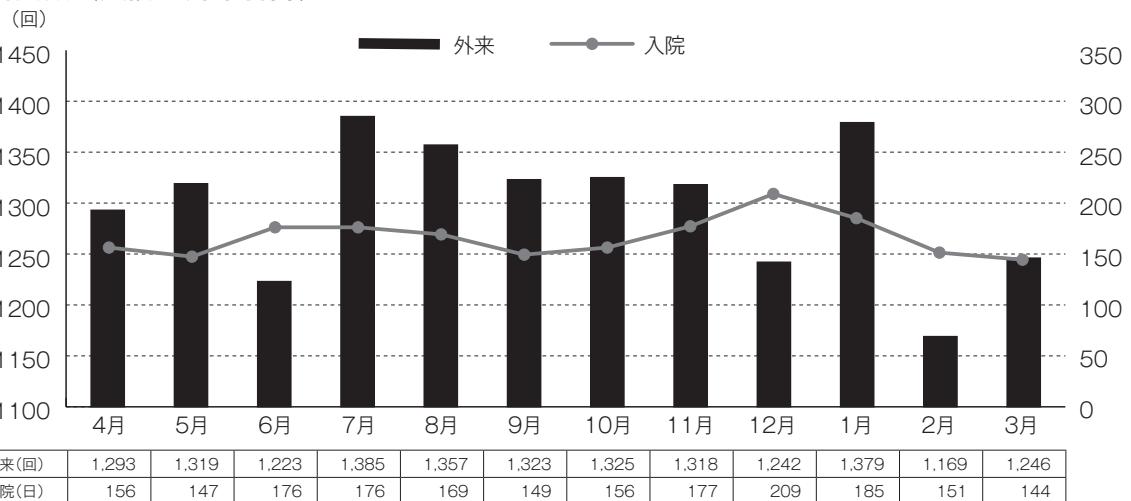
単位：件

月別	一般健診	生活習慣病健診	人間ドック	脳ドック	人間+脳ドック	市健診			合計
						後期高齢者健診	特定検診等	その他市健診	
4月	61	65	34	2	6	0	0	42	210
5月	189	206	38	4	11	81	86	157	772
6月	170	194	72	6	8	55	125	203	833
7月	212	232	63	6	19	66	117	213	928
8月	139	211	66	3	14	22	102	166	723
9月	143	186	61	7	14	29	123	156	719
10月	148	251	67	7	23	48	163	183	890
11月	121	255	46	14	18	37	163	201	855
12月	146	189	55	9	21	39	126	172	757
1月	169	159	45	7	23	34	145	181	763
2月	140	165	40	5	18	50	206	261	885
3月	128	84	70	2	27	0	11	241	563
合計	1,766	2,197	657	72	202	461	1,367	2,176	8,898

人工透析実績

月別	昼間		中間		夜間		小計		総合計	月末		
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院		総患者数	他院入院患者	入院患者数
4月	1,058	156	113	0	122	0	1,293	156	1,449	113	1	12
5月	1,065	147	116	0	138	0	1,319	147	1,466	113	2	11
6月	1,017	176	89	0	117	0	1,223	176	1,399	116	0	15
7月	1,108	176	115	0	162	0	1,385	176	1,561	115	1	12
8月	1,116	169	92	0	149	0	1,357	169	1,526	117	2	12
9月	1,084	149	96	0	143	0	1,323	149	1,472	116	3	10
10月	1,093	163	86	0	146	0	1,325	156	1,481	116	4	12
11月	1,090	182	82	0	130	0	1,318	177	1,495	117	2	15
12月	1,034	216	91	0	117	0	1,242	209	1,451	115	2	14
1月	1,144	189	110	2	125	0	1,379	185	1,564	115	1	13
2月	981	135	75	24	113	0	1,169	151	1,320	112	5	12
3月	1,047	123	77	21	122	0	1,246	144	1,390	110	7	10
合計	12,837	1,981	1,142	47	1,584	0	15,579	1,995	17,574	—	—	—
平均	1,070	165	95	4	132	0	1,298	166	1,465	115	3	12

透析回数（入院・外来合計）

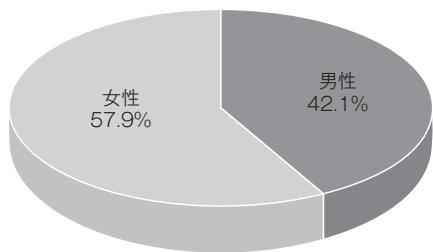


患者満足度調査結果

〔入院〕

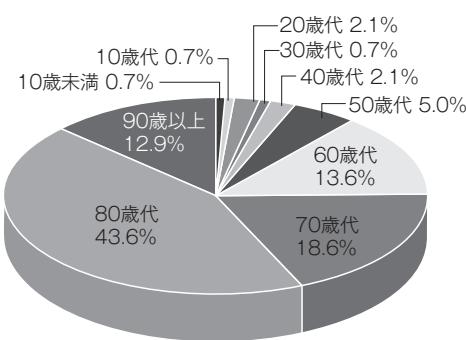
実施期間：令和6年8月13日(火)～9月13日(金)

性別



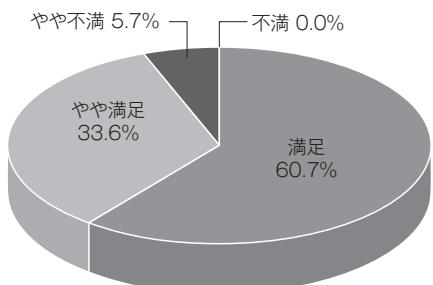
回答数：140件

年齢



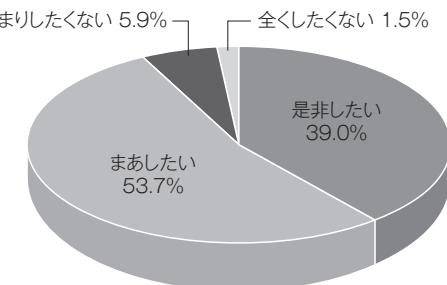
回答数：140件

当院を総合的にどう思うか



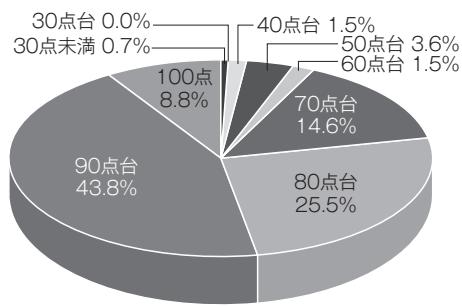
回答数：140件

知人や家族に当院を紹介したいと思うか



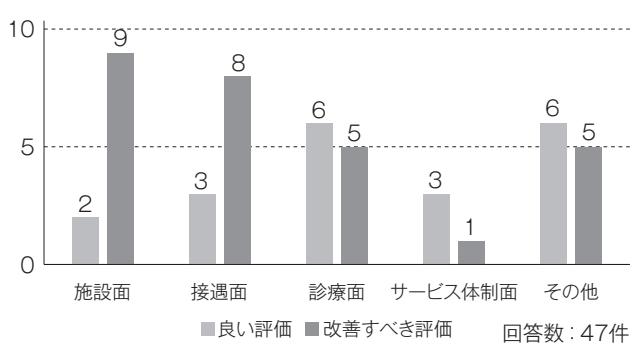
回答数：136件

当院の評価（100点満点で）



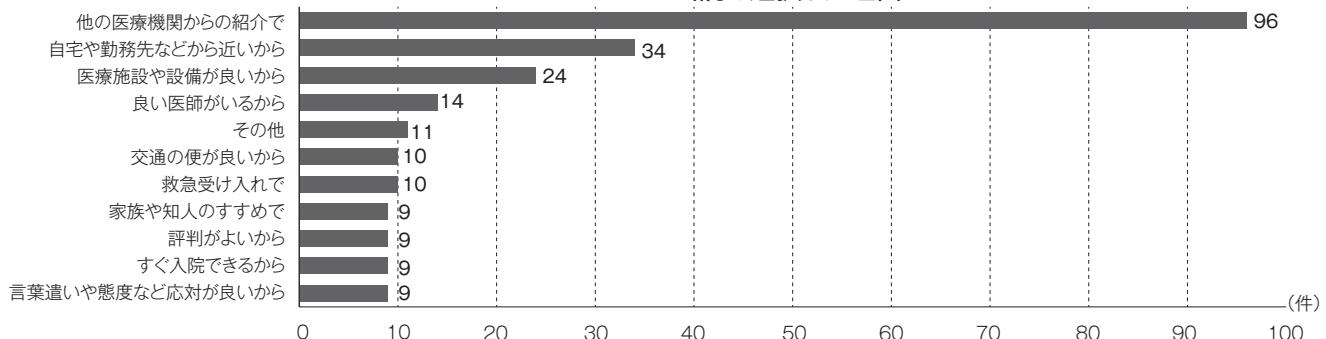
回答数：137件

良い評価と改善すべき評価

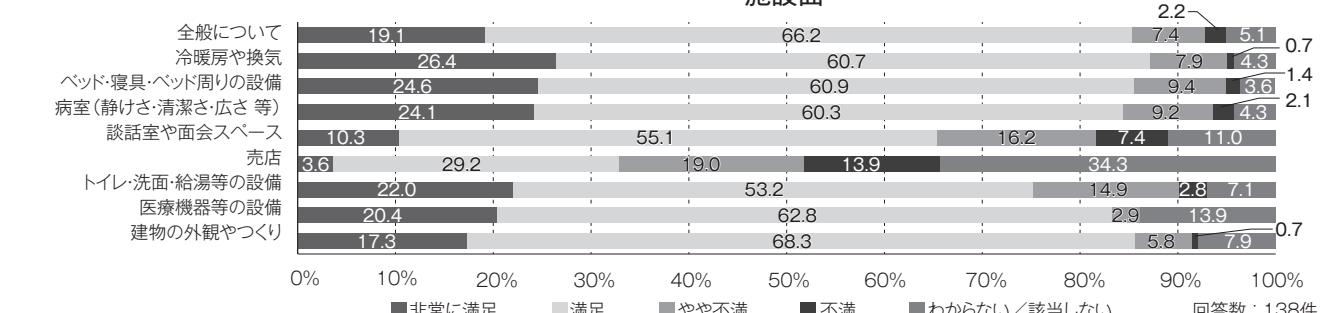


〔入院〕

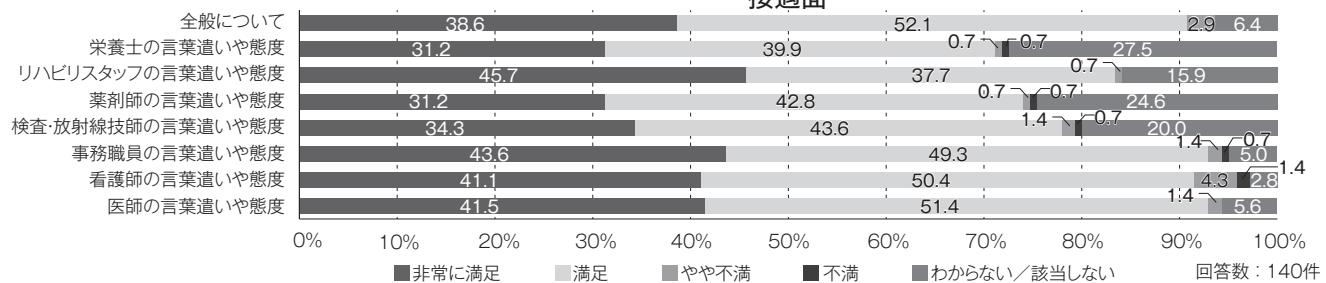
当院を選択した理由



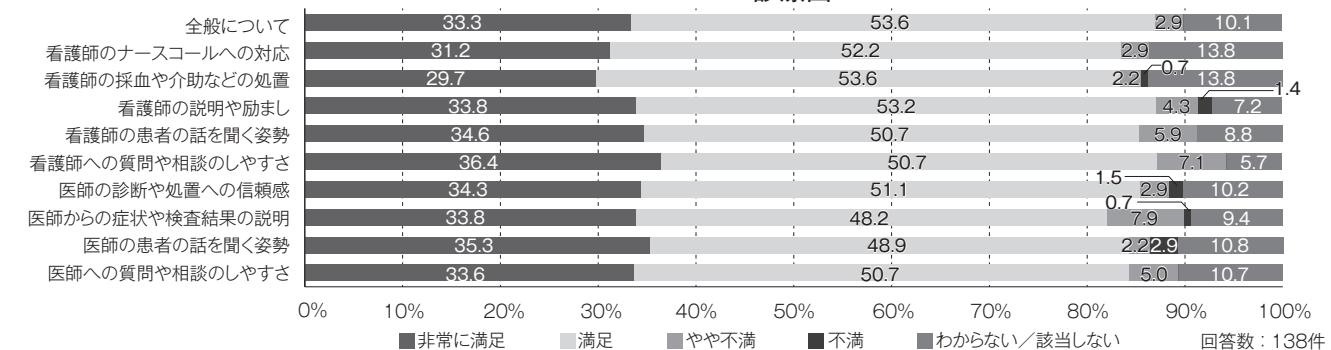
施設面



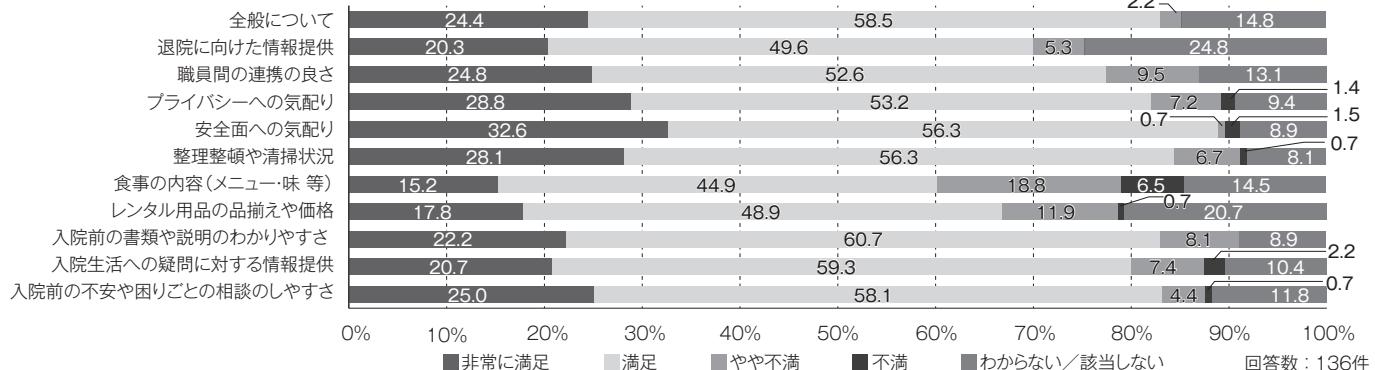
接遇面



診療面



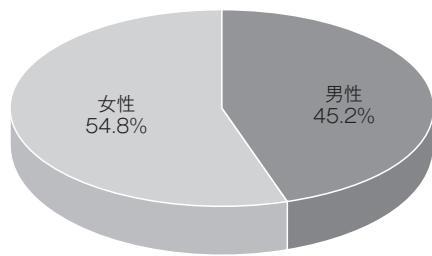
サービス体制面



〔外来〕

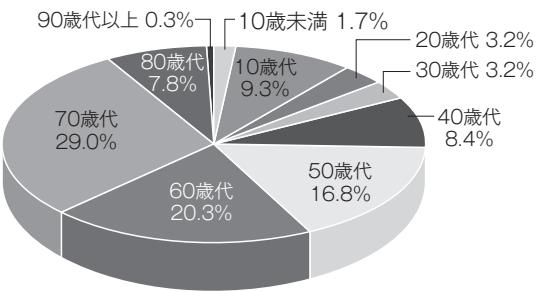
実施期間：令和6年8月13日(火)～9月13日(金)

性別



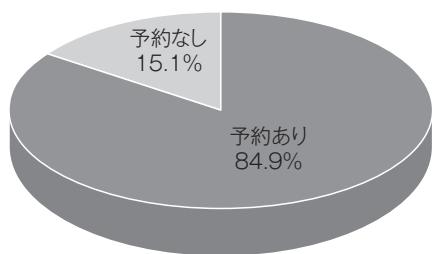
回答数：345件

年齢



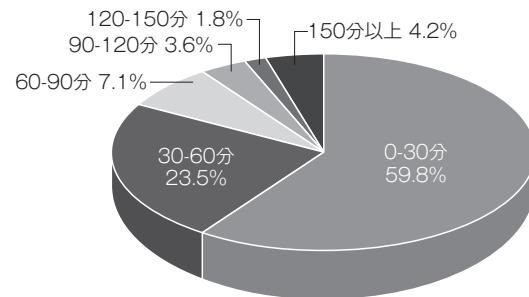
回答数：345件

予約の有無



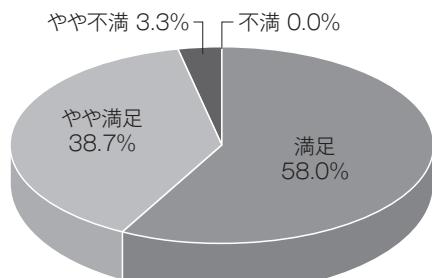
回答数：345件

待ち時間



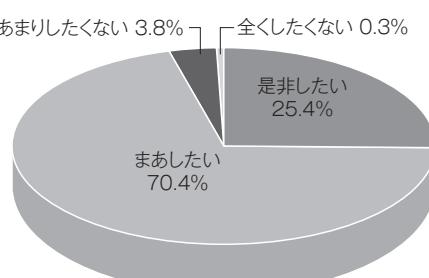
回答数：336件

当院を総合的にどう思うか



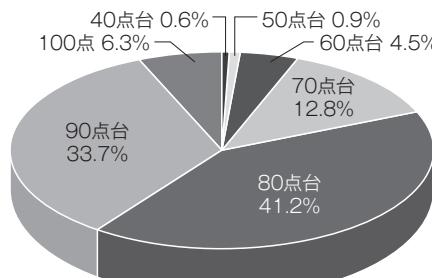
回答数：336件

知人や家族に当院を紹介したいと思うか



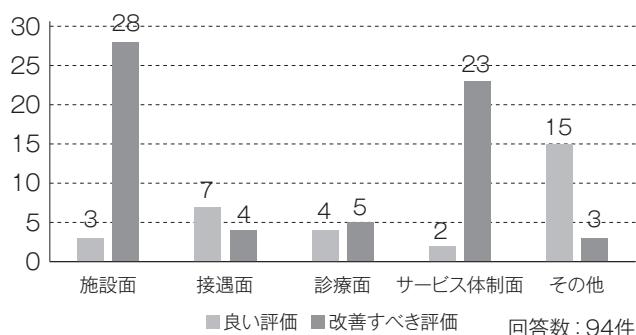
回答数：338件

当院の評価（100点満点で）



回答数：335件

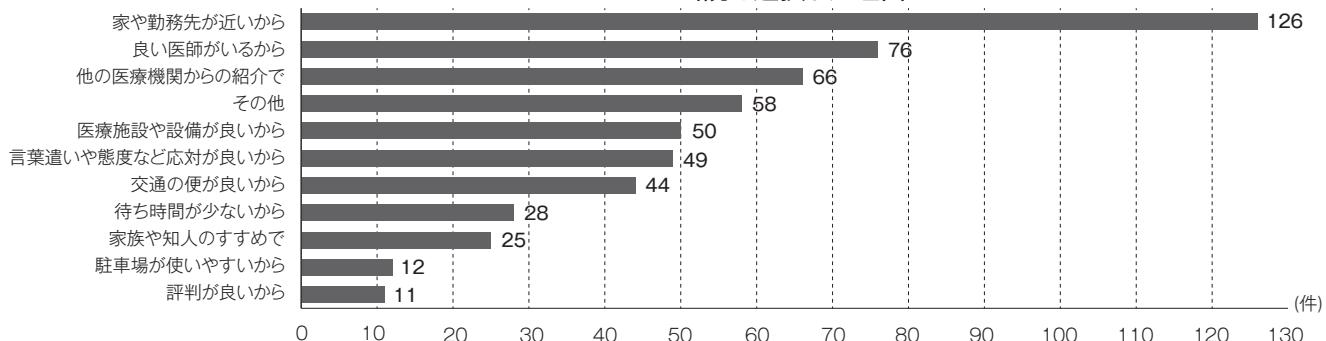
良い評価と改善すべき評価



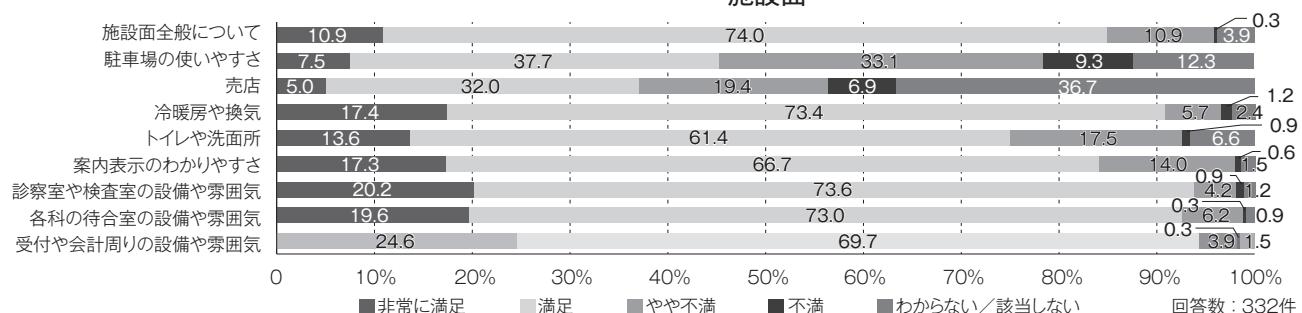
回答数：94件

〔外来〕

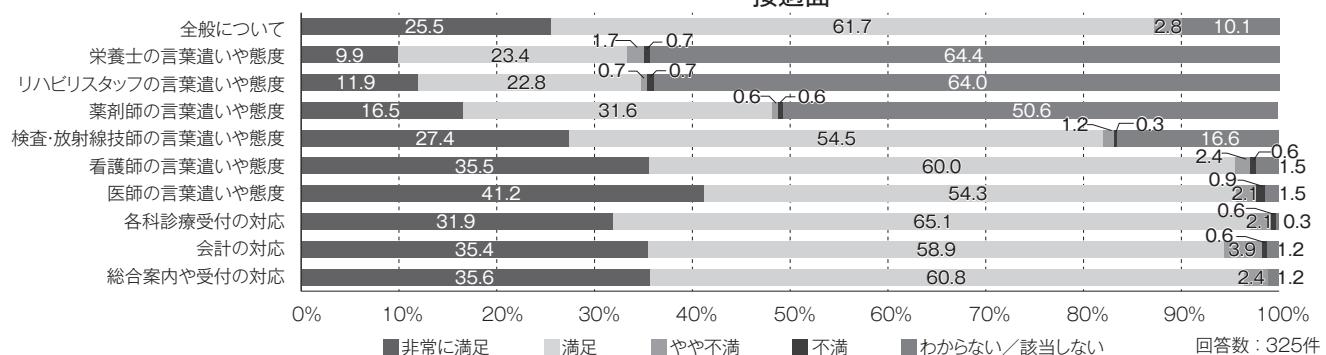
当院を選択した理由



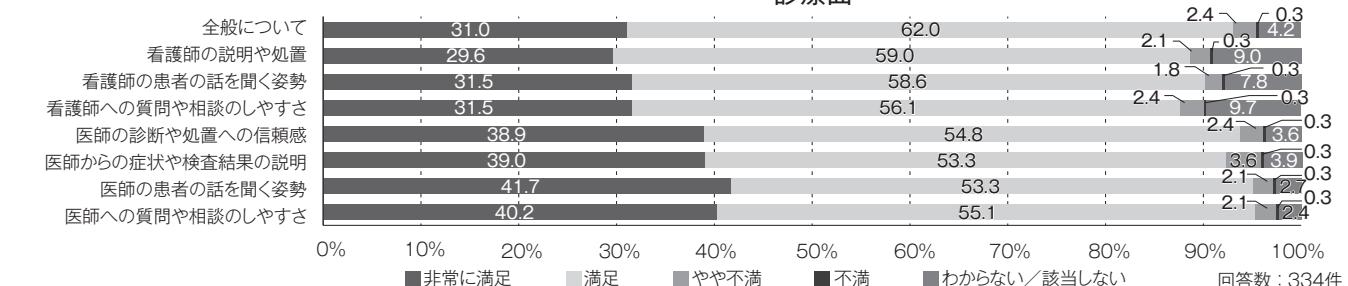
施設面



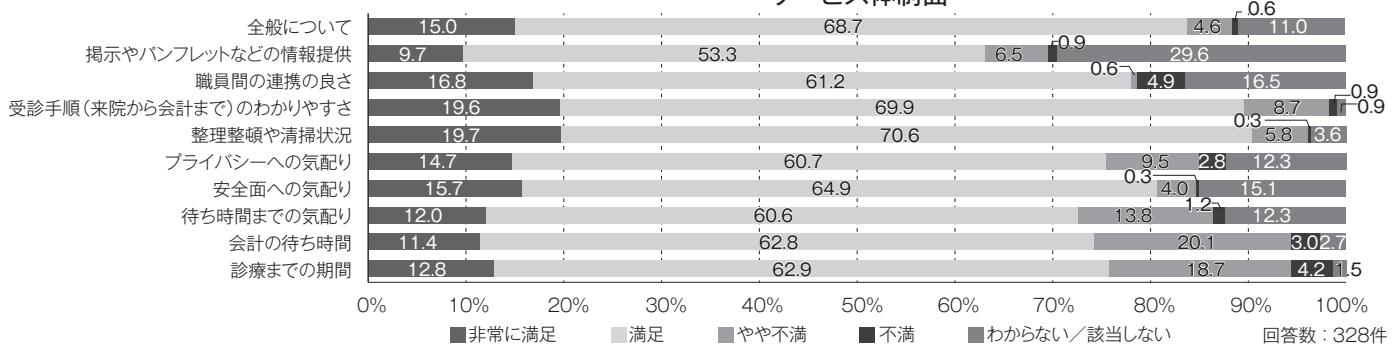
接遇面



診療面



サービス体制面



各部門の活動状況



診療部

部長 菊地 克久

総合内科

I. 診療医師

部長（副院長） 若城 茂太朗 日本外科学会（認定医） 日本消化器外科学会（認定医）

II. 診療概要

内科では、総合診療外来と疾患別専門外来を設置しています。総合診療外来である当科では発熱、食欲不振、倦怠感のように、症状からはどこの診療科を受診するのがよいかわかりにくい方や、風邪症状、腹痛など比較的よくある症状の方を診療治療し、また必要に応じて適切な専門外来への振り分けを行います。さらに、複数の臓器にわたる慢性疾患がある方を全身的、機能的観点から診断治療しています。

III. 診療実績

入院延べ患者数 15,237人 外来延べ患者数 4,621人

IV. 今後の展望

複数の疾患を抱える高齢者の医療に応え、グループである済生会滋賀県病院との連携で急性期から慢性期まで幅広く対応していくことで、地域包括ケアシステムの構築につなげます。また、在宅療養支援病院として地域の開業の先生方との連携を強め、地域医療をより一層担っていきます。嚥下機能低下から誤嚥性肺炎を繰り返される高齢者等に対し、摂食嚥下・口腔ケアチームとの連携をとり、リハビリなどを通して機能改善が進むよう取り組んでいきます。

呼吸器内科

I. 診療医師

副部長 吉橋 彩子 日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医）
日本呼吸器学会（呼吸器専門医）
日本呼吸器内視鏡学会

II. 診療概要

肺炎、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫・慢性気管支炎など）、気管支喘息・咳喘息などの慢性咳嗽、気胸、胸水、睡眠時無呼吸症候群などの診断と治療を行っています。令和6年からは、一泊入院で行う、睡眠時無呼吸症候群の精密検査（PSG検査）も行えるようになりました。肺がんや、その他気管支鏡検査が必要な疾患が疑われた場合には、速やかに検査可能な近隣病院へ紹介しています。入院患者さんにおいては、理学療法士による呼吸リハビリテーション（呼吸機能を回復・維持）を行って症状を軽減し、患者さんの日常生活が少しでも楽になるよう支援しています。

III. 診療実績

入院延べ患者数 1,394人 外来延べ患者数 2,504人

IV. 今後の展望

アレルギー体质や環境汚染などに伴い、成人発症の喘息は増えています。喘息死は長期作動型吸入薬の普及により格段に減少しましたが、まだ我が国でも年間1,000人弱の方々が喘息発作で亡くなっています。様々な要因により発作を繰り返す方がいらっしゃいます。各患者さんに適した吸入薬を、症状や生活様式などから総合的に判断、選択し、また、発作を起こさないために毎日の吸入薬使用による症状コントロールの指導を継続しています。これらの治療を行っても症状が持続したり発作を生じる難治性の重症喘息に対しては、生物学的製剤の注射による治療も併用しています。慢性的肺疾患を持つ方は、気道感染を生じると呼吸状態が急激に悪化することがあります。そのような増悪を予防するため、各種ワクチンの接種の必要性を説明し、推奨していきます。当院ではご高齢の患者さんも多く、誤嚥性肺炎も多く見られます。誤嚥が肺炎の原因と疑われる場合は、誤嚥の危険をできるだけ減らせるよう、当院の嚥下相談へ速やかにつなげています。

循環器内科

I. 診療医師

部長 金盛 俊之 日本内科学会 日本循環器学会

II. 診療概要

循環器内科では高血圧症、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、不整脈疾患、心不全、弁膜症疾患、末梢血管疾患などを対象に診療しています。

心臓超音波検査、ホルター心電図（24時間記録心電図）、運動負荷心電図、マルチスライスCTによる冠動脈造影などの非侵襲的検査を行い診断・治療を行っています。診断の結果、より専門性の高い検査や治療（心臓カテーテル検査、心臓血管手術など）を必要とする場合は、高度専門施設へ速やかに紹介し、患者さんが最良の医療を受けられるよう最善を尽くしています。

III. 診療実績

入院延べ患者数	2,064人	外来延べ患者数	5,321人
心臓超音波検査	825件	頸動脈エコー	66件
下肢血管エコー	295件	運動負荷心電図（トレッドミル）	27件
ホルター心電図	309件	血圧・脈波	572件
冠動脈CT	22件		

IV. 今後の展望

循環器系疾患は加齢とともに罹患率が上昇し、超高齢化が進行しているわが国において、循環器診療はますます重要さを増しています。高齢の患者さんは複数の疾患を抱えておられ、認知機能が低下している方やフレイル（虚弱）、要介護の状態になっておられる方も多いです。そのような患者さんに循環器疾患の的確な診断・治療のみならず、併存疾患、さらに心理的・社会的側面に配慮した全人的な医療を目指していきます。

消化器内科

I. 診療医師

副部長 中田 俊朗 日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医）
日本消化器病学会（消化器病専門医・指導医）
日本消化器内視鏡学会（消化器内視鏡専門医・指導医）
日本肝臓学会（肝臓専門医）

II. 診療概要

当科では消化管（食道、胃、十二指腸、大腸）、肝臓、胆道、脾臓などの臓器の疾患に対する検査・診断・治療を行っています。特に、胃カメラや大腸カメラなどの内視鏡検査においては、患者さんに負担が少ないと心がけています。

III. 診療実績

入院延べ患者数	1,881人	外来延べ患者数	3,771人	上部消化管内視鏡検査	1,733件
下部消化管内視鏡検査	303件（うち大腸ポリープ切除術及び粘膜切除術199件）				
腹部超音波検査	1,941件				

IV. 今後の展望

胃がん検診における内視鏡の重要性が高まったこと、近年の大腸がん罹患率の増加を反映して、今後も内視鏡診療の重要性は高まっていくものと考えられます。早期発見、早期治療を目標とし、日々の業務に全力で取り組みたいと考えています。

糖尿病内科

I. 診療医師

副部長	辻 知里	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医） 日本糖尿病学会（糖尿病専門医・研修指導医） 日本内分泌学会（内分泌代謝科専門医）
医長	井上 秀香	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医） 日本糖尿病学会（糖尿病専門医）
医長	多賀谷 允	日本内科学会（認定内科医） 日本腎臓学会（腎臓専門医・指導医） 日本化学療法学会（抗菌化学療法認定医） 日本糖尿病学会 日本透析医学会（透析専門医）
医長	大井 衣里	日本内科学会（認定内科医） 日本透析医学会（透析専門医）

II. 診療概要

個々の患者さんの病態とライフスタイルに合わせた個別食事療法や運動指導をし、経口薬や注射薬による治療を行っています。また、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士により構成された糖尿病ケアチームが糖尿病教室を開催し、患者さんとご家族の方が正しい知識と深い理解を得て効果的に治療に取り組んでいくようサポートしています。さらに、糖尿病腎症が認められる患者さんには、透析を予防するために透析予防指導（医師、看護師、管理栄養士から成るチーム医療）を行い、足に病変（またはハイリスク）のある患者さんには、足壊疽予防のために、専任看護師によるフットケアを実施しています。

III. 診療実績

入院延べ患者数 2,871人 外来延べ患者数 4,150人

IV. 今後の展望

糖尿病診療においては、今後も新たな治療薬が発売され、治療の選択肢が広がります。当院では、持続自己血糖測定器などを用い、個々の患者さんの生活様式に合わせた適切な治療を行っていきます。また、地域の医療機関と連携を図り、その有する機能を有効活用していく方針です。

腎臓内科

I. 診療医師

医長	多賀谷 允	日本内科学会（認定内科医） 日本腎臓学会（腎臓専門医・指導医） 日本化学療法学会（抗菌化学療法認定医） 日本糖尿病学会 日本透析医学会（透析専門医）
医長	大井 衣里	日本内科学会（認定内科医） 日本透析医学会（透析専門医）

II. 診療概要

腎炎、ネフローゼ、腎不全などの腎臓疾患の診療をしています。現在の症状を把握し、腎臓病の悪化因子を見極め、腎臓病の進行を遅らせるための医療を提供しています。生活習慣への介入が必要な患者さんには栄養指導や運動療法などを行い患者さん自身が効果的に治療に取り組めるようサポートしています。また、腎生検が必要と判断された場合には高度専門施設へ紹介しています。腎不全が進行した場合には当科にて血液透析の導入・管理を行っています。

III. 診療実績

入院延べ患者数（人工透析） 4,467人 外来延べ患者数（人工透析） 15,579人

IV. 今後の展望

医療費抑制政策による良質な医療の維持が困難な環境と、スタッフ減少の中で、創意工夫し透析技術の向上と安全な透析を目指しています。また、高齢者の透析導入が著増し、透析周辺の問題がクローズアップされてきてています。冠動脈疾患、閉塞性動脈硬化症をはじめとする動脈硬化性合併症だけでなく、癌、認知症、骨粗しょう症など介護負担の多くなる合併症や終末期の透析中止の問題など、透析医療もトータルケアの時代に入り、様々な診療科と連携が必要となっています。

小児科

I. 診療医師

部長	野々村 和男	日本小児科学会（小児科専門医・指導医） 日本アレルギー学会（アレルギー専門医・指導医）
副部長	國津 智彬	日本小児科学会（小児科専門医・指導医） 日本アレルギー学会（アレルギー専門医） 日本小児アレルギー学会 日本リウマチ学会 日本小児感染症学会 日本免疫不全・自己炎症学会
医長	上羽 智子	日本小児科学会（小児科専門医） 日本児童青年精神医学会

II. 診療概要

常勤医師3名と非常勤医師4名の診療体制で、午前中の一般外来では、感染症のほか、予防接種、乳児の湿疹や離乳食の不安などの育児支援にも対応しています。

患者さんの重症度や病状に応じて、連携している他の医療機関（滋賀医科大学附属病院や済生会滋賀県病院など）への紹介も行っています。専門外来はすべて予約制で、アレルギー、発達、神経、心臓の各分野を専門とする小児科医師が担当しています。

当施設は日本アレルギー学会認定の専門医教育研修施設です。患者さんにはガイドラインに沿った適切な医療を提供できるよう心がけています。

食物アレルギー診療では、食物負荷試験による「必要最小限の食物除去」を目指し、希望される患者さんには経口免疫療法も実施しています。また、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法、慢性蕁麻疹などの診療も行っています。

発達外来では、幼児期から中学生までの患者さんを診察しています。発達面での凹凸が気になる子どもたちの診療や、起立性調節障害など心身の不調な子どもたちの診療を行っています。医療面だけではなく、家庭・在籍校・園でのサポートが必要ですので、連携を図りながら診療しています。

III. 診療実績

入院延べ患者数	259人	外来延べ患者数	8,301人
平均在院日数	1日		
食物負荷試験	233件（入院 204件、外来 29件）		
発達外来延べ患者数	3,842人（患者総数 478人、うち新患者数 42人）		

IV. 今後の展望

地域の診療所の先生方との連携をさらに深めながら、入院機能を有する病院として、地域の小児医療の充実に貢献していきます。

また、小児救急医療の集約化が進む中、済生会滋賀県病院との連携体制を強化し、迅速かつ適切な救急対応に努めています。

小児アレルギー疾患に関しては、診断・検査・治療の各面でスタッフが研鑽を重ね、専門性の高い診療を提供できる体制づくりを進めていくとともに、今後はアレルギー疾患にとどまらず、幅広い小児医療分野において専門的な診療ニーズに応えられるよう、体制の整備と人材育成に取り組んでいきます。

外科

I. 診療医師

非常勤医師が担当

II. 診療概要

切り傷・擦り傷等の外傷から、鼠経ヘルニア、内痔核など、外科系疾患に対する総合的な診療を行っています。患者さんの病状や重症度によっては、皮膚科などの他の診療科や、済生会滋賀県病院などの他医療機関とも連携して診療・治療を行っています。また、専門外来として乳腺外来を行っています。

III. 診療実績

外来延べ患者数 897人 手術件数 46件

整形外科

I. 診療医師

部長 菊地 克久 日本整形外科学会（整形外科専門医・指導医）
日本リウマチ学会（リウマチ専門医・指導医）
日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医・指導医）
日本骨粗鬆症学会（認定医）

医長 富田 真梨子 日本整形外科学会（整形外科専門医）
日本スポーツ協会公認スポーツドクター

II. 診療概要

外来ではレントゲン・エコー・CT・MRI・骨塩定量（腰椎大腿DXA）等の精査や、外傷に対する整復・外固定・装具療法、腰痛等への神経ブロック注射、リウマチや脊椎関節炎に対して生物学的製剤等の処方等を行っています。

手術では上下肢の骨折や人工膝関節手術、肘や手の神経剥離や腱鞘切開に加え、開放型病床での膝（半月板及びACL等）・足・肘等の関節鏡手術等を行っています。

III. 診療実績

入院延べ患者数 3,907人 外来延べ患者数 7,640人 手術件数 163件

IV. 今後の展望

高齢化とともに、糖尿病や循環器、呼吸器などの慢性期疾患を合併した患者さんが年々増加してきました。当院はほぼ各科に常勤医（一部非常勤）が在籍しており、このような疾患の早期対応と病状に合わせた定期的な診療も可能です。体調不良や健康維持などについて、身近に相談できる病院として地域医療にさらに貢献できるよう努めます。

皮膚科

I. 診療医師

非常勤医師が担当

II. 診療概要

滋賀医科大学からの皮膚科医師が、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、足爪白癬、帯状疱疹、尋常性疣贅、鶏眼、円形脱毛症など、様々な皮膚疾患について診療しています。

III. 診療実績

外来延べ患者数 3,170人

泌尿器科

I. 診療医師

非常勤医師が担当

II. 診療概要

泌尿器科の疾患は様々で、各臓器の腫瘍性疾患（良性・悪性）や感染症、また、機能障害や先天奇形等も含まれ、これらの疾患の中には、比較的自覚症状に乏しい場合もあります。当科では、それらの早期発見、早期治療を心がけ診療しています。

III. 診療実績

外来延べ患者数 1,710人

脳神経外科

I. 診療医師

部長 布施 郁子 日本脳神経外科学会（脳神経外科専門医）
日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医・指導医）
日本定位・機能外科学会（技術認定医）

外来は非常勤医師が担当

II. 診療概要

対象疾患は脳血管障害（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、脳出血、脳梗塞など）、脳腫瘍、頭部外傷等です。

常勤医は脳血管疾患により入院リハビリテーションの対象となる患者さん（回復期リハビリテーション病棟など）及び救急の患者さんについて診療しています。

外来では非常勤医師（滋賀医科大学病院、済生会滋賀県病院）により、対象疾患の判断、画像検査、保存的加療の継続などを行っています。

III. 診療実績

外来延べ患者数 1,303人

眼科

I. 診療医師

非常勤医師が担当

II. 診療概要

白内障、緑内障、ブドウ膜炎、網膜症、神経症他、眼科では失明の原因と考えられる緑内障や糖尿病性網膜症などがありますが、いずれも自覚症状に乏しく、治療開始が遅れることができます。そのため、糖尿病内科や健診センターとも密に連携をとり、疾患を早期に発見し、適切な治療を提供できるように努めています。

III. 診療実績

外来延べ患者数 1,424人

リハビリテーション科

I. 診療医師

部長	布施 郁子	日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医・指導医） 日本脳神経外科学会（脳神経外科専門医） 義肢装具等適合判定医師研修会 修了, 日本義肢装具学会（専門医） 摂食嚥下機能評価実習研修会 修了, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会（認定士）
副部長	菊地 克久	日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医・指導医） 日本整形外科学会（整形外科専門医・指導医） 義肢装具等適合判定医師研修会 修了
医長	渡邊 克章	日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医）
医長	米田 義崇	日本整形外科学会（整形外科専門医） 日本リウマチ学会（リウマチ専門医） 日本リハビリテーション医学会
医師	竹中 楽	日本リハビリテーション医学会（リハビリテーション科専門医）

II. 診療概要

当科では、運動器疾患、脳血管疾患、呼吸器疾患及び廃用症候群に対しリハビリテーションを行う患者さんの医学的管理を行い、他の医療職や福祉と連携して、患者さんの身体機能回復、活動の向上、在宅復帰・社会参加支援へと繋げています。本年も、よいリハビリを提供できているかの指標である6か月平均実績指数を40以上に継続して維持しています。また気管切開や経管栄養、人工透析、慢性心不全などの合併症のある重症の患者さんも積極的に回復期で対応しています。

嚥下機能評価について、嚥下内視鏡検査・嚥下造影検査とも件数は増加しており、摂食・嚥下障害看護認定看護師と連携して適切な栄養摂取が可能となるように指導をしています。脳卒中や脊髄損傷による機能障害に対する適切な装具の検討・処方、痙性麻痺に対するボトックス治療も増加しています。嚥下評価・リハビリテーションやボトックス治療について他院からの紹介も増加傾向です。

III. 診療実績

回復期リハビリテーション病棟	100床		
入院延べ患者数	33,751人	外来延べ患者数	1,232人
嚥下内視鏡検査	168例		
(リハビリテーション科医師、内科医師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士で構成する嚥下評価チームにて対応)			
嚥下造影検査	172件	上下肢痙縮に対するボトックス治療	38件

※リハビリテーション件数はリハビリテーション技術科を参照

IV. 今後の展望

リハビリテーション科医師5人、うち専門医が4人という体制で、引き続き充実したリハビリテーション医療を提供していきます。

嚥下評価やボトックス治療、リハビリテーションの問い合わせ、依頼が増えており、回復期だけでなく、生活期の患者さんにも必要なリハビリテーション医療が届くように、また生活期を支える療法士、看護師、ケアマネージャーなど院外とも連携を深めていきます。

令和6年度は回復期病院として病院機能評価を受審し、高評価を受けることができました。今後さらに発展していくためには、現在行っている医療の質を落とさないようにしながら業務をスリム化・効率化し、より多くの患者さんを受け入れていけるようにしていきたいと考えています。

人工透析センター

I. 診療医師

センター長	多賀谷 允	日本内科学会（認定内科医） 日本腎臓学会（腎臓専門医・指導医） 日本化学療法学会（抗菌化学療法認定医） 日本糖尿病学会 日本透析医学会（透析専門医）
医長	大井 衣里	日本内科学会（認定内科医） 日本透析医学会（透析専門医）

II. 診療概要

昭和57年の開院時、10床からスタートした透析室は、昭和62年に、現在の別館2階に20床で移設され、平成9年2月には26床へ、そして平成10年の本館オープン時には、3階で40床に拡張しました。さらに平成18年10月に別館2階を改修し、HDFも可能な純度の高い水供給システムと、より快適なアメニティーを備えた別館透析室20床を開設しました。その後、平成26年3月には2室の透析室を1ヶ所に集約し透析センターと名称を変更しリニューアルオープンしました。現在53床で月水金曜日は午前・午後・夜間、火木土曜日は午前透析を行っています。患者の幅広いニーズに応えるため、令和2年2月より午前の外来透析患者向け、令和5年10月より午後の外来透析患者向けと車椅子利用者への送迎サービスを開始しました。また令和6年12月に全ての透析用監視装置（コンソール）と水処置装置を更新するとともに令和7年3月に透析通信システム（日機装株式会社：Future Net Web+）を導入しました。今まで紙で行っていたバイタルデータの転記や、体重・除水量の計算などを電子化することによりインシデントを防ぎ、また電子カルテと連動しリアルタイムでの治療経過を院内で共有することで業務の効率化を図っています。

III. 診療実績

血液透析件数	17,591件
[時間帯別]	午前・午後 16,007件 夜間 1,584件
[診療区分]	入院 4,467件 外来 15,579件

IV. 今後の展望

医療費抑制政策による良質な医療の維持が困難な環境と、スタッフ減少の中で、創意工夫し透析技術の向上と安全な透析を目指しています。また、高齢者の透析導入が著増し、透析周辺の問題がクローズアップされてきています。冠動脈疾患、閉塞性動脈硬化症をはじめとする動脈硬化性合併症、認知症、骨粗しょう症など介護負担の多くなる合併症・透析中止の問題など、透析医療もトータルケアの時代に入り、様々な診療科と連携を行っています。また、在宅療養を継続していくために、積極的に腎臓リハビリテーションに取り組み続けています。透析通信システムを導入しインシデントや業務効率化を行いながら、より良質で安全な透析医療の維持・提供に努めてまいります。

看護部

I. 看護部理念

私たちは、済生会守山市民病院の理念に則り、患者・家族に対して安全・安楽な看護の提供に最善を尽くします。

II. 看護部基本方針

- 1) 私たちは、患者中心を優先にした個別性のある看護を提供します。
- 2) 私たちは、患者・家族に対し優しさのある寄り添う看護を提供します。
- 3) 私たちは、質の高い看護を提供するために自主的に学び、倫理観と専門性を追求します。
- 4) 私たちは、ともに働く人々とともにやりがいを持って健康で働き続けられる職場づくりを実践します。
- 5) 私たちは、組織の一員として地域医療に貢献します。

III. スタッフ

看護部長 吉村 薫

看護副部長 田 みどり (医療安全管理室兼務)

看護副部長 矢野 昌子

看護職員数 (令和6年4月1日)

看護師 (正職員) 116名 看護師 (非常勤職員) 52名

看護助手 29名

IV. 令和6年度 看護部目標

1. 地域包括ケアシステム推進を目指し、各分野の役割を認識し業務改善活動に取組み看護の質を高める
2. 生涯学習支援を実践する教育環境を整え自己啓発・自己研鑽を推進し、キャリア開発に努める
3. 病院経営への積極的な参画
4. 安全で安心な働きやすい職場づくり
5. 働き方改革を意識したタスクシフト・シェアの推進

V. 業務実績

1) 委員会活動

教育委員会	<p>定例会議：毎月第1火曜日</p> <p>研修計画立案と終了後評価を実施した。計24研修を実施し、アンケートの結果、理解度(4.4)・実施応用(4.1)と全体的に高い評価を得た。教育メンバーの知識・技術向上を目指し、各部署での教育サポート体制を強化し、集合研修講師を教育委員メンバーが実施することができた。院内BLSチームと共に看護職全員にBLS研修も行った。今年もケーススタディーと看護研究発表会は予定通り実施できた。</p>
新人教育担当者会議	<p>定例会議：毎月第3火曜日</p> <p>入職後3か月間は看護技術を中心とした集合研修を行いOJTへとつなげた。メンタル支援についても強化を図り、入職直後から1年を通して3回の研修を行い、院外でのリフレッシュ研修も開催した。研修実施後は評価を行い、次年度に向けての課題を抽出した。</p> <p>毎月の会議では、各部署に配属された新人看護師の教育進捗状況について報告し、早期に問題を解決できるよう意見交換を行った。</p>
記録委員会	<p>定例会議：毎月第1金曜日</p> <p>電子カルテ看護記録マニュアル・略語集を完成した。さらに、看護計画開示に向け、全病棟において看護記録の質監査・形式監査を実施している。(実施率71.34%)</p> <p>また、院内の診療録管理委員会と連携し、不備カルテ件数や看護記録における課題の共有や注意喚起を行った。</p> <p>毎年2回の「重症度・医療看護必要度」研修については、病棟全スタッフ対象に受講できた。</p>
サービス向上委員会	<p>定例会議：毎月第3木曜日</p> <p>前年度に引き続き、患者サービスの意識の向上と最適な医療サービスの提供を目的に活動を継続した。</p> <p>①看護の日イベントの開催</p> <p>②職場紹介 院内新聞の作成(第4弾 看護部委員会の紹介)</p> <p>③身だしなみ調査の実施。ほぼ遵守できているが、禁止されている指輪(3.4%)・腕時計(4.7%)を装着をしていると回答があった。</p> <p>⑤WEB研修の視聴とアンケートの実施。回答率97%。「役立った」との意見が多かった。</p>
臨地実習指導者会議	<p>定例会議：4回</p> <p>予定校全ての実習を滞りなく実施できた。実習中も、感染などで実習が中断することはなかった。会議では、実習時の指導や評価の振り返りを行った。また、実習指導者講習会に3名参加修了し、次年度からの活躍が期待される。</p>
看護助手会	<p>定例会議：毎月第1月曜日</p> <p>昨年度、見直しをおこなった助手業務手順をもとに技術習得度評価表の見直しを行っている。内容としては見直しというよりは作成に近く、着手できていない項目も残っており次年度に引きつぐ。そのほか、助手ラダーを導入した年度であった。ラダー取得するには外部研修などの課題があり、次年度は課題に取り組めるようサポートも必要でありリーダー会議を活用していく。助手研修においては、リハビリテーション技術科および認定看護師の協力を得て、3回/年の体験型研修を予定通り実施できた。オンライン研修においても計画に沿って全スタッフが受講できている。</p>
ワークライフバランス W L B 推進委員会	<p>定例会議：毎月第4木曜日</p> <p>前年度に引き続き、職場間のつながりを持つため、主に入職者の紹介を中心に年4回「つながり新聞」を発行した。また、職員の勤務環境に関する課題やニーズを把握し、働き続けられる職場環境の整備を行っていくためにインデックス調査を実施。4・5病棟では2交替・3交替勤務のミックス勤務を実施中。職員の希望にあつた働き方ができるよう取り組んでいく。</p>

基準手順委員会	定例会議：第3金曜日 該当部署：2・3・4・5病棟、外来、中材手術室、在宅療養支援室、人工透析室、医療安全管理室 活動報告：リンクナースが各自部署の手技の乖離が無いように、学研ナーシングメソッドおよびナーシングメソッドプラスを当院の看護手順として、適宜修正した。 各部署へ紙媒体での看護手順を配布、サイトでいつでも手順の確認ができる、業務中は電子カルテ上にPDFでリンクを表記し、より確認しやすい様に配慮した。
在宅療養支援強化委員会	定例会議：第3金曜日 該当部署：2・3・4・5病棟、外来、在宅療養支援室、人工透析室 活動報告：地域で暮らし続けるために必要な支援と看護提供体制の在り方について検討し、病棟＝外来＝地域の連携によるシームレスな在宅療養体制の構築に向けた看護職間の連携強化を図るため今年度より発足。退院支援の課題を抽出し、退院支援プロセスについて調査した。次年度は在宅療養支援に関する院内研修と外来＝在宅の連携シートの運用システムを導入する。
ラダー委員会	定例会議：毎月第2火曜日 ラダーは看護職としてキャリアアップしていくための1つの指標である。看護師の専門的な能力の発達や開発、臨床実践能力のみならず、管理的な能力が問われる段階や、専門看護師・認定看護師・特定行為研修終了看護師としての段階なども含まれる。看護管理者ラダー・看護助手ラダーを新たに作成し次年度より導入予定。新人はラダーに含まず新人手帳に沿って実施予定。

2) 認定看護師の活動

皮膚・排泄ケア	<p>今年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡対策委員会、褥瘡回診 毎月（第2月曜日）、褥瘡予防回診 毎月（第4月曜日） ・排尿ケアチーム協議 毎月（第1木曜日） ・排尿ケアラウンド 毎週水曜日 ・コンサルテーション（創傷ケア 618件、ストーマケア 73件、失禁ケア 260件） ・褥瘡回診対象患者数 180人（令和6年4月1日～令和7年3月31日） ・褥瘡予防回診患者数 87件（令和6年9月1日～令和7年3月31日） ・排尿自立支援加算算定件数 233件（令和6年4月1日～令和7年3月31日） ・特定行為実施件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日）※③は令和7年3月1日開始 <ul style="list-style-type: none"> ①創傷管理関連（壊死組織の除去） 81件 ②創傷管理関連（局所陰圧閉鎖療法） 11件 ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連（気管カニューレの交換） 0件 ・褥瘡対策マニュアルの作成 ・ブレーデンスケール導入 8月 ・褥瘡予防回診開始 9月 <p>院内講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スキンケア・ポジショニングについて新人研修講師 4月 ・ブレーデンスケールについて、ポジショニングピローの管理方法について院内学習会 9月 ・NPWTについて院内学習会 2月 ・DESIGN-R2020について病棟学習会 3月 <p>学術発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「回復期リハビリテーション病棟における継続的な排尿自立支援の効果」 ・「PFMを活用した医療依存度の高い患者に対する入退院支援システムの構築～患者スクリーニングによる退院後訪問の取り組み」
---------	--

認知症看護	<p>今年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケア委員会、認知症ケアラウンド（延べ77名） ・認知症ケアマニュアルの改訂 ・院内研修（事例検討）2回実施 <p>院外講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県看護協会 認知症対応力向上研修 講師、ファシリテーター ・訪問看護ステーション あいむ 認知症についての研修実施 ・守山市社会福祉協議会 石田ケアセンター 認知症について研修実施
摂食・嚥下障害看護	<p>今年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂食機能療法 記録方法の変更 ・コンサルテーション429件、嚥下評価297件、VE介助168件、VF介助172件 ・嚥下エコー312件 ・外来での嚥下相談 112件 ・令和6年度 看護師新人研修『食事介助・口腔ケア』 令和6年4月17日 ・令和6年度 看護助手研修『食事介助』 令和6年11月27日 <p>院外研修講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ①滋賀県看護協会 第2地区支部出前研修 『摂食・嚥下障害』 近江草津徳洲会病院 令和7年2月3日 ②守山市民病院 出前講座 <ul style="list-style-type: none"> ・勝部老人クラブ 『摂食・嚥下障害』 令和7年2月20日 ・守山市中部地区地域包括支援センター 家族介護教室 『嚥下機能について』 令和7年3月10日 ・100歳体操稻雀チーム 『のどの体操』 令和7年3月17日 ③草津栗東守山野洲歯科医師会 『嚥下評価』 悠紀の里 令和6年12月11日 ④滋賀県総合保健専門学校 看護学科2年 『高齢者援助論Ⅰ（摂食・嚥下、脱水）』 令和6年6月3日、6月10日 <p>学術発表実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ①嚥下エコーによる梨状窩残留像長径と嚥下内視鏡による咽頭残留所見の比較 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術集会 令和6年8月30日 ②一般病棟における嚥下エコーの実践報告 第16回日本摂食嚥下障害看護研究会 令和6年11月16日 ③嚥下評価入院後の退院後訪問が有効だった進行性核上性麻痺患者の一症例 第48回日本嚥下医学会 令和7年2月21日
感染管理	<p>今年度の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策委員会（定例月1回）、ICT、リンクナース委員会（月1回）開催 ・感染対策合同カンファレンス参加（年4回） ・院内研修会（年2回）、新人研修会講師 ・感染ラウンド28回、ASTラウンド22回 ・南部地域感染症予防対策連絡会幹事会出席（年4回） ・コロナ対策会議事務局 ・各病棟クラスター対策指導・相談業務 ・感染対策マニュアル改定 ・手指消毒剤・ハンドクリーム採用 ・消毒スワブ採用 ・出前講座3回 <p>学術発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院中のCOVID-19陽性患者の隔離期間短縮の試み

3) 教育・研修

①新人教育

開催日	内 容		講 師
入職日 ～3日間	新規採用者オリエンテーション 院長訓話 済生会について 就業規則・病院運営等について 看護倫理・社会人としての心得 接遇・コミュニケーション 個人情報保護 医療安全管理 感染予防管理		院長 事務長 総務課長 看護副部長 看護部長 総務課 医療安全管理室長 感染予防対策室長
令和6年 4月10日	メンタルヘルス		新人教育担当
令和6年 4月13日	スキンケア・ポジショニング		皮膚・排泄ケア認定看護師
令和6年 4月17日	口腔ケアと食事介助（嚥下の基礎）		摂食・嚥下障害看護認定看護師
令和6年 4月22日	看護記録・必要度・看護計画		記録委員会
令和6年 4月27日	輸液ポンプ・シリンジポンプ 輸液管理について 点滴（固定含む）ミキシング		新人教育担当
令和6年 5月 2日	デキル新人のコミュニケーション		新人教育担当
令和6年 5月 8日	透析患者の看護		人工透析室課長
令和6年 5月14日	FIM		理学療法士
令和6年 5月18日	基礎看護技術（導尿・留置カテーテル・酸素療法・吸引） (採血・注射)		新人教育担当
令和6年 5月20日	転倒・転落		新人教育担当
令和6年 5月22日	診療部門の知識 ①放射線科 ②薬剤科	移乗・移動	診療放射線技師 薬剤師・理学療法士
令和6年 6月 6日 6月 6日	医療機器の取り扱いと装着中の看護 人工呼吸器の取り扱いと装着中の看護について学ぶ		臨床工学技士 新人教育担当
令和6年 6月12日	急変時の対応・救急カートについて BLS・エンゼルメイク		新人教育担当
令和6年 6月21日	身体を動かしてリフレッシュしよう		新人教育担当
令和6年 6月27日	夜勤準備・心構え 3か月の自己評価と振り返り・ストレスチェック		看護副部長 新人教育担当
令和6年 9月18日	看護部長面談・6か月評価・ストレスチェック		看護部長 新人教育担当
令和6年10月21日	社会資源の活用		MSW 新人教育担当
令和6年11月21日	業務に関する多重課題		新人教育担当
令和7年 3月 6日	疾患・症状に関する多重課題		新人教育担当
令和7年 3月24日	メンバーシップ・1年の振り返り		新人教育担当

②ラダー企画研修

開催日	対象者	内 容	講 師
令和6年 5月28日	2年目+希望者	静脈注射	教育委員会
令和6年 7月 8日	2年目	患者対応	教育委員会
令和6年12月20日	2年目	院内留学	教育委員会
令和6年10月28日	ラダーⅠ	心電図	教育委員会
令和6年 5月23日	ラダーⅡ	ケーススタディとは	看護副部長
令和6年 7月 9日	ラダーⅡ	リーダー研修（初級）	教育委員会
令和6年 5月24日	ラダーⅢ	看護研究（研究計画書について）	看護副部長
令和6年11月25日	ラダーⅢ	看護研究（データ分析法）	看護副部長
令和6年12月 3日	ラダーⅢ	看護研究（抄録作成とパワーポイント作成について）	看護副部長
令和6年 7月29日	ラダーⅢ	リーダー研修（中級）	教育委員会
令和6年12月17日	ラダーⅢ	リーダー研修（災害）	教育委員会
令和6年 8月29日 11月 5日 11月18日	ラダーⅣ・Ⅴ	問題解決思考	看護副部長

③特別研修

開催日	対象者	内 容	講 師
令和6年 8月22日	全看護職員	フットケアについて	教育委員会
令和6年 8月26日		退院調整に必要な社会福祉資源について	教育委員会
令和6年 9月30日		インフォームド・コンセントと記録	教育委員会 記録委員会
令和6年10月 9日		臨床倫理の事例検討	看護副部長
令和7年 2月17日		透析について	教育委員会

④時間外研修

開催日	対象者	内 容	講 師
令和6年 9月25日	全看護職員	FIM研修	教育委員会

⑤発表会企画

開催日	対象者	内 容	運 営
令和7年 2月25日	ラダーⅡ	ケーススタディ発表会	教育委員会
令和7年 2月21日	全看護職員	看護研究発表会	教育委員会

⑥看護助手研修

開催日	内 容	講 師
令和6年 9月25日	感染について	感染管理認定看護師
令和6年10月24日	移乗・移動	理学療法士
令和6年11月27日	食事介助	摂食・嚥下障害看護認定看護師
令和6年5月～8月	学研オンライン研修 ・病院の機能 ・医療情勢 ・個人情報 ・守秘義務 ・接遇マナー ・医療安全	オンデマンド講師

4) 実習等の受入状況

学校名	期 間	内 容	対 象
滋賀県済生会看護専門学校	令和6年6月17日～7月12日	基礎	20名
華頂看護専門学校	令和6年7月17日～8月28日	小児	21名
県立総合保健専門学校	令和7年2月 6日～2月21日	高齢	5名
大阪保健福祉専門学校 (通信制)	令和6年10月 7、 8日 令和6年10月10、 11日 令和6年10月17、 18日 令和6年10月21、 22日	成人老年統合基礎	8名
びわこ学院大学	令和7年2月 6日～2月20日	養護教員実習	2名

IV. 今後の展望

今年度は電子カルテの更新、済生会リハビリテーション研究会担当病院としての開催、病院単独でのふれあい健康フェスタの開催と続き、最後に病院機能評価の初受審とめまぐるしい一年となった。その中でも病院機能評価受審においては多職種、他部門と協力し、現状の問題点を抽出し見直すことができ、合格できたことの喜びと同時に現状の維持とさらなる業務の効率化、改善に努め、質の向上を目指すことが必要である。そのために効果的で効率的なDXの導入に取り組んでいくことが望まれる。また、慢性的な看護人員不足の問題が続く中、WLBを意識した多様な働き方を推進し、採用活動を充実させることと、職員が定着する環境をつくることが課題である。

2 病棟

I. スタッフ

課長（看護師）	高田 美和			
係長（看護師）	1名	主任（看護師）	2名	
常勤職員（看護師）	19名	非常勤職員（看護師）	6名	
常勤職員（看護助手）	6名	非常勤職員（看護助手）	1名	非常勤職員（事務） 1名

II. 業務概要

- 1) 回復期リハビリ看護
 - ・多職種カンファレンスで現状の共有と課題の明確化
 - ・病棟内リハビリ
 - ・日常生活ケア
- 2) 退院支援
 - ・家屋訪問
 - ・家族指導

III. 業務実績

- 1) 施設基準Ⅰの維持

令和6年度10月～令和7年3月（6ヶ月実績）	
在宅復帰率	89.53%
実績指標	46.95
重症患者割合	50.47%
日常生活機能評価の改善	78.57%

- 2) 令和6年度 平均病床稼働率 93.23%
- 3) 認知症ケア加算患者数 13.2人／月平均
- 4) 摂食機能療養患者 4.5／月平均 摂食支援加算患者数 2.4人／月平均
- 5) 身体拘束最小化 医師・セラピスト・看護師で身体拘束解除にむけた多職種カンファレンス
水曜日／毎週実施
身体拘束患者数3.3人／月平均

IV. 今後の展望

- 1) 回復期リハビリ看護の専門性・実践能力の向上
 - ・病棟の患者カンファレンスの強化
 - ・個別性ある看護展開
 - ・抑制に頼らない転倒リスク管理
- 2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の維持
- 3) 平均病床稼働率 93%以上

3 病棟

I. スタッフ

課長（看護師）	梶原 さとみ	常勤職員（看護師）	19名
主任（看護師）	2名	常勤職員（看護助手）	7名
非常勤職員（看護師）	6名	非常勤職員（事務）	1名
非常勤職員（看護助手）	1名		

II. 業務概要

- 1) 回復期リハビリ看護
 - ・多職種カンファレンスで現状の共有と課題の明確化
 - ・病棟内リハビリ
 - ・日常生活ケア
- 2) 退院支援
 - ・家屋訪問
 - ・患者・家族指導

III. 業務実績

- 1) 回復期リハビリテーション病院機能評価受審、取得
- 2) 回復期リハビリテーション病棟入院料1 維持
病棟稼働率、在宅復帰率、実績指數、重症度割合、日常生活機能の改善

令和6年10月～令和7年3月実績（6カ月平均）	
平均病床稼動率	90.8%
在宅復帰率	88.57%
実績指數	46.68
重症患者割合	53.72%
日常生活機能の改善	64.52%

- 3) 医師、セラピスト、看護師での行動制限解除に向けたカンファレンスを実施（毎週水曜）
必要に応じて、認知症ケアチームや認定看護師へ早期に介入依頼をし、日々のケアへ活かす
(認知症ケアチーム介入件数：29件)
- 4) 病棟内小チーム、ペアカンファレンスの実施（2回／月）
- 5) 看護記録の質向上に向けたカルテ監査の実施（自己評価92%、他者評価80.7%）
- 6) コードブルーや緊急時対応訓練、退院支援など、回復期病棟スタッフにおける知識技術の向上に向け、
病棟内学習会の開催（15回／年）

IV. 今後の展望

- 1) 回復期リハビリテーション病棟入院料1の維持
- 2) 平均病床稼働率95%以上
- 3) 回復期リハビリ病棟看護・介護の質の向上
 - ・質の高い看護提供に向けた患者カンファレンスを実施し、退院支援の強化
 - ・看護師、看護助手とともに、急変時対応や危機管理能力向上に向けた研修受講や学習会の継続
 - ・記録の質向上に向けた取り組み強化

4 病棟

I. スタッフ

課長（看護師）	青木 恵子		
係長（看護師）	1名	主任（看護師）	1名
常勤職員（看護師）	19名	非常勤職員（看護師）	4名
常勤職員（看護助手）	4名	非常勤職員（看護助手）	1名
非常勤職員（クラーク）	1名		

II. 業務概要

- 1) 一般入院
- 2) 小児科～成人・終末期の患者受け入れ
- 3) 感染症患者受け入れ

III. 業務実績

- 1) 入院：当院外来受診、他院や施設からの紹介入院、他院からの転院等幅広く入院受け入れ
- 2) 在宅や施設など退院の際の調整および状況に応じて回復期リハビリや療養病棟への転棟調整
毎週水曜日に多職種カンファレンス
- 3) 整形外科、肛門疾患のOP対応
- 4) 小児科は主に毎週水曜日に日帰りの負荷試験を実施
- 5) コロナ5類に引き下げ後の入院受け入れ

IV. 今後の展望

- 1) 他院からの受け入れ継続及びあらゆる疾患患者の受け入れに対応
- 2) 平均在院日数（21日）の維持
- 3) 感染症患者の受け入れ

5 病棟

I. スタッフ

課長（看護師）	木村 奈々枝		
係長（看護師）	2名	常勤職員（看護師）	16名
非常勤職員（看護師）	5名	非常勤職員（看護助手）	6名

II. 業務概要

- 1) 長期にわたり療養を必要とする患者の受け入れ
- 2) 長期入院だけでなく、在宅復帰も目指す
 - ・患者・家族指導
 - ・家屋訪問

III. 業務実績

- 1) 療養病棟入院料1を継続して算定
- 2) 平均稼働率95%以上を安定的に維持
- 3) 医療区分Ⅱ以上の患者割合を月平均84%以上で維持
- 4) 毎日患者カンファレンスを実施し、患者評価およびインシデントの振り返りを継続的に実施
- 5) 月1回、病棟カンファレンスおよび学習会を開催し、病棟課題の検討を通じて看護の質向上に努めている
- 6) 月2回、在宅療養支援室との合同カンファレンスを実施し、情報共有を図ることで退院調整の円滑化に取り組んでいる

IV. 今後の展望

- 1) 稼働率95%以上の維持
- 2) 医療区分Ⅱ以上の患者 月平均84%以上の維持
- 3) カンファレンスの質の向上を図り、退院支援を強化していく

外来

I. スタッフ

課長（看護師）	浦谷 浩江		
係長（看護師）	1名	常勤職員（看護師）	4名
嘱託職員（准看護師）	1名	非常勤職員（看護師）	12名
非常勤職員（准看護師）	1名		

II. 業務概要

- 1) 診療科（8科）、救急外来、発熱外来の診療の補助
- 2) 検査介助（放射線科・内視鏡室）
- 3) 在宅療養支援
- 4) 小児アレルギーの療養指導（アトピー性皮膚炎）
- 5) 自己注射の指導: 小児アトピー、偏頭痛、インスリン、骨粗鬆症

III. 業務実績

- 1) 在宅療養支援（在宅療養支援室との連携）: 新規: 30件／年、延べ件数324件／年
カシファレンス: 外来17件／年、在宅療養支援室との合同7件／年、サテライト・在宅療養支援室との合同5件／年
- 2) 小児アレルギー療養指導: 25件／年、カシファレンス（医師と合同）3件／年
- 3) 小児外来負荷試験: 40件／年

IV. 今後の展望

- 1) 慢性疾患看護を習得し外来看護の専門性と実践能力、質の向上に努める
- 2) 地域で暮らす人々の健康増進や重症化予防に向けた療養支援がさらにできるようにシステム化・効率化を図る

中材手術室

I. スタッフ

課長（看護師） 北木 彩華
常勤職員（看護師） 2名 非常勤職員（看護師） 1名

II. 業務概要

- 1) 中材業務：医療器具の洗浄・消毒・梱包・滅菌を行い、各部署へ払い出す
- 2) 器械出し看護師：手術器械の準備、執刀医への器械渡し、手術介助
- 3) 外回り看護師：部屋の準備、術前・術後訪問
術中は医師の指示のもと患者の状態管理、出血量の測定、ガーゼカウント、病棟への申し送り

III. 業務実績

- 1) 診療別手術件数

診療科	手術件数
整形外科	164件
腎臓外科	20件
外科	46件

- 2) 麻酔別手術件数

麻酔種類	手術件数
全身麻酔	83件
腰椎麻酔	97件
局所麻酔	50件

IV. 今後の展望

開放型病床の有効活用による手術件数の増加を目指します。

人工透析室

I. スタッフ

課長（看護師）	西井 健博	
係長（看護師）	2名	常勤職員（看護師） 16名
非常勤職員（看護師）	6名	非常勤職員（看護助手） 1名

II. 業務概要

- 1) 医師の指示のもと、安全・安楽に透析治療が受けられるよう、医師・看護師・臨床工学技士が連携し、それぞれの業務に携わる。
- 2) 看護師は、診療の介助と患者の状態把握並びに、それに伴う対応・援助・療養上の看護などを行う。また、外来通院の患者に対しては社会生活を送るため、生活状況の把握と支援や指導を行う。
- 3) 臨床工学技士は、おもに水処理、透析機器の使用・管理を行う。シャントトラブルに際してはエコーを用い、視覚的に状態把握に務める。
- 4) 看護師と臨床工学技士が患者を受け持ち、各々の専門性を生かし多角的に患者を捉え、患者に関わる。

III. 業務実績

- 1) 透析患者数 109名（令和7年3月現在）

ベッド数	透析機器数	透析時間		
		月・水・金	午前（8:20～）	午後（13:45～19:30） 夜間（16:45～22:30）
53床	透析機器 うち感染対応 (セントラル (個人用 スケールベッド	53台 2床 47台) 6台) 6台	火・木・土	午前（8:20～）

- 2) 透析機器の刷新と透析支援システム導入（53台入れ替え）
- 3) 透析患者の送迎サービス、車両増車（計4台）
- 4) 腎臓リハビリテーション実施

IV. 今後の展望

- 1) 送迎サービスの充実のため業務委託業者と協議協働
- 2) 透析患者数120名以上維持
- 3) 在宅療養支援室との情報連結とさらなる協働
- 4) 透析支援システム導入後の課題抽出

地域医療支援部

部長 木村 真奈美

社会福祉事業室

I. スタッフ

課長 平泉 昌輝（社会福祉士）
主任（社会福祉士） 1名 MSW（社会福祉士） 4名

II. 業務概要

- 1) 入院患者の退院調整業務（病棟担当制）
- 2) 外来患者の医療・福祉相談
- 3) 無料低額診療事業の推進・運営・事務局
- 4) 地域に対するアウトリーチ・ソーシャルアクション等

III. 業務実績

- 1) メディカルソーシャルワーカーが介入した患者の退院数／退院先データ
2病棟（回復期リハビリテーション病棟）介入数：194件
3病棟（回復期リハビリテーション病棟）介入数：202件
4病棟（一般病棟）介入数：42件
5病棟（療養病棟）介入数：30件
※各病棟急性期治療による転院／死亡退院は計上していない
- 2) 無料低額診療事業の実施率 18.3%

IV. 今後の展望

入院された患者さんに対して、各病棟を担当するメディカルソーシャルワーカー（社会福祉士）が療養中や退院後の生活についての相談事や不安に対して介入を行い、適切な支援を行います。患者さんのニーズに沿って在宅復帰を中心とした支援を展開できるよう、他職種と連携し、退院調整を実践していくことに努めます。入院のみならず、外来相談の窓口として社会資源などを提案し、援助にあたります。また、地域へのソーシャルアクションやアウトリーチを行い地域課題への介入や社会資源の開発や開拓などにも取り組んでいくとともに、無料低額診療事業やなでしこプランなどによる生活困窮者への支援も行い、様々な援助アプローチ方法を展開し、社会福祉的観点から支援ができるよう体制を強化していきます。

地域医療連携室

I. スタッフ

課長 平泉 昌輝
非常勤職員 1名

II. 業務概要

- 1) 病院や地域の開業医などからの受診・検査依頼の対応
- 2) 紹介、逆紹介などに伴う文書の事務業務
- 3) 集患活動、広報活動
- 4) 地域医療連携に係るデータの集積・管理

III. 業務実績

- | | |
|-------------------|--------|
| 1) 紹介患者数 | 3,992件 |
| 2) 逆紹介患者数 | 5,236件 |
| 3) 医療機関等活動実績（訪問等） | 56件 |

IV. 今後の展望

地域連携に係る様々なデータを分析・評価し、病床運営などの状況に合わせ、訪問等の活動を計画していきます。地域の医療機関の窓口機能として、適切に病床利用をしてもらえるように適宜ベッドコントローラーと連携しながら、病院全体の病棟稼働率の向上も目指します。

在宅療養支援室

I. スタッフ

課長（看護師）	井上 由美		
係長（看護師）	2名	主任（看護師）	1名
常勤職員（看護師）	1名	非常勤職員（看護師）	2名

II. 業務概要

1) 目的

効率的な病床管理を行い、経営の向上と安定につなげる。
入院前に退院困難リスクを洗い出し、多職種との連携・早期介入により、安心して入院できること、スムーズに退院できることにつなげる。

2) PFMシステム

- ①ベッドコントロール
- ②予約入院患者の情報収集（退院支援スクリーニング、患者プロファイル、栄養評価、薬剤情報など）
- ③入院オリエンテーション

3) 外来患者・家族の支援

①外来診察への同席

事前にケアマネージャーや事業所から診察・処置内容などの問い合わせがあった場合、必要に応じて診察に同席し、結果を連絡し情報共有を図る。

②医療・介護認定や介護サービスの相談・案内

③在宅支援外来の診察同席と書類入力

④外来患者の療養相談

4) 入院患者・家族の継続看護・退院調整

①退院調整に必要な患者のスクリーニングと退院計画による支援

②退院調整

③地域連携職種との連携

④退院前訪問・退院後訪問

5) 窓口業務

①転院患者・開業医からの入院受け入れ調整

②レスバイト・嚥下評価入院・PEG交換のための入院の受け入れ調整

6) 他病院・他施設との連携業務

①済生会滋賀県病院との転院調整会議（毎木曜日 ZOOM会議）

②済生会滋賀県病院へFAXによる空床状況の報告

③病院・施設・居宅訪問（地域医療連携室と協働）

III. 業務実績

入院オリエンテーション	679件	フットケア	255件
外来患者の在宅療養支援	90件	退院後訪問	18件
医療・介護相談	112件	地域包括 ケアマネ連携	242件

IV. 今後の展望

在宅療養支援は、「入院」（病院）と「在宅」（地域）をつなぎ、患者さんやご家族が、住み慣れた地域で療養を続けるための支援を行っています。

自宅へ退院される退院調整を行い患者さん・ご家族が安心して生活できるよう支援を行います。

在宅療養支援室に在籍する認定看護師・特定看護師が専門性の高い指導に努めています。

診療技術部

部長 若城 茂太朗

放射線技術科

I. スタッフ

技師長（診療放射線技師）	南出 政嗣	
係長（診療放射線技師）	1名	主任（診療放射線技師） 3名
常勤職員（診療放射線技師）	3名	非常勤職員（事務員） 2名

【認定】

アドバンス・シニア技師	磁気共鳴専門技術者
放射線機器管理士	死亡時画像診断（AI）認定技師
放射線管理士	胃がん検診B資格認定技師
医療画像情報精度管理士	マンモグラフィ検診施設画像認定
マンモグラフィ検診認定技師	放射線被ばく相談員

II. 業務概要

1)撮影業務

一般撮影、CT、MR、DR各種造影検査、乳房撮影、骨密度測定、術中イメージコントロール、病棟ポータブル撮影

2)放射線管理

放射線業務従事者の被ばく線量管理、放射線管理区域洩線量測定管理

3)放射線機器管理

X線装置の設置・廃棄の届出、日常始終業点検と品質管理、保守点検計画管理、故障時の報告と管理、高精細モニターの品質管理

4)医療画像情報管理

PACSシステムの維持管理、医用画像CDデータ作成と画像サーバーへの取り込み

5)放射線技術管理

技術マニュアル整備、技術教育修

6)医療関係者との連携

チーム医療を支える立場から、その業務を行うに当たって医師やその他の医療関係者と連携し適正な医療に努める

III. 業務実績

単位：件

一般撮影	CT	MRI	MMG (マンモグラフィ)	透視検査	骨密度	シャント拡張術
14,929	4,084	3,146	2,415	1,845	1,474	20

IV. 今後の展望

1)患者の被ばく低減への取り組み

一般撮影業務における再撮影の調査、CT装置の線量管理

2)機器の整備

CT装置、マンモグラフィー装置更新に向けての検討

3)生涯学習への取り組み

科学技術の進歩と共に学び研究し、その成果を日常診療に役立てる知識と技術のさらなる向上をめざし、多種多様な研修会へ参加する新人教育における教育プログラムの活用中長期における専門技師・認定技師の取得

臨床検査科

I. スタッフ

技師長（臨床検査技師）	大本 和由	常勤職員（臨床検査技師）	4名
主任（臨床検査技師）	1名	非常勤職員（臨床検査技師）	1名
非常勤職員（臨床検査技師）	4名	非常勤職員（事務員）	1名

[認定]

超音波検査士（循環器） 1名、血管診療技師 1名

II. 業務概要

- 1) 生化学検査
- 2) 免疫・血清検査
- 3) 血液検査
- 4) 凝固線溶検査
- 5) 輸血検査
- 6) 一般検査（尿・便）
- 7) 生理検査（心電図、呼吸機能、ABI（血圧脈波）、ホルタ一心電図、脳波、各種超音波）
- 8) 健診（心電図、呼吸機能、ABI（血圧脈波）、眼底カメラ、聴力、各種超音波）

III. 業務実績

単位：件

一般	血液	生化学	血清	生理	外注	その他
13,918	20,826	25,508	14,212	5,681	6,407	8,902

IV. 今後の展望

当院は専門で一つの検査を行うという形態ではなく、一人で幅広く検査を行っています。そのため様々な分野において、院内、院外での研修会にも積極的に参加し、技能、知識を習得できるように努めています。その中で自身の得意分野についてはさらに最新の知識と技術を身につけていけるようにしていきます。

マニュアルの整備をして、新人教育についての充実をしていきます。

精度の良い検査結果を届けていくことは勿論、院内でも他職種と連携し様々な病院業務を進めていきます。

薬剤科

I. スタッフ

部長（薬剤師） 伴 正
副師長（薬剤師） 2名 常勤職員（薬剤師） 3名
非常勤職員（事務員） 2名

[認定]

病院薬学認定薬剤師 2名、日本病院薬剤師会認定指導薬剤師 1名、研修認定薬剤師 2名、
認定実務実習指導薬剤師 1名、抗菌化学療法認定薬剤師 1名、
小児薬物療法認定薬剤師 1名、NST専門療法士 1名

II. 業務概要

1) 調剤業務

入院および外来処方（一部）

2) 注射薬調剤業務

入院注射および外来注射

3) 高カロリー輸液（TPN）無菌調製

4) 薬剤管理指導業務

入院時持参薬鑑別、ベッドサイドでの服薬指導および退院時服薬指導、自己管理等の服薬支援

5) 術前薬歴問診

外来窓口での薬歴問診、中止薬の確認

6) 服薬指導業務

薬剤科窓口にて小児科の患者家族への退院時服薬指導、外来院内処方の服薬指導

7) 医薬品DI業務

医薬品の情報管理、情報提供

8) チーム医療への参画

AST、NST、褥瘡予防、糖尿病ケア、認知症ケア、摂食嚥下・口腔ケア、骨粗鬆症

9) その他

院内配置薬・救急カート薬剤の点検管理、薬剤の発注・管理、麻薬・向精神薬・毒薬の定数管理、各委員会への参加、自己研鑽のための学会や研修会への参加、月1~2回の科内勉強会の実施

III. 業務実績（令和6年度）

単位：件

項目	件数	項目	件数
実指導回数	3,962	退院時薬剤情報連携加算	78
薬剤管理指導件数（ハイリスク）	563	持参薬鑑別数	1,124
薬剤管理指導件数（一般）	828	無菌製剤（TPN）処理料	213
麻薬加算	16	薬剤情報提供料	1,535
退院時薬剤情報管理指導料	141	一般名処方加算	16,627

IV. 今後の展望

薬剤師のレベル向上のため積極的に研修会参加、学会発表等の自己研鑽に努め、個々のスキルアップを図るとともに、チーム医療（NST、ICT、褥瘡、糖尿病等）の一員として、医療の質の向上に貢献します。また、入退院時の速やかな情報共有に努め、地域医療連携に寄与し、医師支援に取り組みます。

栄養科

I. スタッフ

課長代行（管理栄養士） 奥村 裕子
常勤職員（管理栄養士） 2名

[取得資格]

病態栄養専門師 1名、NST専門療法士 1名、アレルギー疾患療養指導士 2名、糖尿病療養指導士 1名

[所属学会]

日本栄養学会、日本病態栄養学会、日本臨床代謝学会

II. 業務概要

- 1) 栄養管理計画書
- 2) 栄養指導
- 3) 献立作成
- 4) 特定保健指導
- 5) チーム活動（NST、嚥下、糖尿病）
- 6) 回復期総合管理計画書



行事食：七タメニュー

III. 業務実績

栄養管理計画書（初回）912件
(継続) 3,724件
食数 (経口) 1,67,932食
(経管) 18,365食
回復期リハビリテーション総合計画書 1,470件

IV. 今後の展望

当院は回復期リハビリテーションを中心とした病院であり、回復期病棟には専任の管理栄養士を配置しています。他に、療養病棟、一般病棟、透析センターも併設、小児科では食物アレルギー負荷試験も実施しており、幅広い栄養管理が必要となります。

回復期病棟においては、栄養状態を良くし筋力アップを目指すことが多いですが、お持ちの疾患によってはカロリーやたんぱくを多く摂れない方もいらっしゃるため、個々人に応じたきめ細やかな栄養管理を実施して疾患治療やリハビリのサポートを実施していきたいと考えています。

臨床工学科

I. スタッフ

技師長（臨床工学技士）	井上 一生	
副士長（臨床工学技士）	2名	主任（臨床工学技士） 1名
常勤職員（臨床工学技士）	4名	

II. 業務概要

1) 透析業務

維持透析患者の受け持ち制を導入し、治療中の観察を含め、血液検査解析や生活指導を行い、適正透析の実施を目指す

2) 医療機器管理業務

医療機器の中央管理、保守点検、院内ラウンド等の安全管理、安全管理研修開催）

3) 内視鏡業務

医師の介助、物品管理等

4) 急性血液浄化業務

DHP、アフェレシス等

5) シャントエコー業務

III. 業務実績

1) 急性血液浄化業務

2) PTA清潔介助業務

3) 院内医療機器中央管理業務

4) 院内医療機器保守点検業務

（透析装置、人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、経腸栄養ポンプ、麻酔器、医療用テレメーター、
バッグルバルブマスク、除細動器、AED、クリーンパーティション、離床センサ）

5) 内視鏡業務

6) シャントエコー業務

7) 医療機器の安全使用への取り組み

①院内医療機器研修会開催

②人工呼吸器、輸液ポンプ、シリンジポンプ、医療用テレメーター、医療ガスアウトレット管理（点検業務）

8) 施設基準に関係する実績

「医療機器安全管理料1」の算定、「透析液水質確保加算」の算定

IV. 今後の展望

医療の多様化、高度化に伴い、医療事故の報告が散見する中で患者さんに安心して医療を受けていただくために、臨床と工学の両面から医療事故の原因と対策を考え、事故を未然に防ぎ、質の高い医療サービスが提供できる環境を作ります。

また、種々の医療技術に対応できるよう日々研鑽していくことが重要と考え、透析患者さんのフットケアにも重点をおき、医師、看護師等と協力しPAD（末梢動脈疾患）予防を目指します。

さらに、内視鏡業務をさらに充実させます。治療から物品管理まで、幅広い業務を実施していきます透析患者のシャントエコー業務を透析日に行うことで患者サービスの向上につなげます。

事務部

事務長 野村 善彦

総務課

I. スタッフ

課長	日長 隆也				
主任	1名	主事	1名	主事補	1名
非常勤職員（事務員）	4名	非常勤職員（SPD）	2名		

II. 業務概要

1) 施設・用度

医薬品や診療材料の購入・入庫・払出・保管管理（SPD）、土地・建物・付帯設備の維持管理、防犯対策、警備・清掃・電話交換等の委託業務の統括、その他の設備保全、用度事務全般

2) 人事・給与

職員の募集・採用、社会保険等の加入・変更手続き、退職手続、組織・定員の管理、異動・昇進等の辞令交付、給与・賞与の計算から明細書発行、年末調整、労務災害、ユニフォーム管理、人事労務管理全般

3) 経理

現金預金の管理、請求書・領収証・入金・支払の管理、会計伝票作成、固定資産・減価償却の管理、財務諸表作成、予算作成、決算書作成、税金等納付、会計監査対応、会計・経理・財務管理全般

4) 総務全般

公印・文書の管理、各種統計・報告・諸届、事務事業の連絡調整、他課に属さない事項全般

III. 業務実績

1) 購入実績

電子カルテシステム（部門システム含む）更新、院内ネットワーク（Wi-Fi）整備、診断用X線装置、全自动血液凝固測定装置、多項目自動血球分析装置、超音波診断装置、人工透析大型装置、人工透析システム、透析用監視装置53台、外科用手術台2台、患者ベッド42台、自動精算機、POSレジ、駐車場料金機、福祉車両2台、貯湯槽熱交換器 等

2) 採用実績

採用 50名（内訳 医師3名、看護師20名、看護助手7名、セラピスト10名、医療技術員4名、事務6名）
退職 46名（内訳 医師2名、看護師17名、看護助手2名、セラピスト8名、医療技術員4名、事務13名）

3) 監査等

有限監査法人トーマツによる会計監査 等

IV. 今後の展望

安定した病院運営のため必要な、コ・メディカルや看護師の採用に注力し病院運営の安定化を図ります。

また、済生会滋賀県病院と連携し、医薬品・医療機器等の共同購入を積極的に活用し費用の削減に取り組みます。さらに時間外労働の規制や、有給休暇取得率の向上等、職員が意欲・能力を存分に発揮できる環境を整備します。

経営企画課

I. スタッフ

課長 木村 真奈美
係長 1名
非常勤職員（事務員） 2名

II. 業務概要

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1) 経営企画 | 病院運営にかかる企画、事業計画の立案 |
| 2) 施設基準の管理 | 病院運営にかかる施設基準の取得・管理 |
| 3) 情報システム管理 | 医療情報システムの統括・管理 |
| 4) 広報企画 | ホームページの管理、病院パンフレット等の制作 |

III. 業務実績

- 1) 事務局
 - ①病院情報システム・電子カルテリプレイス
令和6年6月 電子カルテシステム・端末入替 新システム本稼働
 - ②病院機能評価
令和7年1月 本受審
令和7年3月 『中間的な結果報告』にて評価C項目無し
 - ③病院経営改善コンサルティング
GHC社 6回開催
GR社 12回開催
- 2) システム保守管理
 - ①システムレビュー受審（システム監査）
令和6年10月 システムレビューフォローアップ調査
 - ②患者用Wi-Fi導入
令和6年12月 患者用Wi-Fiサービス提供開始（各病棟、透析センター）
 - ③透析システム『Future Net Web+』導入支援
令和7年3月 システム本稼働
- 3) 施設基準の管理
 - 隨時 各種施設基準届出提出
 - 令和6年8月 施設基準に係る定期報告提出
 - 令和6年12月 『施設基準等に係る適時調査』受審
- 4) 報告・調査対応
 - ①回復期リハビリテーション病棟協会調査
令和6年9月 提出
 - ②病床機能報告
令和6年11月 提出
- 5) 広報企画
 - ①ホームページ管理
隨時 各ページの情報更新、レイアウト修正等
 - ②広報物作成
地域連携だよりの発行 12回
広報誌「済生」への記事投稿 17回
令和6年11月 回復期病棟パンフレットの作成

IV. 今後の展望

病院運営にかかる企画、事業計画の立案を行います。また重要な協議に用いていただく為の信用できるデータの作成・抽出、信頼される資料の作成を心がけています。
施設基準の適正管理に努める為、各種実績の継続的な点検を行います。
電子カルテシステム等の保守・管理を適切に行い、職員の業務のサポートを行います。
病院ホームページの管理、院内外の広報物の作成を行い、病院の特徴を積極的に広報します。

医事課

I. スタッフ

課長 中村 陽一郎
主任 1名 主事 4名 主事補 2名
非常勤職員 24名
(内訳) 受付・会計事務 11名、診療情報管理 1名、医師事務作業補助 2名、透析センター事務 1名、
外来診療科受付 5名、日当直事務 4名

II. 業務概要

患者さんにより良い治療を受けていただくため、各医療従事者等と連携を図り、スムーズに事務処理を遂行できるよう取り組んでいます。

1) 総合受付業務

患者・受検者へのフロア案内、メッセンジャー業務、紙媒体スキャン業務

2) 医療事務

診療報酬算定、請求、入退院、会計収納業務

3) 医事統計業務

患者数・請求額等の統計データ作成業務

4) 当直業務

時間外受付業務全

5) 診療情報管理業務

診療録管理、データ提出加算に係る様式作成業務

6) 医師事務補助業務

文書作成、検査等医師代行入力業務

7) 各科外来受付業務

各診療科における患者受付対応業務

8) 診察予約業務

診察予約及び変更業務

III. 業務実績

1) 医事業務	診療報酬請求事務	毎月10日提出
2) レセプト取扱件数	入院 : 3,537件	外来 : 34,591件
査定率	入院 : 0.10%	外来 : 0.22%
診療単価	入院 : 63,227円	外来 : 14,300円
インシデントレポート報告数	27件	
退院サマリ作成率	98.9%	
学会症例登録補助数	144例	
がん登録件数	55例	
学生実習受入	令和6年8月	2名

IV. 今後の展望

1) 「正確さ」

受付、カルテ作成、計算、会計業務等すべてにおいて正確さを念頭におき、患者さんに信頼され、安心していただけよう努めます。

2) 「笑顔」

患者さん、ご家族さん、来院される方みなさんには笑顔と思いやりのある心で、親切丁寧な接遇を心掛けます。

3) 「医事課のレベルアップ」

医療事務のプロとしての意識、向上心を持ち、勉強会を実施して、医事課職員としての資質向上に努めます。

4) 「働きやすい職場つくり」

仕事のしやすい環境に改善し、仕事の効率化を図ります。また、有給休暇が取りやすい環境や、残業時間を減らす取り組みを実践します。

リハビリテーションセンター

センター長 菊地 克久
副センター長 布施 郁子

リハビリテーション技術科

I. スタッフ

主任技師長 伊藤 慎英 (理学療法士)
技師長 中川 裕規 (作業療法士)、上野 芳也 (理学療法士)、貝塚 朗 (理学療法士)
係長 (作業療法士) 1名 主任 (言語聴覚士2名、理学療法士1名) 3名
常勤職員 (理学療法士) 34名 常勤職員 (作業療法士) 21名
常勤職員 (言語聴覚士) 10名 非常勤職員 (助手) 1名

II. 業務概要

1) 対象疾患

脳血管疾患 脳卒中、脊髄損傷、頭部外傷、そのほかの神経疾患、など
運動器疾患 骨折 (脊椎、四肢など)、靭帯損傷、腱板断裂、変形性関節症、など
廃用症候群 内科系・外科系疾患の治療後の不動、熱傷後、など
呼吸器疾患 慢性閉塞性障害、気管支喘息、な

2) リハビリテーション施設基準

運動器・脳血管疾患等・廃用症候群・呼吸器・リハビリテーション (I)

3) 診療体制

外来、一般・療養病棟：月～金曜日 (午前完全予約制)
回復期リハ病棟：365日体制 (午前：8:30～12:00／午後：13:00～17:00)

4) 診療内容

理学療法：ロボットを用いた歩行練習、起居移動動作練習、義肢装具療法、物理療法など
作業療法：日常生活動作練習、高次脳機能練習、IADL練習、電気刺激療法など
言語聴覚療法：失語症練習、構音練習、摂食嚥下練習、高次脳機能練習など
その他：退院前訪問 (家屋評価を含む)

III. 業務実績：実患者数 (延べ数) 外来 146 (1,379) 名 入院 1,773 (86,339) 名

数	脳血管		運動器		廃用		呼吸		合計	
	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位	件数	単位
外来	669	1,573	710	1,380	0	0	0	0	1,734	2,953
入院	58,285	157,998	36,235	80,036	13,349	22,273	214	330	108,083	260,637

(令和6年4月から令和7年3月までの12か月間)

IV. 今後の展望

- 1) 先進機器を用いたリハビリテーションを積極的に行います
ロボットを用いた早期歩行練習、神経可塑性の法則に基づいた運動麻痺の改善、VF/VEに基づく食事介入
- 2) フレイルに対する多角的アプローチ
残存する認知機能をいかし、日常生活の活気を作り出します
口から食べることを楽しむ、育むに取り組んでいきます
サルコペニアの改善を目的とした筋力アップを図っていきます
- 3) 疼痛を考慮した運動療法を強化していきます

健診センター

I. スタッフ

センター長（医師） 野々村 和男
 副センター長（医師） 辻 知里
 副センター長（看護師） 山内 知佐美
 医事課長 兼 健診センター（事務） 中村 陽一郎
 非常勤職員（看護師） 3名 非常勤職員（事務員） 6名
 非常勤職員（助手） 3名 非常勤職員（技師） 1名

II. 業務概要

1) 健診業務

受付、診察（内科・脳）、中央業務（検査案内）、婦人科診察、各種検査

2) 健診種別

人間ドック、脳ドック、生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、一般健診、雇い入れ健診、
 がん検診（乳・子宮・大腸・肺・胃）、市肝炎ウイルス検診、市COPD検診等

3) 予防接種

インフルエンザ、新型コロナウイルス、帯状疱疹、肺炎球菌、MR、破傷風、RS、B型肝炎、その他

4) 結果説明

各種健診～医師による結果説明（完全予約制）月～金

脳ドック～医師による結果説明（完全予約制）火のみ

5) 健診予約業務

個人、企業からの各種申込受付

6) 健診請求業務

健診に係る請求業務

7) 健診結果作成

結果・所見の入力、入力所見のチェック（ダブル）、医師の確認・判定、結果仕上げ

8) 結果郵送業務

III. 業務実績

（件数）

	一般	生活習慣病	人間ドック	脳ドック	人間＋脳ドック	後期高齢者健診	特定健診	市検診	合計
検診種別	1,766	2,197	657	72	202	461	1,367	2,176	8,898

IV. 今後の展望

1) 健診センターの充実

健診スタッフの知識向上及び多職種連携を密に質の向上を図ります。

精度管理に取り組みます。

2) 収益確保

検査枠を見直し、オプション検査の充実・人間ドック・脳ドック枠の拡大を目指します。

危機管理センター

センター長 野々村 和男

医療安全管理室

I. スタッフ

室長（看護師） 田 みどり
非常勤職員（危機管理専門員） 1名

II. 業務概要

- 1) ヒヤリハット・セーフティー（インシデント）報告を受け、当該部署がエラーに至った要因分析・再発防止対策が考えられるよう支援する
- 2) ヒヤリハット・セーフティー（インシデント）報告事例の検討や医療安全対策を協議するため、医療安全管理委員会・リスクマネジメント委員会を運営する
- 3) 各部署の業務内容を把握し、安全確保のためのシステム化を提案・指導する
- 4) 全職員対象の院内研修会を2回/年以上計画・実施する
- 5) 看護部や他部門と協力し新人職員等への安全管理教育を計画・実施する
- 6) 最新の医療事故情報を把握し、必要時、院内の現状調査・改善策を講じる
- 7) 定期的に院内を巡回し、施設や設備の安全点検及び職員からの医療安全対策について情報収集を行う
- 8) 患者・家族・職員から医療安全に係わる相談を受ける
- 9) 患者・家族・職員からハラスメント等の相談を受ける

III. 業務実績

- 1) 研修会
 - ①リハビリテーション技術科業務改善「インシデントレポート報告件数増加の取り組み」
令和6年10月実施
電子カルテ内システムバリテスで視聴した。受講率 96.5%
 - ②ハラスメント防止
令和7年1月
学研メディカルサポートを活用しe ラーニングで視聴した。受講率97.5%
 - ③身体拘束最小化
令和7年3月 認知症ケアチームで開催した。
集合研修と電子カルテ内バリテス視聴と併用で実施した。
- 2) インシデント報告数
1,281件（昨年度1,117件）（0レベル 392件）
- 3) 医療安全カンファレンス
毎週1回開催
- 4) 医療安全ラウンド
週1回程度院内ラウンド
- 5) マニュアル等の制定や改訂
医療安全部門推進者・医療安全組織図を改定
死亡症例報告を改定
医療事故報告体制、医療事故発生時の対応改定
誤認防止OP出棟前マーキング施行を制定
造影剤投与時の逆血確認方法について改定
パニック値、異常所見時報告体制の改定
身体拘束改定
輸血チェックリスト改定
説明書兼同意書の新規作成及び変更ルールの制定

6) その他活動

- 外来透析患者が来院されない時のフローについて協議
- 衝撃吸収マット導入
- アレルギー歴を栄養科で最終確認について協議
- ビデオ喉頭鏡病棟配置について協議
- ワーキング活動
 - ・転倒転落予防対策
 - ・誤認防止対策
 - ・医療安全風土醸成

IV. 今後の展望

- 1) 身体的拘束最小化に取り組み患者の尊厳を守る
- 2) 誤認防止対策を徹底し安全の向上に向け組織全体で取り組む
- 3) 5S活動を推進する

感染予防対策室

I. スタッフ

室長代行（感染管理認定看護師） 宮脇 舞子

II. 業務概要

様々な感染症が広がることを防止するために、病院の職員や患者さんに情報提供・教育・相談対応をしています。

1) 病原体の拡散防止について

臨床検査技師が主となって、毎月患者さんから検出される病原体の情報提供をしています。必要であれば病原体への具体的な対策（適切な個人防護具の選定、個室の使用が必要かなど）についての相談対応や、職員への教育を行っています。

病院で使用している手指消毒剤の使用量について定期的に可視化して情報提供しています。また、看護部・診療技術部のメンバーと協力して、職員の手指消毒回数向上に取り組んでいます。

1週間に1回1部署ずつ見回りを行い、感染対策ができているか確認して（環境ラウンドと呼んでいます）改善点があれば改善してもらうように働きかけています。

2) 抗菌薬の適正使用について

抗菌化学療法認定薬剤師（IDCP）が主となって、患者さんに使用している抗菌薬の種類や用量の情報提供を行っています。

抗菌薬が適正に使用できるように、毎週抗菌薬適正使用支援チーム（AST）が集まってカンファレンスを行っています。

III. 業務実績

1) 院内感染対策研修 2回 運営

第1回 令和6年11月11日

（e-ラーニング）

タイトル：感染マニュアルについて 講師：宮脇 舞子（ICN） 受講率 90%

第2回 令和7年2月17日

（e-ラーニング）

タイトル：薬剤耐性（AMR）対策について 講師：田中 由紀子（IDCP） 受講率91%

その他の研修

・新規採用職員対象感染対策研修

・出前講座3回

2) 感染ラウンド 28回

3) ASTラウンド 22回

4) 業務実績

感染対策委員会（定例月1回）、ICT、リンクナース委員会（月1回）開催

感染対策合同カンファレンス参加（年4回）

南部地域感染症予防対策連絡会幹事会出席（年4回）

コロナ対策会議事務局

各病棟クラスター対策指導・相談業務

感染対策マニュアル改定

コロナ罹患後の出勤日数の変更

消毒用スワップ新規採用承認

手指消毒剤・ハンドクリーム採用

B型・C型肝炎陽性時の受診勧奨システムの構築と監視

感染症サーベイランスシステム（NESID）による発生届提出方法に変更

インフルエンザ予防投与の期間変更について

研究発表 入院中のCOVID-19陽性患者の隔離期間短縮の試み

IV. 今後の展望

新型コロナウイルスの発生から約5年半が経過し、社会全体の体制が整いつつあることを感じます。しかし、新たな感染症の脅威は後を絶たず、国際的な人の移動の活発化により、麻疹の発生が確認されたり、抗菌薬の過剰使用による多剤耐性菌の問題も深刻化しています。このような状況のなか、感染予防対策室では、安定した入院受け入れ体制に貢献するために、職員の学習を支援し、標準予防策の遵守を促進することで、変化する感染症の状況に柔軟に対応してまいります。

各委員会の活動状況



褥瘡対策委員会

I. 目的

褥瘡の予防対策、感染対策等について検討し、それらの効率的な推進を図る。

II. 委員長

富田整形外科医長

III. 事務局

在宅療養支援室係長

IV. 活動内容

[開催日]

褥瘡対策委員会および褥瘡回診

毎月第2月曜日14:30~

- 1) 毎月の自立度B1, B2, C1, C2ランクの患者数
(褥瘡有無にかかわらず) の確認
- 2) 褥瘡発生患者及び治癒の確認
- 3) 褥瘡発生率について
- 4) 回診対象患者の確認
- 5) 回診による褥瘡状況の把握および処置施行
- 6) 今後の対策を検討

褥瘡予防ラウンド 毎月第4月曜日 15:00~

- 1) ブレーデンスケール14点以下の褥瘡リスク患者のラウンド

感染対策委員会

I. 目的

感染状況の監視、対策の立案・実施、職員教育を下部組織と連携し行い、院内感染の予防と抑制し、患者・スタッフの安全を確保する

II. 委員長

吉橋呼吸器内科副部長

III. 事務局

感染予防対策室主任

IV. 活動内容

[開催日]

・毎月第3火曜日 16:00~

・臨時会議4回開催

[検討・報告項目]

- 1) 臨床検査室からの報告
 - ・薬剤耐性菌検出状況
 - ・材料別耐性菌分離数
 - ・血液培養検体数・2セット率・コンタミネーション報告
 - ・CD報告
 - ・耐性菌感受性報告
- 2) 薬剤科報告
 - ・特定抗菌薬払い出し状況
 - ・抗菌薬供給状況
- 3) 手指消毒使用量状況
- 4) 環境ラウンド・抗菌薬ラウンド状況報告

その他事項

- ・コロナ罹患後の出勤日数の変更
- ・消毒用スワップ新規採用承認
- ・B型・C型肝炎陽性時の受診勧奨システムの構築と監視
- ・感染症サーベイランスシステム（NESID）による発生届提出方法に変更
- ・インフルエンザ予防投与の期間変更について

医療安全管理委員会

I. 目的

医療の安全確保および医療事故の防止、また良質な医療の提供。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

看護副部長兼医療安全管理室長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第2水曜日 16:00~

- 1) リスクマネジメント委員会の事例報告など会議結果等の報告および各種提案を受けて検討を行い、必要に応じて指示・指導を行う。
- 2) 医療事故にかかる情報収集及び提供をする。
- 3) 発生した医療事故の原因分析及び改善策等を検討決定する。
- 4) 医療事故防止のための教育・研修を行う。

[その他]

医療安全マニュアル改定

診療録管理委員会

I. 目的

診療録の適正な管理・的確な運用を遂行する。

II. 委員長

布施リハビリテーションセンター副センター長兼脳神経外科部長

III. 事務局

医事課非常勤職員（診療情報管理士）

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第2木曜日 16:30~

- 1) 診療情報管理室の現況報告・サマリー完成率・カルテ不備件数・カルテ不備詳細について毎回報告
- 2) 新様式作成時・変更時・スキャンの承認
- 3) 適切なコーディング方法についての協議（年2回）
- 4) 各部署から連絡事項の報告

輸血療法委員会

I. 目的

安全かつ適正な輸血療法を実施するため、輸血療法に関する事項について検討・決定し、院内での適正な輸血を推進する。

II. 委員長

中田消化器内科副部長

III. 事務局

臨床検査科主任

IV. 活動内容

[開催日] 隨時（年6回） 16:30～

- 1) 輸血療法の適応に関すること
- 2) 適正な血液製剤の選択に関すること血液製剤の適正な保管管理に関すること
- 3) 院内での血液製剤の使用状況の把握に関すること
- 4) 輸血事故の把握と防止対策に関すること
- 5) 輸血療法に伴う副作用・合併症の把握と予防および発生時の対処に関すること
- 6) その他輸血に関すること

[開催状況]

第1回 令和6年5月31日（金） 16:00～

- 1) 製剤使用量
- 2) アルブミン製剤使用量
- 3) 看護部輸血チェックリストについて
- 4) 電子カルテ変更にともなうレイアウト変更について

第2回 令和6年7月26日（金） 16:00～

- 1) 本年度委員紹介
- 2) 血液製剤使用量
- 3) アルブミン製剤使用量
- 4) 電子カルテ変更にともなうレイアウト変更について

第3回 令和6年9月27日（金） 16:00～

- 1) 血液製剤使用量
- 2) アルブミン製剤使用量
- 3) 輸血療法マニュアルの改訂

第4回 令和6年11月29日（金） 16:00～

- 1) 血液製剤使用量
- 2) アルブミン製剤使用量
- 3) 輸血利用マニュアルを医療安全マニュアルに入れることについて

4) 看護部の輸血チェックリストの改訂について

5) 輸血利用マニュアルの緊急輸血について

第5回 令和7年1月31日（金） 16:00～

- 1) 血液製剤の使用量
- 2) アルブミン製剤使用量
- 3) 12月に病棟で輸血の未実施の報告

第6回 令和7年3月28日（金） 16:00～

- 1) 血液製剤使用量
- 2) アルブミン製剤使用量
- 3) 輸血の返却、キャンセルの運用変更について
- 4) OPE室の冷蔵庫について
- 5) クロス採血の採取タイミングについて
- 6) 緊急輸血のマニュアル内容の改訂について

衛生委員会

I. 目的

職員の健康障害防止のための対策や、健康保持増進のための施策等の検討、実施。

II. 委員長

菊地診療部長兼リハビリテーションセンター長

III. 事務局

総務課長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月最終金曜日 15:00～

主に職員の健康管理に関する事業について検討を行う。

1) ストレスチェック

職員のメンタルヘルス不調の未然防止を図る

2) 健康診断等

定期健康診断（深夜業および一般・定期）、B型肝炎ワクチン接種（年3回および抗体測定）、電離放射線健康診断（年2回）の実施

3) 予防接種

インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、おたふくかぜの各予防接種の実施

4) 労働環境の見直し

定期的な職場巡視の実施

5) 研修

協会けんぽ主催の健康教室：「ストレスや作業姿勢による肩こりの対策」開催

6) 病院機能評価に向けての取り組み

受動喫煙防止対策：デジタルサイネージへの掲出、禁煙防止対策ポスターの掲示

臨床検査委員会

I. 目的

臨床検査業務（外部委託検査を含む）について、臨床検査の適正化、測定機器の精度管理、検査業務の円滑化、効率化を図る。

II. 委員長

金盛内科部長

III. 事務局

臨床検査科技師長

IV. 活動内容

[開催日] 隨時

- 1) 臨床検査精度管理のこと
- 2) 臨床検査測定機器の整備・管理のこと
- 3) 外部委託検査のこと
- 4) その他臨床検査のこと

[開催状況]

第1回 令和6年9月6日（金）16:30～17:00

- 1) 令和6年度「日臨技検査精度管理調査」への参加について（日本臨床衛生検査技師会実施）
- 2) 令和6年度「滋賀県臨床検査精度管理事業」参加について（滋賀県臨床検査技師会実施）
- 3) 機器更新について
- 4) 採血管について
- 5) その他

第2回 令和6年12月13日（金）16:30～17:00

- 1) Dダイマーの院内測定機器および試薬について
令和7年2月より測定機器の変更を行うことを決定。
- 2) 血液型判定用紙について
ラミネートでの発行廃止を検討。医局会で協議をお願いする。
- 3) 出血時間について
他の検査で代用できるかを検討した。
- 4) その他

医療ガス安全管理委員会

I. 目的

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

総務課主事補

IV. 活動内容

[開催日]

年1回 16:00～ 令和6年6月5日（水）

- ①医療ガス安全管理委員会要綱改定について
- ②医療ガスの安全点検に係る業務の実施責任者の選任について

薬事委員会

I. 目的

医薬品の適正使用の推進のため、医薬品情報提供ならびに採用医薬品の見直しを図る

II. 委員長

金盛内科部長

III. 事務局

薬剤科副師長

IV. 活動内容

[開催日]

年3回（6・10・2月） 第4木曜16:00～

第1回 令和6年6月27日（木）

- 1) 新規採用薬について審議 3品目決定
- 2) 報告事項
 - ・臨時購入薬 22品目
 - ・院外処方登録薬 6品目
 - ・院内採用中止薬 10品目
 - ・院外採用中止薬 9品目
 - ・採用変更品 9品目
 - ・その他 製造販売後調査書類について

第2回 令和6年10月24日（木）

- 1) 新規採用薬について審議 2品目決定
- 2) 報告事項
 - ・臨時購入薬 18品目
 - ・院外処方登録薬 10品目
 - ・院内採用中止薬 14品目
 - ・院外採用中止薬 2品目
 - ・採用変更品 10品目

第3回 令和7年2月28日（金）

- 1) 新規採用薬について審議 なし
- 2) 報告事項
 - ・臨時購入薬 18品目
 - ・院外処方登録薬 5品目
 - ・院内採用中止薬 10品目
 - ・院外採用中止薬 1品目
 - ・採用変更品 3品目

透析機器安全管理委員会

I. 目的

平成22年度から「透析液水質確保加算」の診療報酬において、施設基準に伴う当委員会の設置が義務付けされている。透析機器、透析液水質に関する保守点検、安全使用に関する協議を行う。

II. 委員長

宮本臨床工学科副技士長

III. 事務局

臨床工学科副士長

IV. 活動内容

[開催日] 年1回

第1回 令和6年11月6日（水）

- 1) 令和6年度日機装置設置工事について
- 2) 令和6年度透析機器定期点検計画について
- 3) 透析機器安全管理研修について
- 4) その他協議
 - ・透析支援システムについて
 - ・透析液流量について
 - ・透析患者への案内について

業務改善委員会

I. 目的

各職種の業務分担を明確にするとともに見直しを図り、診療業務等の改善や軽減を行い、業務の効率化や職員の職務軽減を推進する。

II. 委員長

木村副院長兼地域医療支援部長兼経営企画課長

III. 事務局

総務課主事

IV. 活動内容

[開催日]

2ヶ月毎・第3木曜日（奇数月） 16:30～

- 1) 各部署別行動計画書

(BSC: バランススコアカード) とSWOT分析作成に関すること
- 2) 職種の業務分担に関すること
- 3) 診療業務等の改善や軽減に関すること
- 4) 業務運用の見直しや整備、計画に関すること
- 5) 処遇の改善に関すること
- 6) その他業務改善に関連すること
 - ①令和5年度 勤務医ならびに看護師負担軽減計画（3ヵ年）の最終評価について
 - ②令和6年度 勤務医ならびに看護師負担軽減計画（3ヵ年）について
 - ③各部署からの業務改善にかかる意見収集について 等

[開催状況]

第1回 令和6年 7月18日（木）

第2回 令和6年 9月19日（木）

第3回 令和6年11月21日（木）

第4回 令和7年 1月16日（木）

第5回 令和7年 3月21日（金）

給食委員会

I. 目的

患者給食の改善および食中毒事故防止のため、安心・安全・良質な食事提供を行う。

II. 委員長

金盛内科部長

III. 事務局

栄養科技師長代行

IV. 活動内容

[開催日] 年4回 第2木曜 14:00~

- 1) 患者給食の運営について（委託方法や内容の検討）
- 2) 患者給食の食材、栄養剤の選定、検討

[開催状況]

令和6年 4月 5日（金）
令和6年 8月 9日（金）
令和6年11月14日（木）
令和7年 3月13日（木）

NST委員会

I. 目的

入院患者に対して効果的な栄養療法の選択と実施を提案し、治療効果を高め、在院日数の短縮、医療費の削減に貢献する。さらに活動を通して、医療レベルの向上と自己啓発を図る。

II. 委員長

金盛内科部長

III. 事務局

栄養科技師長代行

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第2木曜日 14:00~

- 1) 低栄養のリスクのある患者への栄養介入（症例検討、回診）
- 2) 委員会内持回り学習会の実施（委員のレベルアップ）
- 3) 院内取扱い経腸栄養剤一覧表作成（薬品、食品）

	ミニ勉強会	実施者 (5-10分程度)
7月	NST抽出方法	栄養科
8月	下痢・便秘対策ガイドライン	皮膚・排泄ケア認定看護師
9月	血清ナトリウム異常と治療法	金盛内科部長
10月	NGから経口、胃瘻への移行ガイドライン	栄養科
11月	CNやSTの嚥下評価ポイント	摂食・嚥下障害看護認定看護師
2月	NSに確認してほしい嚥下ポイント	摂食・嚥下障害看護認定看護師

CS委員会

I. 目的

顧客満足度を高めるためのサービスの充実と改善を目的とする

II. 委員長

吉村看護部長

III. 事務局

医事課主任

IV. 活動内容

開催日 毎月第3木曜日 16:00~

1) 接遇向上に向けた取組

- ・職員対象に接遇UPチェックシートを11月1日～15日実施
- ・接遇啓発ポスターの掲示

2) 患者満足度向上に向けた取組

入院・外来におけるアンケートの実施

対象：入院患者・外来患者

期間：令和6年8月13日～9月13日

報告：ホームページ・院内掲示

3) 地域と連携した講座の実施・出前講座の実施

- ・公開講座：令和6年12月9日（月）

テーマ：誤嚥性肺炎にならないために今日からできること

講師：布施医師（脳神経外科部長兼リハビリテーション科部長）

田村言語聴覚士（リハビリテーション技術科）

対象：一般市民 参加人数 31人

- ・出前講座：年間件数8件

（認知症 2件 感染対策 3件
摂食嚥下 3件
延べ参加人数 176人）

4) 季節に関連した取組の実施

- ・7月5日七夕コンサート

奏者：守山琵琶湖よし笛アンサンブル

- ・12月25日クリスマスコンサート

奏者：ハンドベル野いちご

午後2時～玄関ホールにて開催

5) その他

- ・病院長への提案・ご意見

1回／週回収し、月ごとに正面玄関掲示板とホームページにて回答



七夕コンサートの様子



クリスマスコンサートの様子

リスクマネジメント委員会

I. 目的

医療および看護・介護に関わる事故を未然に予防し、安全な医療・看護の提供を行う。

II. 委員長

若城副院長

III. 事務局

看護副部長兼医療安全管理室長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第2金曜日 15:00～

医療事故に関わる事例検討、対策の立案・周知や予防・改善策について意見交換を行い、事故の要因分析と再発防止策について確認し評価した。

1) 医療安全管理委員会への報告

医療事故に関わる事例の検討結果、改善策等について報告し、指示・指導を受け現場へフィードバックした。

2) 院内ラウンドの実施

院内全体および各病棟を定期的にラウンドし不備・不適切な箇所を指摘し、是正・改善した。

クリティカルパス委員会

I. 目的

パスをもとに治療やケアを行うことで、医療の標準化とチーム医療の推進により、質の高い医療を提供する。また、入院中の経過や治療内容をわかりやすく説明して、安心して質の高い医療を受けていただく。

II. 委員長

中田消化器内科副部長

III. 事務局

医事課主任

IV. 活動内容

[開催日]

令和6年11月8日（金）15:00～15:30

[内容]

回復期リハビリテーション病棟のクリティカルパス導入について

・大腿骨近位部骨折と脊椎椎体骨折のクリティカルパス

・脳卒中のクリティカルパス

上記2種類のパスの導入について協議し、承認となる。

部門連絡協議会

I. 目的

各部門間における連絡の伝達、事業活動状況や院内の決定事項等の情報共有

II. 委員長

野村事務長

III. 事務局

経営企画課係長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月最終木曜日 16:00～

- 第1回 令和6年 4月25日 (木)
- 第2回 令和6年 5月30日 (木)
- 第3回 令和6年 6月26日 (水)
- 第4回 令和6年 7月25日 (木)
- 第5回 令和6年 8月29日 (木)
- 第6回 令和6年 9月26日 (木)
- 第7回 令和6年10月31日 (木)
- 第8回 令和6年11月28日 (木)
- 第9回 令和6年12月26日 (木)
- 第10回 令和7年 1月30日 (木)
- 第11回 令和7年 2月27日 (木)
- 第12回 令和7年 3月27日 (木)

[協議／報告内容]

- ・事業活動計算書報告
- ・経営管理会議だより
- ・診療実績報告
 - ・令和6年度病床稼働率について
 - ・令和6年診療科別経営指標について
 - ・令和6年度救急患者数について
 - ・平均在院日数について
- ・各部門報告
 - ・診療技術部／地域医療支援部／リハビリテーションセンター／健診センター／認知症ケアチーム／摂食・嚥下口腔ケアチーム／排尿ケアチーム
- ・各委員会報告
- ・その他報告事項

経営管理会議

I. 目的

当院の経営、運営を協議し、その方針を決定する。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

総務課長

IV. 活動内容

[開催日] 毎週火曜日 17:00～

学術・広報委員会

I. 目的

病院情報の発信および広報ならびに院内学術研究会の実施を積極的に推進するため、病院内外への情報提供、職員の資質向上を目的とする。

II. 委員長

木村副院長兼地域医療支援部長兼経営企画課長

III. 事務局

總務課主任

IV. 活動內容

〔開催日〕 第1月曜日 16:00~ ※変動あり

- | | | | |
|------|------|--------|-----|
| 第1回 | 令和6年 | 4月10日 | (水) |
| 第2回 | 令和6年 | 5月13日 | (月) |
| 第3回 | 令和6年 | 6月 3日 | (月) |
| 第4回 | 令和6年 | 7月 1日 | (月) |
| 第5回 | 令和6年 | 8月 5日 | (月) |
| 第6回 | 令和6年 | 9月 2日 | (月) |
| 第7回 | 令和6年 | 10月 7日 | (月) |
| 第8回 | 令和6年 | 11月 5日 | (火) |
| 第9回 | 令和6年 | 12月 2日 | (月) |
| 第10回 | 令和7年 | 1月 8日 | (水) |
| 第11回 | 令和7年 | 2月 3日 | (月) |
| 第12回 | 令和7年 | 3月 4日 | (火) |

[活動実績]

令和5年度病院年報発行、令和6年度院内学術研究発表会開催、リハビリテーションセンターパンフレット制作、地域連携だより発行（毎月）、HP更新（随時）、院内掲示板巡視（毎月） 等



リハビリテーションセンターパンフレット



令和6年度 院内学術研究発表会



掲示板巡回の様子

救急・災害対策委員会

I. 目的

当院における救急・災害対策体制の整備、および救急業務の改善のため、必要な事項の審議や研修を行い、救急・災害時の対応向上を図る。

II. 委員長

若城副院長

III. 事務局

放射線技術科係長

IV. 活動内容

[開催日] 随時 16:30~

院内における救急医療体制、災害対策の業務にかかる協議を行い、業務の見直しを実施する。また、救急や災害に関する院内研修や訓練を行う。

第1回 令和6年5月23日(木)16:30~17:15

- 1) 病院機能評価第2領域について報告
- 2) 病院機能評価第4領域より災害訓練の実施について

第2回 令和6年6月13日(木)15:00~16:15

- 1) 病院機能評価第4領域災害機上訓練について

第3回 令和6年8月22日(木)16:00~16:45

- 1) 救急マニュアル第3領域3.2.6救急患者受け入れ方針追記について
- 2) 災害機上訓練の振り返り
- 3) その他市販のポータブル電源の購入検討について

第4回 令和6年11月21日(木)16:30~17:15

- 1) 今年度の年末年始救急体制について
- 2) 造影剤副作用発生時の対応フローチャート修正について
- 3) BLS・AED研修会の受講状況報告
- 4) その他手術室避難用担架について

災害機上訓練 日時 令和6年7月24日(水)

15:00~16:00 16:00~17:00

場所 会議室1、2 参加者数合計 41名

BLS・AED研修会 実技トレーニング 受講者数
合計266名 受講率71.7%

非常用備品点検(年2回) 令和6年9月25日(水)
令和7年3月26日 実施



BLS・AED研修会実技トレーニングの様子



災害機上訓練の様子

IT委員会

I. 目的

病院のIT化促進や病院情報システムの運用改善ならびに、インターネット環境の整備とセキュリティ対策等の協議を図る。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

経営企画課係長

IV. 活動内容

【開催日】

3ヶ月毎・第2火曜日（6・9・12・3月）
16:00～

令和6年度はIT委員長の許可により頻度を上げての開催となる。

第1回 令和6年8月13日（火）

- 1) IT委員会規定について
- 2) 電子カルテシステム運用管理規定について

第2回 令和6年9月10日（火）

- 1) 旧端末の廃棄／旧サーバーの停止・撤去について
- 2) データ取り込み・カラー印刷用端末の設置／貸し出し用端末ラックの設置について
- 3) 院内ネットワーク（以下：NW）環境の更新について

第3回 令和6年10月8日（火）

- 1) 非常時（災害・障害発生時）を想定した定期的な訓練について
- 2) サイバーアクシデント発生時の緊急連絡体制について
- 3) システム監査の受審について
- 4) ポケットWi-Fiの台数整理と利用について

第4回 令和6年11月12日（火）

- 1) 電子カルテシステム定期保守点検に関するサーバーの再起動について
- 2) 非常時（災害・障害発生時）を想定した定期的な訓練について
- 3) システム障害（サイバーアクシデント発生）時の対応マニュアルについて
- 4) 透析システムの更新について

5) 院内ネットワーク更新にかかる院内工事について

第5回 令和6年12月10日（火）

- 1) 非常時（災害・障害発生時）を想定した定期的な訓練の振り返り
- 2) 院内ネットワーク更新（ファイアウォール更新・患者用Wi-Fi設置）について

第6回 令和7年2月18日（火）

- 1) 共有ファイルの不要データの整理について
- 2) NDR+SOCサービスの導入について

用度・図書委員会

I. 目的

各部署の医療機器整備要望を取りまとめ、次年度整備計画を検討する。

II. 委員長

野村事務長

III. 事務局

総務課主事補

IV. 活動内容

[開催日] 隨時

第1回 令和6年10月10日（木）

第2回 令和6年10月31日（木）

- 1) 令和6年度医療機器等の整備結果について
- 2) 令和7年度医療機器等の整備計画について

倫理委員会

I. 目的

医療行為、医学研究および医学教育を倫理的および社会的な観点から審査する。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

総務課長

IV. 活動内容

[開催日] 隨時

第1回 令和6年12月19日（木）

研究倫理および臨床倫理実績報告

地域医療推進委員会

I. 目的

済生会守山市民病院の基本方針に基づき、地域の中核病院としての役割を担うために、地域医療連携業務に関すること、院内入退院業務のルール等に関することを協議する。

II. 委員長

木村副院長

III. 事務局

地域医療連携室課長

IV. 活動内容

[開催日] 令和7年3月24日（月）

地域連携業務にかかる実績数値報告

開放型病床運営委員会

I. 目的

済生会守山市民病院に開放型病床を設置し、病院及び守山野洲医師会が協力して、相互の医療機能を効果的に活用し、地域医療の向上をはかることを目的とする。

II. 委員長

若城副院長

III. 事務局

地域医療連携室課長

IV. 活動内容

[開催日] 年1回 令和7年3月24日（月）

※書面開催にて実施

開放型病床の利用促進に係る課題の検討や情報交換を行う

透析センター運用委員会

I. 目的

人工透析センターの運営と円滑な業務の推進を図るための協議を行う。

II. 委員長

多賀谷人工透析センター長

III. 事務局

臨床工学科技師長

IV. 活動内容

【開催日】3ヶ月毎・6月より毎月開催に変更・第4水曜日 15:00～もしくは16:00～

※本年度は計9回開催

第1回 令和6年 8月28日 (水)

* 9月は欠席者多く散会

第2回 令和6年10月23日 (水)

第3回 令和6年11月27日 (水)

第4回 令和7年 1月22日 (水)

第5回 令和7年 2月26日 (水)

第6回 令和7年 3月26日 (水)

- ・集患活動の計画・実施
- ・透析情報システムの導入準備と導入後の運用状況確認
- ・送迎サービスの構築
- ・透析センターリーダ会の報告

医療機器安全管理委員会

I. 目的

医療機器に係る安全管理体制の確保。

医療安全管理委員会その他院内の他の委員会と協議し、病院の医療機器に関する保守点検および安全管理に努める。

II. 委員長

井上臨床工学科技師長

III. 事務局

臨床工学科副士長

IV. 活動内容

【開催日】

2ヶ月毎・第2水曜日 (偶数月) 16:30～

第1回 令和6年 6月 5日 (水)

第2回 令和6年 8月28日 (水)

第3回 令和6年10月23日 (水)

第4回 令和7年 2月12日 (水)

令和6年度保守点検計画

令和6年度医療機器安全管理研修

医療機器安全管理マニュアル改訂

病院機能評価事項

【協議事項】

除細動器／AEDの更新

手術室への医療用アイソレーションシステムユニット設置の必要性検討

輸血用ポンプの導入

医事委員会

I. 目的

診療報酬請求及び医療事務に係る事項について、改善策を検討することを目的とし、積極的に病院収益の確保を図る。

II. 委員長

若城副院長

III. 事務局

医事課主事

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第4水曜日 16:00～

- 1) 診療報酬の增收に関すること
- 2) 診療報酬請求もれの防止に関すること
- 3) レセプト審査上の問題点とその解決方法に関すること
- 4) 返戻、過誤及び査定増減の内容の検討に関すること
目標率を設定し達成に向けた対策を検討すること
- 5) その他診療報酬業務に関すること
上記事項の改善策等を検討し、対策を図る。

健診運営委員会

I. 目的

健康診断受診者に対する質の向上を図ることおよび健診センターと関連部署との連携を円滑に行うことを目的とする。

II. 委員長

辻副健診センター長兼糖尿病内科部長兼腎臓内科部長

III. 事務局

医事課長兼健診センター事務課長

IV. 活動内容

[開催日] 2ヶ月毎・第2水曜日（奇数月）

14:30～

- 1) BSCに係る取組状況
- 2) 閑散期による単独健診の取り組み（広報等）
- 3) 業務プロセスの作成・評価
- 4) 新規オプション検査項目の検討
- 5) 次年度に向けてのがん検診精度管理の準備
- 6) 電子カルテとTAKシステムの連携
- 7) 学習会の開催状況

無料低額診療事業推進会議

I. 目的

社会福祉法第2条第3項及び社会福祉法人恩賜財団済生会定款第1条第1項の規程などにもとづき済生会守山市民病院が無料低額診療事業を適切に遂行し、もって地域の社会福祉の推進に貢献することを目的として活動する。

II. 委員長

野村事務長

III. 事務局

社会福祉事業室課長

IV. 活動内容

[開催日] 随時 16:30~

[開催状況] 令和6年7月25日（木）
令和7年3月24日（月）

無料低額診療事業の実績報告、またその運用についての協議を実施

個人情報保護委員会

I. 目的

保有個人情報を適正に管理・運用する。

II. 委員長

若城副院長

III. 事務局

総務課主事

IV. 活動内容

[開催日] 随時 16:30~

[開催状況]

- 第1回 令和6年 9月 6日（金）
第2回 令和6年11月28日（木）
1) 個人情報保護規程について
2) 個人情報保護研修実施について
3) 個人情報保護監査について

[研修会]

個人情報保護研修：令和6年9月26日（木）

15:00~16:00

<講師>株東京海上日動パートナーズ

本社業務部支援チーム チームリーダー
川崎 敏司氏

医療放射線安全管理委員会

I. 目的

診療用放射線の安全利用に係る管理を行うことを目的とする。

II. 委員長

南出放射線技術科技師長

III. 事務局

放射線技術科主任

IV. 活動内容

[開催日] 年2回

[開催状況]

第1回 令和6年7月26日(金)16:00~16:30

- 1) 委員紹介
- 2) 目的、業務について
- 3) 年間活動計画（研修会、線量管理）について
- 4) 放射線診療に関する事例発生時の対応について

第2回 令和7年3月14日(金)16:15~17:00

- 1) 年間活動報告（研修会実施報告、線量管理実施報告、放射線診療に関する事例報告）
- 2) 改善のための方策について
- 3) 次年度の活動について

[研修会]

令和7年2月3日~2月28日

「診療用放射線の安全利用のための研修」
(ビデオ学習)

[その他]

線量記録、線量調査、線量管理（通年）

回復期リハビリテーション病棟機能強化委員会

I. 目的

回復期リハビリテーション病棟における機能強化を推進するために設置。回復期リハビリテーションを必要としている患者に対して最良の診療提供ができるよう、施設基準・病棟運用方法などについて協議を行う。

II. 委員長

菊地診療部長兼リハビリテーションセンター長

III. 事務局

社会福祉事業室課長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第3木曜日 9:30~

回復期リハビリテーション病棟における業務改善、運用変更の協議
施設基準、稼働率向上のための戦略検討

摂食嚥下・口腔ケアチーム

I. 目的

摂食機能における嚥下困難な患者について、その身体機能の回復を目指して嚥下の維持、回復ができるよう嚥下訓練等を目的に活動する。

II. 委員長

布施部長リハビリテーションセンター副センター長兼脳神経外科部長

III. 事務局

経営企画課係長

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第4木曜日 14:00～

第1回 中止

第2回 令和6年 5月23日 (木)

第3回 令和6年 6月27日 (木)

第4回 令和6年 7月25日 (木)

第5回 令和6年 8月22日 (木)

第6回 令和6年 9月26日 (木)

第7回 令和6年10月24日 (木)

第8回 令和6年11月28日 (木)

第9回 令和6年12月26日 (木)

第10回 令和7年 1月23日 (木)

第11回 令和7年 2月27日 (木)

第12回 中止

[活動実績]

1) 診療実績について

・摂食機能療法

・新規介入数 : 150名

・延べ実施数 : 6,172名

・摂食嚥下機能回復体制加算

・新規介入数 : 94名

・延べ実施数 : 381名

・嚥下造影 (VF) : 172件

・内視鏡下嚥下機能 : 168件

2) 委員会内の取り組みについて

・ワークショップ開催

・6月、7月、8月『摂食・嚥下口腔ケアチームの活性化』について

・事例検討会の開催

・9月、10月『K T バランスチャートを使用しての事例検討』について

3) 摂食機能療法（間接訓練）の拡大について

・10月『ジェントルスティム』の2台目を導入（2、3病棟への設置）

4) ふれあい健康フェスタへの参加について

・10月『オーラルフレイル・嚥下機能チェック、口腔機能改善のための体操』開催

糖尿病ケアチーム

I. 目的

院内、院外における糖尿病予防の啓発活動。院内の糖尿病療養指導に関する医療連携。

II. 委員長

辻副健診センター長兼糖尿病内科部長兼腎臓内科部長

III. 事務局

医事課主事

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第3水曜日 15:00～

1) 「糖尿病教室」「慢性腎臓病教室」開催

日時：令和6年11月20日 (水)

15:00～16:00

内容：「砂糖摂取量について」「塩分摂取量について」ポスター展示

「医師による糖尿病、慢性腎臓病についての講義」

「糖尿病と慢性腎臓病についてのクイズ」

「理学療法士による運動療法」

2) 糖尿病予防の活動実施に関するこ

3) 糖尿病療養指導に関するこ

4) 糖尿病患者の投薬に関するこ

5) その他糖尿病ケアに関するこ



糖尿病教室の様子

ICT・ASTチーム

I. 目的

感染制御のための指導、教育、環境整備を行う。抗菌薬の適正使用の推進を行い、院内の耐性菌発生予防などに努める。

II. 委員長

吉橋呼吸器内科副部長

III. 事務局

薬剤科副師長

IV. 活動内容

- 1) 会議開催 毎月第3水曜日 16:00~
〈内容〉
耐性菌検出数、血液培養数等、抗菌薬使用量、手指衛生等の報告
- 2) 抗菌薬ラウンド 隨時、月2~3回 第2、3木曜など
〈内容〉
適正使用推進、届出制広域抗菌薬の長期投与例への介入、培養提出の推進、抗菌薬のde-escalationの推進など
受入率 88%
- 3) 感染対策向上連携合同会議 済生会滋賀県病院（加算1施設）にて
年4回 開催 令和6年6月20日、令和6年9月12日、令和6年12月11日、令和7年3月13日
〈内容〉
 1. 細菌検査報告
 2. 抗菌薬使用量報告
 3. 手指衛生報告
 4. 院内感染状況の把握、分析、評価、職業感染予防についてなど
 5. 加算3施設（開業医）と合同で、手指衛生やPPE着脱のトレーニング実施
- 4) 院内研修会の開催、運営 年2回
第1回 令和6年11月11日
(e-ラーニング)
タイトル：感染マニュアルについて
講師：宮脇 舞子 (ICN)

第2回 令和7年2月17日

(e-ラーニング)

タイトル：薬剤耐性 (AMR) 対策について

講師：田中 由紀子 (IDCP)

透析予防診療チーム

I. 目的

糖尿病患者に対し、外来において医師、看護師、管理栄養士が連携して重点的な医学管理を行うとともに、糖尿病透析予防指導を実施する。

II. 委員長

辻副健診センター長兼糖尿内科部長兼腎臓内科部長

III. 事務局

医事課主事

IV. 活動内容

- 〔開催日〕 隨時
- 1) 糖尿病透析予防の指導に関すること
 - 2) 慢性腎臓病透析予防の指導に関すること
 - 3) 糖尿病透析予防指導管理料算定患者の状態評価に関すること
 - 4) 慢性腎臓病透析予防指導管理料算定患者の状態評価に関すること
 - 5) その他透析予防に関すること

電子カルテシステム運用協議会

I. 目的

電子カルテシステム稼働後における評価ならびに意見を抽出し、レベルアップ要望項目の策定を行い、業務効率化に向けたシステム拡充等の企画検討を目的に活動する。

II. 委員長

菊地診療部長兼リハビリテーションセンター長

III. 事務局

経営企画課係長

IV. 活動内容

[開催日] 3ヶ月毎（6・9・12・3月） 16:00～

令和6年6月開催分は電子カルテリプレイスの為、開催延期となる。

第1回 令和6年9月17日（火）

- 1) 電子カルテシステムに対する意見・要望について
- 2) 電子カルテシステム定期保守点検に係わるシステム停止について

第2回 令和6年12月17日（火）

- 1) 電子カルテシステムに対する意見・要望について
- 2) プロジェクト状況報告書について
- 3) 年末年始休業日について

第3回 令和7年3月18日（火）

- 1) 電子カルテシステムに対する意見・要望について
- 2) 電子カルテシステム定期保守点検に係わるシステム停止について
- 3) 今年度の開催日について

認知症ケアチーム

I. 目的

認知症患者のストレスを軽減しQOLの向上を図る、又は、適切な認知症患者の看護を行えるよう多職種で対応する事を目的とする。

II. 委員長

布施リハビリテーションセンター兼脳神経外科部長

III. 事務局

医事課主事

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第3金曜日 15:00～

1) 認知症ケアラウンドの実施

年間実績：計43回 77名

2) 認知症ケアマニュアルの整備

「認知症ケアマニュアル」の改定

3) 認知症ケアに係る研修会の実施

* 第1回「認知機能障害が生じている患者との関わり方を学び実践できる」（事例検討会）

* 第1回事例検討会のWEB研修

* 第2回「身体的拘束の解除にむけた取り組みを考えよう」（事例検討会）

【認知症ケア加算】

年間実績：計24,231日（延べ日数）

排尿ケアチーム

I. 目的

尿道留置カテーテルを1日でも早く抜去し、尿路感染を防止すること。排尿自立の方向に導くこと。

II. 委員長

布施リハビリテーションセンター兼脳神経外科部長

III. 事務局

医事課主任

IV. 活動内容

1) 排尿ケアチーム協議会

[開催日]

毎月第1木曜日 14:00~

[協議内容]

- 1) 排尿ケアラウンドについて
- 2) 下部尿路機能障害の患者抽出について
- 3) 院内研修計画について
- 4) 排尿日誌の管理、記入方法について
- 5) リリアム新規購入による機器の管理について
- 6) セミナーの案内について
- 7) 排尿自立支援診療計画書について

2) 院内学習会

[開催日]

令和7年2月6日（木）

[テーマ]

排尿自立支援加算の算定について

[内 容]

- 1) 対象患者の抽出について
- 2) 排尿日誌による評価について
- 3) リリアムの使用方法について

看護師特定行為業務管理委員会

I. 目的

特定行為を修了した看護師の育成と活用に向け、院内で実施する特定行為に係る安全性の確認および評価を審議し管理する。

II. 委員長

吉村看護部長

III. 事務局

看護副部長

IV. 活動内容

[会議開催日]

3ヶ月に1回実施（5月・8月・11月・2月）

第1回 令和6年 5月31日（金）

第2回 令和6年 8月28日（水）

第3回 令和6年11月27日（水）

第4回 令和7年 2月26日（水）

[活動実績] 令和6年1月～令和7年3月まで
実施者：崎谷由佳

創傷管理関連

○「褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去」（令和6年1月開始）

患者数：41名 件数：74件

○「創傷に対する陰圧閉鎖療法」（令和6年9月開始）

患者数：3名 件数：11件

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連

○「気管カニューレの交換」（令和7年2月開始）

患者数：0件 件数：0件

上記実施内容について、カルテ精査し問題の無いことを確認し委員会で承認した

感染リンクスタッフチーム

I. 目的

現場での感染対策の模範となり指導を行うメンバーが、感染に関するデータを収集・分析し、その結果をもとに対策を検討することで、病院内の感染を抑制すること

II. 委員長

宮脇感染予防対策室室長代行

III. 事務局

感染予防対策室主任

IV. 活動内容

[開催日] 毎月第3火曜日 15:00～

[実施内容]

- 1) 感染リンクスタッフたよりを月1回発行
- 2) 電子カルテスクリーンセイバーを用いて感染対策を啓蒙する（月1回更新）
- 3) 手指衛生の実施状況を共有し現場へ還元する
- 4) 手指消毒剤の見直しと設置及び携帯の方法周知と物品の配布
- 5) 消毒スワブの各部署の定数決定
- 6) 感染性廃棄物の取り扱いルール変更の現場周知
- 7) 南部地域感染症予防対策連絡会情報交換会参加（11/12WEB）
- 8) 職員の手指衛生のタイミング観察ラウンド（3回/年）



手指衛生のタイミング観察ラウンドの様子

臨床倫理コンサルテーションチーム

I. 目的

医療現場で職員が直面した臨床上の課題について相談を受け、可能な限り早急に多職種チームで検討の上、対応、助言する。

II. 委員長

野々村院長

III. 事務局

総務課長

IV. 活動内容

毎月第3水曜日 午後4時から

第1回 令和6年6月19日（水）

- 1) 倫理コンサルテーションチーム規程について

- 2) 運用マニュアルについて

- 3) 申請様式について

- 4) チーム協議の定期開催について

第2回 令和6年7月17日（水）

- 1) 研修会開催にかかる事例検討について

第3回 令和6年8月21日（水）

- 1) 倫理コンサルテーションチームの院内周知について

- 2) コンサルテーションの流れとチームの役割について

- 3) 学研動画視聴による研修

第4回 令和6年10月16日（水）

- 1) 臨床倫理コンサルテーション実施結果および報告

第5回 令和6年12月18日（水）

- 1) 書面回議により開催

- 2) 運用マニュアルの配布

第6回 令和7年2月25日（火）

- 1) 臨床倫理コンサルテーション実施結果および報告

- 2) 次年度多職種による事例検討研修会開催について

第7回 令和7年3月26日（水）

- 1) 事例の検討

- 2) 次年度院内研修会開催日の日時検討および確定

二次性骨折予防継続管理チーム

I. 目的

骨粗鬆症による二次性骨折防止のため、多職種で取り組む。二次性骨折に関わるすべての職種および患者・家族に対して、骨粗鬆症に対する知識の共有とFLS、OLSの普及をめざす。

II. 委員長

菊地診療部長兼リハビリテーションセンター長

III. 事務局

薬剤科副師長

IV. 活動内容 隨時開催

第1回 令和6年7月22日（月）

- 1) 二次性骨折予防継続管理料について
- 2) 大腿骨骨折近位部骨折の対象患者の整理と算定の流れについて

第2回 令和6年11月11日（月）

- 1) 二次性骨折予防継続管理料1算定施設からの転院患者について
- 2) 患者用リーフレットの提案

第3回 令和7年3月3日（月）

- 1) 今年度実績報告 26件
- 2) 回復期病棟退院時の在宅自己注射指導管理料について
- 3) 健診、骨密度件数の増加に向ける取り組みについて

院内研修会 令和6年11月22日（金）15:30～

「骨粗鬆症の社会的影響と当院での今後の対応」

リハビリテーション科医長

米田医師

学術実績等



学術実績等

学会発表

I. 診療部

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
当院における食物誘発胃腸炎(FPIES) 48例の検討	國津 智彬	濱中 佳奈 上羽 智子 野々村 和男	第91回日本小児科学会滋賀地方会	令和6年5月19日	滋賀医科大学
カルニチン製剤使用により多血症を認めた血液透析患者の一例	多賀谷 允	富田 奈津子 井上 秀香 辻 知里 野々村 和男	第69回日本透析医学会学術集会	令和6年6月8日～6月9日	パシフィコ横浜
痙性対麻痺を生じた抗NMDA受容体脳炎の一例	布施 郁子		第61回日本リハビリテーション医学会学術集会	令和6年6月13日	セルリアンタワー東急ホテル
誤嚥性肺炎を繰り返す患者の姿勢の問題点と対策の一例	布施 郁子		第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	令和6年8月30日～8月31日	福岡サンパレスホテル、福岡国際会議場、マリンメッセ福岡
中等症から重症の小児アトピー性皮膚炎に対してデュピルマブを投与した症例の有効性に関する検討	國津 智彬	野々村 和男 他	第92回日本小児科学会滋賀地方会	令和6年10月6日	滋賀医科大学
人工骨頭挿入術後脱臼を来したParkinson病患者にDMC-THAを行った2症例	米田 義崇		第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	令和6年11月1日～11月3日	岡山コンベンションセンター
乳糖水和物が原因として疑われたワクチン接種後アナフィラキシーの3症例	國津 智彬	野々村 和男	第61回日本小児アレルギー学会 学術大会	令和6年11月2日～11月3日	名古屋コンベンションホール
回復期リハ病棟から生活期への転帰先に影響する要因の分析	菊地 克久	布施 郁子 渡邊 克章 米田 義崇 竹中 楽	第1回日本生活期リハビリテーション医学会学術集会	令和7年2月1日～2月2日	昭和大学 上條記念館

II. 看護部

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
腎臓リハビリテーションがもたらす行動変容～90日間の監視型運動療法で継続した運動を習慣化できるのか～	松井 千咲	牧 いずみ 武田 貴美子 辻井 敬子 多賀谷 允	第45回 滋賀腎・透析研究会	令和6年9月15日	ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター
褥瘡に関する学習会の褥瘡治癒における効果について	奥田 真弓		滋賀県看護学会 今こそ見直そう、看護の独自性～その人らしさを支える看護の力～	令和6年12月5日	滋賀県看護協会

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
腎臓リハビリテーションがもたらす行動変容～90日間の監視型運動療法で継続した運動を習慣化できるのか～	松井 千咲	牧 いずみ 武田貴美子 辻井 敬子 多賀谷 允	第77回 済生会学会	令和7年 2月16日	愛媛看護研修センター

III. 地域医療支援部

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
嚥下エコーによる梨状窩残留像長径と嚥下内視鏡による咽頭残留所見の比較	松永 哲人		第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会	令和6年 8月30日～ 8月31日	福岡国際会議場・マリンメッセ福岡B館・福岡サンパレスホテル
一般病棟における嚥下エコーの実践報告	松永 哲人	布施 郁子 田村 真名美	第17回日本摂食嚥下障害看護研究会	令和6年 11月16日	ホルトホール 大分3階
退院時調整についての家族的心理意思決定における心理的変化と退院調整看護師の関わり	堀井 明美		滋賀県看護学会 今こそ見直そう、看護の独自性～その人らしさを支える看護の力～	令和6年 12月5日	滋賀県看護研修センター
嚥下評価入院後の退院後訪問が有効だった進行性核上性麻痺患者の一症例	松永 哲人	布施 郁子 長澤 美穂 渥美 康子 江川 こころ 奥村 裕子	第48回日本嚥下医学会	令和7年 2月21日～ 2月23日	神戸国際会議場

IV. 診療技術部

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
腎機能正常例へ使用されたTAZ月PIPCの投与回数の違いによる予後の調査	田中由紀子		日本感染症学会／日本化学療法学会 西日本地方会学術集会	令和6年 11月14日～ 11月16日	神戸国際会議場・神戸ポートピアホテル

V. リハビリテーションセンター

演題	発表者	共同研究者	学会・研究会名	開催日	開催場所
回復期リハビリテーション病棟で下肢装具療法にて歩行を再獲得した高齢重症ギラン・バレー症候群の一例	塚田 潔		第39回滋賀県理学療法学術集会	令和6年 6月16日	ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター 淡海
回復期リハ病棟における大腿骨近位部骨折患者のサルコペニア、栄養、認知機能と退院時ADLと筋力の関係	上野 芳也	長坂 佳馬 渡辺 大真 田中 一樹 後藤 厚美 菊地 克久 伊藤 慎英	第12回日本運動器理学療法学会学術大会	令和6年 9月14日～ 9月15日	パシフィコ横浜

講演会・講座等

I. 診療部

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
アトピー性皮膚炎に対する外用療法 ～ステロイド以外の選択肢～	國津 智彬	小児アトピー性皮膚炎治療を考える会	令和6年 4月13日（土）	フェリエ南草津5階 草津市民交流プラザ
透析患者さんにおける高リン血症に関する最新の医学的知見のご教授ならびに協和キリン情報活動への助言	多賀谷 允	協和キリン株式会社 社員研修会 MRの情報活動の向上	令和6年 4月17日（水）	草津市立市民総合交流センター キラリエ草津
滋賀県の重症喘息の今後の展望を考え ～課題と解決策～	吉橋 彩子	Severe Asthma Symposium in Shiga	令和6年 5月23日（木）	びわ湖大津プリンスホテル
リハビリテーション連携の取り組みについて	菊地 克久	湖南連携懇話会～整形外科疾患を考える～	令和6年 7月18日（木）	クサツエストピアホテル
当院におけるコロナ治療について	吉橋 彩子	社内研修会	令和6年 7月26日（金） 10月4日（金）	塩野義製薬株式会社 滋賀営業所
アトピー性皮膚炎治療	國津 智彬	第2回アトピー性皮膚炎治療を考える会	令和6年 10月3日（木）	クサツエストピアホテル
「最新ガイドラインに基づくアレルギー疾患の治療」	野々村 和男	第20回滋賀アレルギーフォーラム（市民向け公開講座）	令和7年 2月9日（日）	滋賀医科大学
学校給食における食物アレルギー事故防止及び救急対応について	國津 智彬	学校給食における食物アレルギー事故防止研修会	令和7年 2月14日（金）～ 2月28日（金）	オンデマンド配信
透析搔痒症に関して、疫学、基本的病態、治療法など	多賀谷 允	キッセイ薬品社員研修会（滋賀営業所）	令和7年 2月14日（金）	フェリエ南草津5階 草津市民交流プラザ
回復期病院の役割 ～ネットワークハブとして～	布施 郁子	大塚製薬ブレインセミナー（ノバルティスとの共催）	令和7年 3月13日（木）	キラリエ草津

II. 看護部

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
現役看護職の体験談・やりがいなど	奥田 真弓	看護の魅力配達事業	令和6年 7月18日（木）	守山北高等学校
標準的なカリキュラムに基づく研修（演習）	中田 紅美	令和6年度看護職員認知症対応力向上研修	令和6年 9月4日（水） 9月13日（金） 9月14日（土）	滋賀県看護研修センター
認知症ケア「その人らしさを知る」「認知症の理解を深める」 安心して生活できるように支援を行う	中田 紅美	出前講座 あいむ訪問看護ステーション研修会	令和6年 9月20日（金）	あいむ勝部
標準的なカリキュラムに基づく研修（演習）	中田 紅美	令和6年度病院医療従事者認知症対応力向上研修	令和6年 11月14日（木） 令和7年 2月6日（木）	滋賀県看護研修センター
フォローアップ研修	中田 紅美	滋賀県看護職員認知症対応力向上研修	令和7年 2月6日	滋賀県看護研修センター

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
地域包括ケアシステムの視点から認知症対策を考える Part2 ～認知症施策推進基本計画の取り組みを進めるために～	吉村 薫	2024年度滋賀県看護連盟 地域包括ケア研修会	令和7年 2月8日（土）	キラリ工草津
造影剤注入等	吉田 紀子	タスク・シフト／シェアに 関する厚生労働大臣指定講 習会	令和7年 3月23日（日）	滋賀県医療研修施設 「ニプロiMEP（ア イメッセ）」
皮下グルコース検査	内田 真由美			
静脈路確保	平井 由香			

III. 地域医療支援部

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
介護保険・ACPについて	平泉 昌輝	済生会守山市民病院 脳友 会学習会	令和6年 10月20日	済生会守山市民病 院
施設の機能や役割、福祉現場の現状、 実習への心構え等	中野きぬ代	ソーシャルワーク実習指導 I	令和6年 10月17日	京都光華女子大学
2024年報酬改定を受けての各分野 (医療、介護、障害)の動きと展望	平泉 昌輝	介護の日に考える「2024 年トリプル改定後の社会」	令和6年 11月11日	CAMMA
湖南太郎さんの在宅療養安心ロード 在宅療養支援室=地域連携の実際	井上 由美	湖南圏域医療介護フェスタ (草津保健所)	令和6年 12月18日	淡海医療センター 9階あおばなホー ル
患者が安全に摂食嚥下できるケアが 提供できる能力を養う	松永 哲人	滋賀県看護協会 第2地区 支部看護ネット研修	令和7年 2月3日（月）	近江草津徳洲会病 院

IV. リハビリテーションセンター

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
回復期リハビリから在宅リハビリへ の現状	中川 裕規	第59回守山顔の見える会	令和6年 6月13日（木）	済生会守山市民病 院

V. 危機管理センター

演題・テーマ	講師	講演会・講座名	開催日	開催場所
感染症予防について（職員の必要な 知識を身に着ける）	宮脇 舞子	出前講座 あいむケアプラ ンセンター研修会	令和6年 11月19日（火）	株式会社あいむ本 社3階
感染拡大！？CRE（カルバペネム 耐性腸内細菌目細菌）などの薬剤耐 性菌について～高齢者を守る感染対 策・排泄ケア～」講義及び実技（お むつ交換、尿回収）を実施	宮脇 舞子	令和6年度湖南圏域感染症 予防研修会	令和6年 12月10日（火）	草津保健所

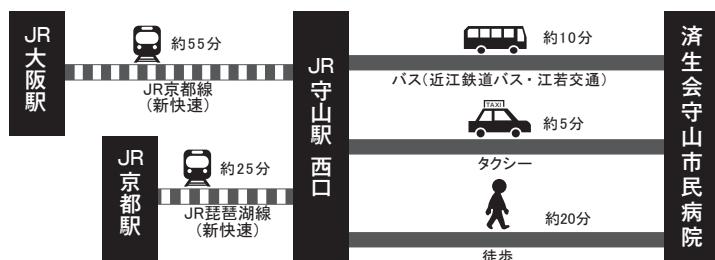
交通アクセス



車でのアクセス

名神高速道路 栗東IC 近江八幡・守山方面（国道8号線）出口
より車で約20分

JR守山駅からのアクセス



〔電 車〕

JR大阪駅～JR守山駅 新快速で約55分
JR京都駅～JR守山駅 新快速で約25分

[バス]

近江鉄道バス（守山市民ホール線、木の浜線、服部線）で約10分
江若交通（琵琶湖大橋線、びわこ横断エコバス）で約10分

[タクシー]

JR守山駅西口より約5分

[徒步]

JR守山駅西口より約20分

令和6年度
病院年報
2024 Annual Report Vol.7



発行 令和7年9月

発行者 社会福祉法人 恩賜財団 済生会守山市民病院

院長 野々村 和男

〒524-0022 滋賀県守山市守山四丁目14番1号

TEL 077-582-5151

URL <https://www.saiseikai-moriyama.jp>

印刷 株式会社スマイディア

